

## 工事概要説明書

工事名 令和7年度 宝作橋外2橋 橋梁補修工事

施工箇所 角田市 島田字 宝作地内外

工事期間 契約締結日の翌日 から

令和8年3月27日まで

# 工事(設計書)仕様書

事業年度	令和 7 年度	工事番号	
工事名	令和7年度 宝作橋外2橋橋梁補修工事	実施	設計書
路線名 河川名	市道 金津光目内線 外		
施工地名	角田市島田字宝作 地内外		
工期	契約締結日の翌日	～	令和 8年 3月27 日
		まで	日間

工事費	
設計額	円
工事価格	円
消費税相当額	円

工事概要					
宝作橋	橋長 L =	28.6 m	幅員 W =	6.0 m	
橋面防水工	(塗膜系)		A =	166 m <sup>2</sup>	
伸縮装置補修工	(伸縮量 70mm)		L =	12.3 m	
防護柵取替工	(C種 H=900mm)		L =	58 m	
塗替塗装工	(長期耐候性鋳転換型防蝕塗装システム)		A =	500 m <sup>2</sup>	
花島橋	橋長 L =	29.2 m	幅員 W =	6.0 m	
防護柵取替工	(C種 H=850mm)		L =	58 m	
防護柵取替工	(ガードレール)		L =	15 m	
大森4号橋	橋長 L =	5.0 m	幅員 W =	3.1 m	
橋面防水工	(防水保護層薄層表面処理)		A =	15 m <sup>2</sup>	
水切り材設置工	(FRP製)		L =	9 m	
断面修復工	(左官工法)		N =	1 構造物	

令和7年度 宝作橋外2橋 橋梁補修工事 位置図

大森4号橋

角田市毛萱字大森地内

花島橋

角田市花島字深山地内

宝作橋

角田市島田字宝作地内

工事番号		
工事名	令和7年度 宝作橋外2橋 橋梁補修工事	
施工箇所	角田市 島田字 宝作地内外	
図面名	位置図	
路線名	市道 金津光目内線 外	
縮尺	1:25,000	位置 設計年度
設計者		
角田市	図面番号	

# 設計内訳書（宝作橋）

工事名	令和7年度 宝作橋外2橋橋梁補修工事				事業区分 工事区分	道路維持・修繕 橋梁保全工事	
工事区分・工種・種別	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
橋梁保全工事	式	1					
舗装工	式	1					
路面切削工	式	1					
橋面防水工	式	1					
舗装打換え工	式	1					
区画線工	式	1					
区画線工	式	1					
橋梁付属物工	式	1					
伸縮継手工	式	1					
橋梁用高欄工	式	1					
銘板工	式	1					
現場塗装工	式	1					
橋梁塗装工	式	1					

# 設計内訳書（宝作橋）

工事名	令和7年度 宝作橋外2橋橋梁補修工事				事業区分 工事区分	道路維持・修繕 橋梁保全工事	
工事区分・工種・種別	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
構造物撤去工	式	1					
防護柵撤去工	式	1					
仮設工	式	1					
足場工	式	1					
防護施設工	式	1					
交通管理工	式	1					
直接工事費	式	1					
共通仮設	式	1					
共通仮設費	式	1					
運搬費	式	1					
安全費	式	1					
技術管理費	式	1					
現場環境改善費	式	1					

# 設計内訳書（宝作橋）

工事名	令和7年度 宝作橋外2橋橋梁補修工事				事業区分 工事区分	道路維持・修繕 橋梁保全工事	
工事区分・工種・種別	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
共通仮設費（率計上）	式	1					
純工事費	式	1					
現場管理費	式	1					
工事原価	式	1					
一般管理費等	式	1					
工事価格	式	1					
消費税額及び地方消費税額	式	1					
工事費計	式	1					

# 設計内訳書（花島橋）

工事名	令和7年度 宝作橋外2橋橋梁補修工事				事業区分 工事区分	道路維持・修繕 橋梁保全工事	
工事区分・工種・種別	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
橋梁保全工事	式	1					
橋梁付属物工	式	1					
橋梁用高欄工	式	1					
銘板工	式	1					
構造物撤去工	式	1					
防護柵撤去工	式	1					
仮設工	式	1					
足場工	式	1					
交通管理工	式	1					
直接工事費	式	1					
共通仮設	式	1					
共通仮設費	式	1					
技術管理費	式	1					

# 設計内訳書（花島橋）

工事名	令和7年度 宝作橋外2橋橋梁補修工事				事業区分 工事区分	道路維持・修繕 橋梁保全工事	
工事区分・工種・種別	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
現場環境改善費	式	1					
共通仮設費（率計上）	式	1					
純工事費	式	1					
現場管理費	式	1					
工事原価	式	1					
一般管理費等	式	1					
工事価格	式	1					
消費税額及び地方消費税額	式	1					
工事費計	式	1					

## 設計内訳書（大森4号橋）

工事名	令和7年度 宝作橋外2橋橋梁補修工事				事業区分 工事区分	道路維持・修繕 橋梁保全工事	
工事区分・工種・種別	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
橋梁保全工事	式	1					
舗装工	式	1					
橋面防水工	式	1					
橋梁付属物工	式	1					
排水施設工	式	1					
橋梁補修工	式	1					
断面修復工	式	1					
目地補修工	式	1					
構造物撤去工	式	1					
運搬処理工	式	1					
仮設工	式	1					
交通管理工	式	1					
直接工事費	式	1					

## 設計内訳書（大森4号橋）

工事名	令和7年度 宝作橋外2橋橋梁補修工事				事業区分 工事区分	道路維持・修繕 橋梁保全工事	
工事区分・工種・種別	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
共通仮設	式	1					
共通仮設費	式	1					
技術管理費	式	1					
現場環境改善費	式	1					
共通仮設費（率計上）	式	1					
純工事費	式	1					
現場管理費	式	1					
工事原価	式	1					
一般管理費等	式	1					
工事価格	式	1					
消費税額及び地方消費税額	式	1					
工事費計	式	1					

# 設計内訳書（宝作橋）

工事名	令和7年度 宝作橋外2橋橋梁補修工事					事業区分 工事区分	道路維持・修繕 橋梁保全工事	
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
橋梁保全工事			式	1				
舗装工			式	1				
路面切削工			式	1				
路面切削	施工区分:平均切削深さ:全面切削6cmを超える12cm以下,段差すりつけ撤去作業:有り							単 1号
舗装運搬(路面切削)	舗装種別:アスファルト舗		m2	166				単 2号
舗装処分	舗装種別:アスファルト舗		m3	15				単 3号
橋面防水工			式	1				
橋面防水	防水工種類:塗膜防水		m2	166				単 4号
床版排水 <sup>△</sup> イフ <sup>△</sup>			箇所	12				単 5号
フレキシブルチューブ <sup>△</sup>	規格: φ20		箇所	12				単 6号
舗装打換え工			式	1				
基層	材料種類:各種(2.30以上2.40t/m <sup>3</sup> 未満),材料規格:密粒度As13FW(改質II型),舗装厚:45mm,平均幅員:3.0m超							単 7号
表層	材料種類:各種(2.30以上2.40t/m <sup>3</sup> 未満),材料規格:密粒度As13T(改質II型),舗装厚:40mm,平均幅員:3.0m超		m2	166				単 8号

# 設計内訳書（宝作橋）

工事名	令和7年度 宝作橋外2橋橋梁補修工事					事業区分 工事区分	道路維持・修繕 橋梁保全工事	
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
区画線工			式	1				
区画線工			式	1				
溶融式区画線	施工方法区分:溶融式手動, 規格:仕様区分:実線 1 5cm, 塗布厚:厚1.0mm, 排水性舗装:無し		m	55				单 9号
橋梁付属物工			式	1				
伸縮継手工			式	1				
鋼製伸縮継手補修	伸縮装置補修:補修普通2車線		m	12.3				单 10号
橋梁用高欄工			式	1				
橋梁用高欄	材質:鋼製, 高欄形式:橋梁用高欄(組立式)		m	58				单 11号
銘板工			式	1				
橋名板			枚	4				单 12号
現場塗装工			式	1				
橋梁塗装工			式	1				
素地調整	種別:1種ケン		m2	500				单 13号

# 設計内訳書（宝作橋）

工事名	令和7年度 宝作橋外2橋橋梁補修工事					事業区分 工事区分	道路維持・修繕 橋梁保全工事	
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
廃材回収・積込	種別:研削材・塗膜		m <sup>2</sup>	500				单 14号
廃材保管容器	種別:研削材・塗膜・保護具等		缶	8				单 15号
洗浄・アライマー			m <sup>2</sup>	500				单 16号
下塗			m <sup>2</sup>	500				单 17号
上塗			m <sup>2</sup>	500				单 18号
構造物撤去工			式	1				
防護柵撤去工			式	1				
高欄撤去			m	58				单 19号
仮設工			式	1				
足場工			式	1				
吊足場	種別:地覆補修用足場		m <sup>2</sup>	41				单 20号
吊足場	種別:タイプA2		m <sup>2</sup>	180				单 21号
養生シート	種別:プラスチック用		m <sup>2</sup>	180				单 22号

# 設計内訳書（宝作橋）

工事名	令和7年度 宝作橋外2橋橋梁補修工事					事業区分 工事区分	道路維持・修繕 橋梁保全工事	
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
防護施設工			式	1				
環境対策資機材費			式	1				内 1号
交通管理工			式	1				
交通誘導警備員			人日					单 23号
直接工事費			式	1				
共通仮設			式	1				
共通仮設費			式	1				
運搬費			式	1				
建設機械運搬費			台	1				单 24号
安全費			式	1				
安全衛生保護具費			式	1				内 2号
技術管理費			式	1				
鉄筋探査			式	1				内 3号

## 設計内訳書（宝作橋）

工事名	令和7年度 宝作橋外2橋橋梁補修工事					事業区分 工事区分	道路維持・修繕 橋梁保全工事	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要	
現場環境改善費		式	1					
現場環境改善費(積上計上)	PR看板	式	1				内 4号	
共通仮設費(率計上)		式	1					
純工事費		式	1					
現場管理費		式	1					
工事原価		式	1					
一般管理費等		式	1					
工事価格		式	1					
消費税額及び地方消費税額		式	1					
工事費計		式	1					

# 設計内訳書（花島橋）

工事名	令和7年度 宝作橋外2橋橋梁補修工事					事業区分 工事区分	道路維持・修繕 橋梁保全工事	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要	
橋梁保全工事		式	1					
橋梁付属物工		式	1					
橋梁用高欄工		式	1					
橋梁用高欄	材質:鋼製, 高欄形式:橋梁用高欄(組立式)	m	58				单 25号	
ガードレール補修	種別:C種	m	15				单 26号	
銘板工		式	1					
橋名板		枚	4				单 27号	
構造物撤去工		式	1					
防護柵撤去工		式	1					
防護柵撤去(ガードレール)		m	15				单 28号	
高欄撤去		m	58				单 29号	
仮設工		式	1					
足場工		式	1					

# 設計内訳書（花島橋）

工事名	令和7年度 宝作橋外2橋橋梁補修工事					事業区分 工事区分	道路維持・修繕 橋梁保全工事	
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
吊足場	種別:地覆補修用足場		m <sup>2</sup>	23				单 30号
交通管理工								
交通誘導警備員			式	1				单 31号
直接工事費								
共通仮設			式	1				
共通仮設費								
技術管理費			式	1				
鉄筋探査								
現場環境改善費			式	1				内 5号
現場環境改善費(積上計上)								
共通仮設費(率計上)	PR看板		式	1				内 6号
純工事費								
現場管理費			式	1				

## 設計内訳書（花島橋）

工事名	令和7年度 宝作橋外2橋橋梁補修工事					事業区分 工事区分	道路維持・修繕 橋梁保全工事	
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
工事原価			式	1				
一般管理費等			式	1				
工事価格			式	1				
消費税額及び地方消費税額			式	1				
工事費計			式	1				

# 設計内訳書（大森4号橋）

工事名	令和7年度 宝作橋外2橋橋梁補修工事					事業区分 工事区分	道路維持・修繕 橋梁保全工事	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要	
橋梁保全工事		式	1					
舗装工		式	1					
橋面防水工		式	1					
橋面防水	防水工種類:防水保護層薄層表面処理	式	1				单 32号	
		m <sup>2</sup>	15					
橋梁付属物工		式	1					
排水施設工		式	1					
水切り材設置		m	9				单 33号	
橋梁補修工		式	1					
断面修復工		式	1					
左官工法	1構造物当り修復延べ体積:0.411m <sup>3</sup> , 材料種類:軽量ポリマーセメントモルタル, 鉄筋ケル・鉄筋防錆処理:有り	構造物	1				单 34号	
目地補修工		式	1					
目地補修		m	6				单 35号	
構造物撤去工		式	1					

# 設計内訳書（大森4号橋）

工事名	令和7年度 宝作橋外2橋橋梁補修工事					事業区分 工事区分	道路維持・修繕 橋梁保全工事	
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
運搬処理工			式	1				
殻運搬	殻種別:コンクリート殻(無筋)		m3	0.4				単 36号
殻処分	殻種別:コンクリート殻(無筋)		m3	0.4				単 37号
仮設工			式	1				
交通管理工			式	1				
交通誘導警備員			人日					単 38号
直接工事費			式	1				
共通仮設			式	1				
共通仮設費			式	1				
技術管理費			式	1				
鉄筋探査	種別:上向		式	1				内 7号
現場環境改善費			式	1				
現場環境改善費(積上計上)	PR看板		式	1				内 8号

## 設計内訳書（大森4号橋）

工事名	令和7年度 宝作橋外2橋橋梁補修工事					事業区分 工事区分	道路維持・修繕 橋梁保全工事	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要	
共通仮設費（率計上）		式	1					
純工事費		式	1					
現場管理費		式	1					
工事原価		式	1					
一般管理費等		式	1					
工事価格		式	1					
消費税額及び地方消費税額		式	1					
工事費計		式	1					

# 一式当たり内訳書

単価使用年月	2025. 12
歩掛適用年月	2025. 12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

内 1号	環境対策資機材費						
名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
循環式プラスチック環境対策資機材 集塵装置賃料		台・月	1				
循環式プラスチック環境対策資機材 カートリッジフィルタ パッキン		本	16				
循環式プラスチック環境対策資機材 エアシャワー賃料		台・月	1				
循環式プラスチック環境対策資機材 エアシャワー用1次フィルター		枚	2				
循環式プラスチック環境対策資機材 エアシャワー用HEPAフィルター		枚	1				
循環式プラスチック環境対策資機材 簡易セキュリティーム		箇所	1				
循環式プラスチック環境対策資機材 真空掃除機賃料		月					
循環式プラスチック環境対策資機材 真空掃除機用1次フィルター		枚	2				
循環式プラスチック環境対策資機材 真空掃除機用2次フィルター		枚	1				
循環式プラスチック環境対策資機材 真空掃除機用HEPAフィルター		個	1				
合計							

# 一式当たり内訳書

単価使用年月	2025. 12
歩掛適用年月	2025. 12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

内 2号	安全衛生保護具費						
名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
循環式プラスチック 安全衛生保護具 エコクリーン クールスーツ(上)		着	36				
循環式プラスチック 安全衛生保護具 エコクリーン クールスーツ(下)		着	36				
循環式プラスチック 安全衛生保護具 送気ユニット 接続器共		組	12				
循環式プラスチック 安全衛生保護具 定置式ろ過筒(4人用)		台	3				
循環式プラスチック 安全衛生保護具 エアーラインホース φ9 20m		本	12				
循環式プラスチック 安全衛生保護具 エアーラインホース φ19 25m		本	3				
循環式プラスチック 安全衛生保護具 防じんマスク		個	12				
循環式プラスチック 安全衛生保護具 防じんマスク用フィルター		個	72				
循環式プラスチック 安全衛生保護具 防護手袋		組	216				
循環式プラスチック 安全衛生保護具 防護長靴		足	12				
合計							

# 一式当たり内訳書

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

内 3号	鉄筋探査						
名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
鉄筋探査工 (下向)							単 60号
		m2	4.3				
合計							

# 一式当たり内訳書

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

内 4号	現場環境改善費(積上計上)	PR看板					
名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
現場環境改善費(積上)							単 61号
		式	1				
合計							

# 一式当たり内訳書

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

内 5号	鉄筋探査	種別:下向					
名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
鉄筋探査工 (下向)							単 65号
		m2	1.8				
合計							

# 一式当たり内訳書

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

内 6号	現場環境改善費(積上計上)	PR看板					
名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
現場環境改善費(積上)							単 61号
		式	1				
合計							

# 一式当たり内訳書

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

内 7号	鉄筋探査	種別:上向						
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
鉄筋探査工 (上向)								単 70号
			m2	0.5				
合計								

# 一式当たり内訳書

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

内 8号	現場環境改善費(積上計上)	PR看板						
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
現場環境改善費(積上)								単 61号
			式	1				
合計								

## 1次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 1号	路面切削	施工区分・平均切削深さ:全面切削6cmを超え12cm以下,段差すりつけ撤去作業:有り	単位	m2	単位数量	10	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
路面切削		全面切削6cmを超える12cm以下, 有り, 全ての費用	m2	10				
合計								
単価							円／m2	

## 1次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 2号	殻運搬(路面切削)	殻種別:アスファルト殻	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
殻運搬(路面切削)		無し, 4.0km以下, 全ての費用	m3	1				
合計								
単価							円／m3	

# 1次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 3号	殻処分	殻種別:アスファルト殻	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費(m3)		無					単 39号	
			m3	1				
合計								
単価							円／m3	

# 1次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 4号	橋面防水	防水工種類:塗膜防水	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
塗膜系防水		補修, 有, 33.33m <sup>2</sup> /100m <sup>2</sup> , 有, 40.55m <sup>2</sup> /100m <sup>2</sup> , 無					単 40号	
			m2	1				
合計								
単価							円／m2	

# 1次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 5号	床版排水 <sup>ハ<sup>イ</sup></sup>		単位	箇所	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
コンクリート削孔(コンクリート穿孔機)		60mm以上64mm未満, 200mm以上400mm未満	孔	1				
床版排水 <sup>ハ<sup>イ</sup></sup> 設置工			箇所	1			単 41号	
橋梁用床版排水 <sup>ハ<sup>イ</sup></sup> 床版厚210~290用			セット	1				
注入材 エボ <sup>キ</sup>			kg	0.05				
合計								
単価							円／箇所	

# 1次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 6号	フレキシブルチューブ	規格: φ20	単位	箇所	単位数量	12	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
床版水抜パイプ用フレキシブルチューブ設置工			m	26.8			単 42号	
橋梁用床版水抜管 フレキシブルチューブ φ20 SUS 片ナット付			m	26.8				
支持金物 一般形鋼用 メッキ仕上げ			個	12				
合計								
単価							円／箇所	

# 1次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 7号	基層	材料種類:各種(2.30以上2.40t/m <sup>3</sup> 未満), 材料規格:密粒度As13FW(改質II型), 補装厚:45mm, 平均幅員:3.0m超	単位	m <sup>2</sup>	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
基層(車道・路肩部)		3.0m超, 45mm, 各種(2.30以上2.40t/m <sup>3</sup> 未満), 無し, 全ての費用	m <sup>2</sup>	1				
合計								
単価							円/m <sup>2</sup>	

# 1次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 8号	表層	材料種類:各種(2.30以上2.40t/m <sup>3</sup> 未満), 材料規格:密粒度As13T(改質II型), 補装厚:40mm, 平均幅員:3.0m超	単位	m <sup>2</sup>	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
表層(車道・路肩部)		3.0m超, 40mm, 各種(2.30以上2.40t/m <sup>3</sup> 未満), タックコート(各種), 全ての費用	m <sup>2</sup>	1				
合計								
単価							円/m <sup>2</sup>	

# 1次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 9号	溶融式区画線	施工方法区分:溶融式手動, 規格・仕様区分:実線 15cm, 塗布厚:厚1.0mm, 排水性舗装:無し	単位	m	単位数量	10	単価	
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
区画線設置		無し, 溶融式手動, 無し, 実線 15cm, 無し, 1.0mm, 無し, 無し, 含有量15~18%, 白, アスファルト舗装, 全ての費用	m	10			単 43号	
合計								
単価							円／m	

# 1次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 10号	鋼製伸縮継手補修	伸縮装置補修:補修普通2車線	単位	m	単価	12.32	単価	
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
鋼製伸縮装置補修	鋼製伸縮装置補修	鋼製伸縮装置補修	m	12.32			単 44号	
端部立上ジョイント 伸縮量70mm用			個	4				
超速硬コンクリート			m <sup>3</sup>	0.98				
鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D16~25			t	0.074				
異形差筋アンカー SD345 D16			本	240				
橋梁用伸縮装置 シール材 シリコーン系 プライマー含む			L	4.2				
橋梁用伸縮装置 ハックアップ材 ウレタンフォーム			L	10.5				
二重止水材			個	8				
ゴムホース 20A			m	16				
ゴムホース止め金具 20A用			個	16				
スクラップ ヘビ-H1			t	-0.726				
合計								

## 1 次单值表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

# 1次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 11号	橋梁用高欄	材質:鋼製, 高欄形式:橋梁用高欄(組立式)	単位	m	単価数量	57.9	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋梁用高欄		組立式						
			m	57.9				
コンクリート削孔(電動ハスマドリル)		30mm以上200mm未満						
			孔	64				
コンクリート削孔(電動ハスマドリル)		200mm以上400mm以下						
			孔	64				
樹脂カブセル M20用 L=160								
			本	64				
樹脂カブセル M20用 L=250								
			本	64				
合計								
単価							円／m	

# 1次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 12号	橋名板		単位	枚	単価	1	単価	
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋名板等取付			枚	1				
合計								
単価							円／枚	

# 1次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 13号	素地調整	種別:1種ケレ	単位	m2	単価	1	単価	
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
素地調整工			m2	1.15			単 45号	
合計								
単価							円／m2	

## 1次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 14号	廃材回収・積込	種別:研削材・塗膜	単位	m2	単価	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
研削材・塗膜かす回収工			m2	1.15			単 46号	
合計								
単価							円／m2	

## 1次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 15号	廃材保管容器	種別:研削材・塗膜・保護具等	単位	缶	単価	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
大型容器 鋼製ドラム缶 200L			缶	1				
合計								
単価							円／缶	

## 1次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 16号	洗浄・プライマー	単位	m2	単価	1	単価	
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
脱脂洗浄・プライマー (施工費)			m2	1.1			単 47号
脱脂洗浄・プライマー (材料費)			m2	1			単 48号
合計							
単価							円／m2

## 1次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 17号	下塗	単位	m2	単価	1	単価	
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
下塗り (施工費)			m2	1.1			単 49号
下塗り (材料費)			m2	1			単 50号
合計							
単価							円／m2

## 1次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0
単価	
1	

単 18号	上塗	条件	単位	m2	単価	金額	摘要
上塗り (施工費)							単 51号
上塗り (材料費)			m2	1.1			単 52号
合計			m2	1			
単価							円／m2

## 1次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0
単価	
57.9	

単 19号	高欄撤去	条件	単位	m	単価	金額	摘要
高欄撤去							
スクラップ ヘビ'-H3			m	57.9			
合計			t	-1.8			
単価							円／m

# 1次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 20号	吊足場	種別:地覆補修用足場	単位	m2	単価	1	単価	
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額		摘要
足場・防護		シート, 2回, 1.0月以下						
			m2	1				
合計								
単価								円／m2

# 1次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 21号	吊足場	種別:タイプ A2	単位	m2	単価	1	単価	
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額		摘要
吊足場 タイプ A2			m2	1			単 53号	
床面シート張防護			m2	1			単 54号	
板張防護 タイプ B			m2	1			単 55号	
シート張防護 タイプ B			m2	1			単 56号	
	合計							
	単価						円／m2	

# 1次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 22号	養生シート	種別:プラス用	単位	m2	単位数量	1	単価	
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
プラス用養生シート工							単 57号	
			m2	1				
	合計							
	単価						円／m2	

# 1次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 23号	交通誘導警備員		単位	人日	単位数量	1	単価	
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
交通誘導警備員B							単 58号	
			人日					
	合計							
	単価						円／人日	

# 1次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 24号	建設機械運搬費	単位	台	単価	金額	摘要
名称・規格		条件	単位	数量		
貨物自動車による運搬(1車1回)		路面切削機(ホイール廃材積込付)2.0m, 4.9km, 無, 有	台	2		単 59号
合計						
単価						円/台

# 1次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 25号	橋梁用高欄	材質:鋼製, 高欄形式:橋梁用高欄(組立式)	単位	m	単価数量	58.1	単価	
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋梁用高欄	組立式							
			m	58.1				
コンクリート削孔(電動ハスマドリル)	30mm以上200mm未満		孔	68				
コンクリート削孔(電動ハスマドリル)	200mm以上400mm以下		孔	68				
樹脂カブセル M20用 L=160			本	68				
樹脂カブセル M20用 L=250			本	68				
合計								
単価							円／m	

# 1次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 26号	ガードレール補修	種別:C種	単位	m	単価	14.8	単価	
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
ガードレール補修工 ベースプレート式			m	14.8			単 62号	
支柱 φ114.3×4.5×700			本	8				
袖レール(巻袖 塗装) C型 2.3×382×660			枚	4				
アラウト(塗装) 4.5×70×31×300			個	4				
レール(塗装) C・S型 2.3×350×50×2330			枚	8				
ボルト・ナット(メッキ) B・C用 M20×145			本	4				
ボルト・ナット(メッキ) A・B・C・S用 M16×35			本	40				
ベースプレート PL-16×250×250			枚	8				
アンカーボルト M22×230			本	32				
樹脂カフセル M22用 L=230			本	32				
合計								
単価							円/m	

# 1次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 27号	橋名板	単位	枚	単価	1	単価	
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
橋名板等取付			枚	1			
合計							
単価							円／枚

# 1次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 28号	防護柵撤去(ガードレール)	単位	m	単価	14.8	単価	
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
防護柵撤去工(ガードレール撤去工)	コンクリート建込・標準型, Gr-C-2B, 無, 無						単 63号
スクラップ ヘビ-H3		m	14.8				
合計							
単価		t	-0.22				円／m

# 1次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 29号	高欄撤去	単位	m	単価	58.1	単価	
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
高欄撤去			m	58.1			
スクラップ <sup>°</sup> ヘビーハ3		t	-1.74				
無収縮モルタル工		m3	0.11				単 64号
合計							
単価							円／m

# 1次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 30号	吊足場	種別: 地覆補修用足場	単位	m2	単価	1	単価	
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
足場・防護		シート, 2回, 1.0月以下						
			m2	1				
	合計							
	単価						円／m2	

# 1次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 31号	交通誘導警備員		単位	人日	単価	1	単価	
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
交通誘導警備員B							単 58号	
			人日					
	合計							
	単価						円／人日	

## 1次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 32号	橋面防水	防水工種類:防水保護層薄層表面処理	単位	m2	単位数量	1	単価	
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋面防水工							単 66号	
			m2	1				
	合計							
	単価						円／m2	

## 1次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 33号	水切り材設置		単位	m	単位数量	1	単価	
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
水切り材設置工							単 67号	
			m	1				
橋梁用水切り材 FRP L型								
	合計							
	単価						円／m	

# 1次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 34号	左官工法	1構造物当り修復延べ体積:0.411m3, 材料種類:軽量ポリマーセメントモルタル, 鉄筋ケ ル・鉄筋防錆処理:有り	単位	構造物	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
断面修復工(左官工法)		有り, 0.1m3以上, 0.411m3	構造物	1			単 68号	
合計								
単価							円／構造物	

## 1 次单值表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

# 1次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 36号	殻運搬	殻種別:コンクリート殻(無筋)	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
殻運搬		コンクリート(無筋)構造物とりこわし, 機械積込, 無し, 14.4km以下, 全ての費用	m3	1				
合計								
単価							円／m3	

# 1次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 37号	殻処分	殻種別:コンクリート殻(無筋)	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費(m3)		無	m3	1			単 69号	
合計								
単価							円／m3	

# 1次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 38号	交通誘導警備員		単位	人日	単位数量	1	単価	
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
交通誘導警備員B							単 58号	
			人日					
合計								
単価							円／人日	

## 2次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 39号	処分費(m3)	無	単位	m3	単価	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費 アスファルト殻								
			m3	100				
合計								
単価							円／m3	

## 2次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 40号	塗膜系防水	補修, 有, 33.33m <sup>2</sup> /100m <sup>2</sup> , 有, 40.55m <sup>1</sup> /100m <sup>2</sup> , 無	単位	m <sup>2</sup>	単位数量	100	単価	
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋面防水工 塗膜系防水(アスファルト系)補修			m <sup>2</sup>	100				
床版排水材 トーレン			m	34.997				
目地材 橋面防水用			m	42.578				
諸雑費(まるめ)			式	1				
合計								
	単価						円/m <sup>2</sup>	

## 2次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 41号	床版排水パイプ設置工		単位	箇所	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
土木一般世話役			人					
特殊作業員			人					
普通作業員			人					
諸雑費(率+まるめ)			式	1				
合計								
単価							円／箇所	

## 2次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0
単価	

単 42号	床版水抜パイプ用フレキシブルチューブ設置工		単位	m	単位数量	10	単価
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要
普通作業員			人				
諸雑費(率+まるめ)			式	1			
合計							
単価							円／m

## 2次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 43号	区画線設置	無し, 溶融式手動, 無し, 実線 15cm, 無し, 1.0mm, 無し, 無し, 含有量15~18%, 白, アスファルト舗装, 全ての費用	単位	m	単位数量	1,000	単価	
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
区画線設置(溶融式) 昼間 豪雪無 実線15cm 制約無			m	1,000				
トライックベント 溶融型 3種1号 ビーズ 15~18 白			kg	390				
ガラスビーズ 0.106~0.850mm			kg	25				
接着用プライマー 区画線用			kg	25				
軽油			L	40				
諸雑費(率+まるめ)			式	1				
合計								
単価							円／m	

## 2次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 44号	鋼製伸縮装置補修	鋼フィンガージョイント等の設置, 標準	単位	m	単価	1	単価
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要
鋼製伸縮装置補修(取替工) (鋼フィンガージョイント等の設置)	標準						単 71号
鋼製伸縮装置補修(仕上工) (鋼フィンガージョイント等の設置)		m	1				単 72号
合計		m	1				
単価							円／m

## 2次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 45号	素地調整工	条件	単位	m2	単価	金額	摘要
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
橋りょう世話役			人				
橋りょう塗装工			人				
循環式プラス機械経費 プラスチック賃料 2ノズルタイプ			台・日	14.7			
循環式プラス機械経費 プラスチック・プラスホース賃料			台・日	14.7			
循環式プラス機械経費 プラスチック整備費			台・日	14.7			
空気圧縮機[可搬式・エンジン駆動・スクリュ]			日				
排出ガス対策型(第1次)18~19m <sup>3</sup> /min			日				
発動発電機[ディーゼルエンジン駆動]			日				
排出ガス対策型(第1次)100/125kVA			日				
ダンプトラック[オントロード・ディーゼル] 4t積級			日				
循環式プラス機械経費 スチールグリット			m2	1,000			
軽油			L	4,233.6			
諸雑費(率+まるめ)			式	1			
合計							

## 2 次单值表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

## 2次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 46号	研削材・塗膜かす回収工		単位	m2	単位数量	1,000	単価	
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋りょう塗装工			人					
トラック[クレーン装置付] ペーストラック4t級 吊能力2.9t			日					
諸雑費(率+まるめ)			式	1				
合計								
単価							円／m2	

## 2次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 47号	脱脂洗浄・プライマー (施工費)		単位	m2	単価	1,000	単価	
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額		摘要
橋りょう世話役			人					
橋りょう塗装工			人					
諸雑費(率+まるめ)			式	1				
合計								
	単価							円／m2

## 2次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 48号	脱脂洗浄・フライマー (材料費)	単位	m2	単価	1,000	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要
Deck工法 脱脂洗浄剤			kg	50			
Deck工法 フライマー			kg	250			
合計							
単価							円／m2

## 2次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 49号	下塗り (施工費)		単位	m2	単価	1,000	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋りょう世話役			人					
橋りょう塗装工			人					
諸雑費(率+まるめ)			式	1				
合計								
単価							円／m2	

## 2次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 50号	下塗り (材料費)	単位	m2	単価	1,000	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要
Deck工法 下塗塗料	標準使用量0.2kg/m2		kg	200			
合計							
単価							円/m2

## 2次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 51号	上塗り (施工費)		単位	m2	単価	1,000	単価	
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額		摘要
橋りょう世話役			人					
橋りょう塗装工			人					
諸雑費(率+まるめ)			式	1				
合計								
	単価							円／m2

## 2次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 52号	上塗り (材料費)		単位	m2	単位数量	1,000	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
Deck工法 上塗塗料 標準使用量0.18kg/m2			kg	180				
合計								
単価							円／m2	

## 2次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 53号	吊足場 タイプ A2		単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋りょう特殊工			人					
足場損料 吊足場 タイプ A2			月					
合計								
単価							円／m2	

## 2次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0
単価	
1	

単 54号	床面シート張防護	条件	単位	m2	単価	金額	摘要
	名称・規格		単位	数量			
橋りょう特殊工			人				
足場損料			月				
床面シート張防護							
	合計						
	単価						円／m2

## 2次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0
単価	
1	

単 55号	板張防護 タイフB	条件	単位	m2	単価	金額	摘要
	名称・規格		単位	数量			
橋りょう特殊工			人				
足場損料			月				
板張防護							
	合計						
	単価						円／m2

## 2次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0
単価	
1	単価

単 56号	シート張防護 タイプB		単位	m2	単位数量	1	単価
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要
橋りょう特殊工			人				
足場損料 シート張防護			月				
合計							
単価							円／m2

## 2次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0
単価	
1	単価

単 57号	プラス用養生シート工		単位	m2	単位数量	1	単価
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要
橋りょう特殊工			人				
足場損料 プラス用養生シート			月				
合計							
単価							円／m2

## 2次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0
単価	
1	単価

単 58号	交通誘導警備員B		単位	人日	単位数量	1	単価
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員B			人				
諸雑費(まるめ)			式	1			
合計							
単価							円／人日

## 2次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0
単価	
1	単価

単 59号	貨物自動車による運搬(1車1回)	路面切削機(ホイル廃材積込付)2.0m, 4.9km, 無, 有	単位	台	単位数量	1	単価
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要
貨物自動車基本運賃 20t車以上30t車まで 20kmまで			台	1			
貨物自動車運送料金 運搬中の賃料(損料)K(K')			台	1			
合計							
単価							円／台

## 2次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 60号	鉄筋探査工 (下向)		単位	m2	単価	4.3	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
技師(A)			人					
技師(B)			人					
技師(C)			人					
諸雑費(率+まるめ)			式	1				
合計								
単価							円／m2	

## 2次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 61号	現場環境改善費(積上)		単位	式	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
PR看板			枚	1				
合計								

## 2次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 62号	ガードレール補修工 ベースフレート式		単位	m	単価	14.8	単価	
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額		摘要
土木一般世話役			人					
特殊作業員			人					
普通作業員			人					
軽作業員			人					
諸雑費(率+まるめ)			式	1				
合計								
単価							円／m	

## 2次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0
単価	
1	単価

単 63号	防護柵撤去工(ガードレール撤去工)	コンクリート建込・標準型, Gr-C-2B, 無, 無	単位	m	単位数量		
-------	-------------------	-----------------------------	----	---	------	--	--

名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
ガードレール撤去工 CO建込用 Gr-A、B、C-2B						
		m	1			
合計						
単価						円／m

## 2次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0
単価	

単 64号	無収縮モルタル工		単位	m3	単位数量		
-------	----------	--	----	----	------	--	--

名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
極小規模無収縮モルタル工						単 73号
		m3	1			
無収縮剤 セメント系プレミックス 標準混和量1875kg						
		kg	1,875			
合計						
単価						円／m3

## 2次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 65号	鉄筋探査工 (下向)		単位	m2	単価	1.8	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
技師(A)			人					
技師(B)			人					
技師(C)			人					
諸雑費(率+まるめ)			式	1				
合計								
単価							円／m2	

## 2次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 66号	橋面防水工	条件	単位	m2	単価	100	単価
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役			人				
防水工			人				
普通作業員			人				
浸透型アライマー 塩分吸着樹脂			kg	46			
珪砂			kg	42			
表面処理保護材 乳剤セメントモルタル			kg	420			
諸雑費(率+まるめ)			式	1			
合計							
単価							円／m2

## 2次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 67号	水切り材設置工	条件	単位	m	単価	100	単価
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役			人				
特殊作業員			人				
普通作業員			人				
諸雑費(率+まるめ)			式	1			
合計							
単価							円／m

## 2次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 68号	断面修復工(左官工法)	有り, 0.1m3以上, 0.411m3	単位	構造物	単価	1	単価	
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額		摘要
土木一般世話役			人					
特殊作業員			人					
普通作業員			人					
材料費 軽量ボーリマーセメントモルタル			m3	0.485				
諸雑費(率+まるめ)			式	1				
合計								
単価							円／構造物	

## 2次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 69号	処分費(m3)	無	単位	m3	単価	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費 コンクリート殻(無筋)								
			m3	100				
合計								
単価							円／m3	

## 2次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 70号	鉄筋探査工 (上向)		単位	m2	単価	0.5	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
技師(A)			人					
技師(B)			人					
技師(C)			人					
諸雑費(率+まるめ)			式	1				
合計								
単価							円／m2	

### 3次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 71号	鋼製伸縮装置補修(取替工) (鋼製インガーディメント等の設置)	標準	単位	m	単価	1	単価	
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額		摘要
橋りょう世話役			人					
特殊作業員			人					
普通作業員			人					
橋梁用伸縮装置 伸縮量70mm 斜角対応			m	1				
ラフテーンクレーン[油圧伸縮ジブ型] 16t吊			日					
諸雑費(率+まるめ)			式	1				
合計								
単価							円/m	

### 3次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 72号	鋼製伸縮装置補修(仕上工) (鋼製伸縮装置等の設置)	単位	m	単価	1	単価	
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
橋りょう世話役		人					
特殊作業員		人					
普通作業員		人					
諸雑費(率+まるめ)		式	1				
合計							
単価						円／m	

### 3次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 73号	極小規模無収縮モルタル工	条件	単位	m3	単価	0.109	単価	
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額		摘要
土木一般世話役			人					
特殊作業員			人					
普通作業員			人					
諸雑費(率+まるめ)			式	1				
合計								
	単価						円／m3	

# 一 特 記 仕 様 書 一

令和7年11月1日以降公告案件から適用

## 施 工 条 件 明 示 書

工事番号	工事名	令和7年度 宝作橋外2橋橋梁補修工事	事務所名	角田市		
項目	条件	内 容	施工方法	備 考		
1 共通仕様書の適用	本工事は、宮城県土木部制定「共通仕様書」を適用するほか、本特記仕様書により施工するものとする。 仕様書の記載内容の優先は、「特記仕様書」「共通特記仕様書」「共通仕様書」の順とする。					
2 主任技術者及び監理技術者(以下、配置技術者という。)の配置						
(1) 現場施工に着手する日の指定 (配置技術者の配置要件の特例) ※平成25年4月1日以降適用「現場施工の着手日を指定した工事における配置技術者の配置要件の特例について」	○	契約工期初日以降、90日以内に着手 (手持ち工事が完了した場合や、制約条件がない場合等は、期日以前の着手も可能)				
(2) 請負者が着手日を選択出来る工事(フレックス工事)	○	契約工期初日以降、○○日以内に着手 土木工事共通特記仕様書第1編1-1-4によること。				
(3) 上記以外	○	請負者は、現場施工に着手する日の指定がない限り、原則として、契約工期初日以降、30日以内に現場施工に着手				
	上記現場施工に着手する日の前日までの期間において、工事準備等を含め工事現場が不稼動であることが明確な場合は、配置技術者の工事現場への専任は要しない。 出納局契約課ホームページ参照のこと。 <a href="http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/keiyaku/kk50.html">http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/keiyaku/kk50.html</a>					
3 専任特例の適用を受ける技術者の配置						
	建設業法第26条第3項ただし書の規定(以下「専任特例」という。)の適用を受ける主任技術者又は監理技術者を配置する場合は、下記によるものとする。 1. 専任特例の適用を受ける主任技術者又は監理技術者を配置する場合、適用要件について以下の出納局契約課ホームページを参照すること。 <a href="https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/keiyaku/kk50.html">https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/keiyaku/kk50.html</a> 2. 本工事の主任技術者又は監理技術者が専任特例の適用を受ける場合、落札候補者となった際に確認事項兼誓約書を提出すること。 3. 本工事において、専任特例の適用を受ける主任技術者又は監理技術者の配置を行う場合又は配置を要さなくなった場合は適切にコリンズ(CORIINS)への登録を行うこと。					
4 積算基準及び設計単価の適用期日						
(1) 積算基準及び設計単価の適用について	○ ある	○ ない	積算基準及び設計単価は公告日の前月の基準及び単価としている。			
(2) 工事請負契約締結後における設計単価の変更	○ ある	○ ない	本工事は、当初工事請負契約締結後において、契約日を基準日として設計単価の設計変更を行うこととする。 なお、設計変更の対象は、資材単価・労務単価及び機械単価等の全ての設計単価とする。 ただし、災害に伴う応急仮工事など緊急を要す工事において、積算月と契約月が同月となる場合など、工事請負契約締結後における設計単価の変更が必要ないと判断される場合においては、適用「なし」を選択することも可能とし、その場合は下欄にその理由を記載する。			
	適用「なし」 の理由					
5 工程関係						
(1) 関連工事による施工時期の調整	○ ある	○ ない				
(2) 施工時期による制限	○ ある	○ ない	非出水期施工	監督職員と協議のうえ 河川管理者と調整を図ること。		
(3) 関係機関等との協議の未成立	○ ある	○ ない	交通管理者との協議	監督職員と協議のうえ 交通管理者と調整を図ること。		
(4) 関係機関等との協議結果、特定条件の付加	○ ある	○ ない	上記協議結果による	河川管理者および交通管理者の 指定条件に基づき施工すること。		
6 公害対策関係						
(1) 施工方法、機械施設、作業時間等の制限	○ ある	○ ない				
7 安全対策関係						
(1) 交通安全施設等の指定	○ ある	○ ない	交通誘導警備員は設計図面【参考図】を想定し、 必要な日数分を計上している。 ただし、交通管理者との協議によってはこの限りではない。	交通管理者の指定条件に基づき 施工すること。		
(2) 占用埋設物との近接工事による 施工方法、作業時間の制限	○ ある	○ ない				
8 排水工関係						
(1) 潜水、湧水処理のための特別な対策の必要性	○ ある	○ ない				
9 建設副産物対策関係(建設発生土)						
(1) 建設発生土の処理・処分について	本工事の残土は、下記に運搬するものとする。なお、下記により難い場合が生じたときは、監督職員の指示によるものとし、設計変更の対象とする。					
	処理・処分する場所		処理・処分方法	距 離		
	名称	所在地		制 限 時 間		
(2) 建設発生土	処理・処分	○ ある	○ ない	時 分 ~ km 時 分		

10 建設副産物対策関係(建設発生土以外の建設副産物)																	
(1) 建設発生土以外の建設副産物の処理・処分について			下記の処理・処分は設計積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、下記によらない場合は、監督職員と協議すること。また、処理・処分に先立ち処分場等の受け入れの可否を確認すること。なお、廃棄物の処理に当たっては「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」を遵守すること(環境省または廃棄物対策課のHPを参照)。														
				処理・処分する場所		処理・処分方法											
工事現場内及び工事現場間で再利用する場合は、施工管理及び契約方法等について、施工計画打合せ時に監督職員と協議すること。																	
(2) 建設発生土以外の建設副産物	処理・処分	コンクリート塊	<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない	株式会社 森林工務店	丸森町館矢間	中間処理・再資源化施設										
		アスファルト塊	<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない	角田市農業センター	角田市藤田	中間処理・再資源化施設										
		建設発生木材	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない													
		建設汚泥	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない													
		その他	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない													
(3) 再生材の利用		<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない	種類・数量													
11 現場環境改善																	
(1) 現場環境改善費(率計上)について			<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない	本工事は、現場環境改善費(率計上)を計上している工事である。下表の内容のうち原則として、各計上費目(仮設備関係、常締関係、安全関係及び地域連携)ごとに1内容ずつ(ただし、いずれか1費目のみ2内容)の合計5つの内容を選択し、具体的な実施内容、実施期間について明記し、監督職員と協議すること。												
					<table border="1"> <thead> <tr> <th>計上費目</th><th>実施する内容(率計上)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>仮設備関係</td><td>1. 用水・電力等の供給設備、 2. 緑化・花壇 3. ライトアップ施設 4. 見学路及び椅子の設置 5. 升降設備の充実 6. 環境負荷の低減</td></tr> <tr> <td>常締関係</td><td>1. 現場事務所の快適化(女性用更衣室の設置を含む) 2. 労働宿舎の快適化 3. デザインボックス(交通誘導警備員待機室) 4. 現場休憩所の快適化 5. 健康関連設備及び厚生施設の充実等</td></tr> <tr> <td>安全関係</td><td>1. 工事標識・照明等安全施設のイメージアップ(電光式標識等) 2. 塗装防止対策(警報器等)</td></tr> <tr> <td>地域連携</td><td>1. 完成予想図、2. 工法説明図、3. 工事工程表 4. デザイン工事看板(各工事看板含む) 5. 見学会等の開催(イベント等の実施含む) 6. 見学会(インフォメーションセンター)の設置及び管理運営 7. パンフレット・工法説明ビデオ 8. 地域対策費(地域行事等の経費を含む) 9. 社会貢献</td></tr> </tbody> </table>			計上費目	実施する内容(率計上)	仮設備関係	1. 用水・電力等の供給設備、 2. 緑化・花壇 3. ライトアップ施設 4. 見学路及び椅子の設置 5. 升降設備の充実 6. 環境負荷の低減	常締関係	1. 現場事務所の快適化(女性用更衣室の設置を含む) 2. 労働宿舎の快適化 3. デザインボックス(交通誘導警備員待機室) 4. 現場休憩所の快適化 5. 健康関連設備及び厚生施設の充実等	安全関係	1. 工事標識・照明等安全施設のイメージアップ(電光式標識等) 2. 塗装防止対策(警報器等)	地域連携	1. 完成予想図、2. 工法説明図、3. 工事工程表 4. デザイン工事看板(各工事看板含む) 5. 見学会等の開催(イベント等の実施含む) 6. 見学会(インフォメーションセンター)の設置及び管理運営 7. パンフレット・工法説明ビデオ 8. 地域対策費(地域行事等の経費を含む) 9. 社会貢献
計上費目	実施する内容(率計上)																
仮設備関係	1. 用水・電力等の供給設備、 2. 緑化・花壇 3. ライトアップ施設 4. 見学路及び椅子の設置 5. 升降設備の充実 6. 環境負荷の低減																
常締関係	1. 現場事務所の快適化(女性用更衣室の設置を含む) 2. 労働宿舎の快適化 3. デザインボックス(交通誘導警備員待機室) 4. 現場休憩所の快適化 5. 健康関連設備及び厚生施設の充実等																
安全関係	1. 工事標識・照明等安全施設のイメージアップ(電光式標識等) 2. 塗装防止対策(警報器等)																
地域連携	1. 完成予想図、2. 工法説明図、3. 工事工程表 4. デザイン工事看板(各工事看板含む) 5. 見学会等の開催(イベント等の実施含む) 6. 見学会(インフォメーションセンター)の設置及び管理運営 7. パンフレット・工法説明ビデオ 8. 地域対策費(地域行事等の経費を含む) 9. 社会貢献																
(2) 避暑(熱中症対策)・避寒対策費について					避暑(熱中症対策)・避寒対策を実施した場合、その費用を設計変更の対象とする。(共通仮設費の現場環境改善費(積み上げ分)として計上)実施に当たっては、対策内容がわかる資料により発注者と協議すること。費用については、注文書及び請求書、またはそれに代わる書類により協議すること。ただし、設計変更の上限額は、土木部標準積算基準書により算出した現場環境改善費(率計上)の50%とする。なお、設計変更の対象となる内容は、遮光設備や大型扇風機、製氷機の設置費用など現場の施設や設備に対する対策であり、空調服や経口保水液の購入費用など作業員個人に対する対策は対象外となる。												
(3) 快適トイレの設置費について					受注者が快適トイレを設置する場合、その費用を設計変更の対象とします。(共通仮設費(常締費)の積み上げ分として計上)実施に当たっては、「快適トイレの設置費用に係る積算基準」(事業管理課HP-各種基準)を参照すること。												
12 品質証明																	
(1) 品質証明書および施工プロセス品質確認チェックリストの対象		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない	請負工事費が、1億5千万円以上の工事および発注者が必要と認める工事。 土木工事共通特記仕様書第3編1-1-9および品質証明実施要領によること。													
(2) 施工プロセス品質確認チェックリストの対象		<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない	上記に該当せず、請負工事費が1億円以上の工事。 土木工事共通特記仕様書第3編1-1-9および品質証明実施要領によること。													
13 標準的な設計図書による発注方式																	
14 資材関係																	
(1) 生コンクリート		生コンクリートの使用に当たっては、「宮城県生コンクリート品質管理監査会議」が交付する「品質管理監査合格証」を有する工場の製品、又は同等以上の品質管理を行っていることが認められる工場の製品を使用すること。															
(2) 購入土		購入土を使用する場合は、材料承諾時に「採石法第33条による採取計画認可書の写し」、又は「砂利採取法第16条の採取計画認可書の写し」を提出すること。															
(3) 宮城県グリーン製品の利用		必須 1. 植生基盤材等、視線誘導標、型枠用合板は、原則として宮城県グリーン製品を用いること。															
(4) 県内産製品の使用		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない	2. 盛土材、埋め戻し材													
		<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない	3. その他( )													
(5) 現場吹付法枠工		本工事は、「県土木部発注工事における県内産製品優先使用の試行要領」の対象工事である。 工事の施工にあたっては、試行要領に基づき適切に実施すること。 事業管理課ホームページ参照 <a href="http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jigyukanri/kensanzai.html">http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jigyukanri/kensanzai.html</a>															
15 設計変更の手続き																	
(1) 設計変更の手続きについて		設計変更については、工事請負契約書第19条～第26条及び共通仕様書第1編1-1-1-14～1-1-1-16に記載しているところであるが、その具体的な考え方や手続きについては、「工事請負契約における設計変更ガイドライン」(宮城県土木部)によることとする。															
		詳細については、以下のホームページ「設計変更ガイドライン【土木工事、建設関連業務】」を参考すること。 <a href="https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jigyukanri/henkou-guideline.html">https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jigyukanri/henkou-guideline.html</a> トップページ>しごと・産業>土木・建築・不動産業>建設業>設計変更ガイドライン【土木工事、建設関連業務】															
16 その他																	
(1) 補装の下請制限について		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない	土木工事共通特記仕様書第1編1-1-3によること。													
(2) 「ダンブ土砂運搬等下請を行う工事における工事費内訳調査」の対象の有無		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない	本工事は「ダンブ土砂運搬等下請を行う工事における工事費内訳調査」の対象工事であり、請負者は、調査票等に必要事項を正確に記入し発注者に提出する他、ダンブ土砂運搬等下請負契約に関する関係書類を提出すること。													
		請負者が本工事の一部について下請契約を締結する場合には、請負者は、当該工事の受注者(当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む)も同様の義務を負う旨を周知すること。															
(3) 三者会議の対象の有無		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない	本工事は、工事着手前等に当該工事の発注者、施工者、詳細設計等を担当した設計者が参加して、設計図書と現場の整合性の確認及び設計意図の伝達等を行う「三者会議」を設置する対象工事である。 土木工事共通特記仕様書第3編1-1-5によること。													

(4)貸与資料の有無	<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない	本仕様書によるものほか工事施工に関して必要な資料として工事契約後下記の資料を貸与する。 貸与資料(「令和5年度小桜橋ほか2橋橋梁補修調査設計業務委託報告書」、「令和4年度(継)花島橋橋梁補修調査設計業務委託」)
(5)発注者支援(工事監督支援業務)対象の有無	<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない	工事監督支援業務の受注者が現場監督支援する場合、工事請負者対し「工事打合せ簿」により担当技術者(所属会社等・氏名)の通知を行うこと。
(6)法定外の労災保険の付保について			本工事では、法定外の労災保険加入にかかる保険料を予定価格に反映しているため、本工事において受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。なお、加入後受注者は、工事請負契約書第62条に基づき、証券又はこれに代わるもの直ちに発注者に提示すること。
(7)熱中症対策に資する現場管理費補正の試行の有無	<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない	本工事は熱中症対策に資する現場管理費率の補正の試行対象工事である。本運用による設計変更を希望する場合は、別途定める「熱中症対策に資する現場管理費補正の試行要領」に基づき、発注者に協議すること。
(8)盛土規制法について			本工事において、盛土規制法の規制対象となる行為を行う場合は、事前に手続き方法等について発注者と協議すること。 詳細については、以下のホームページを参考すること。 <a href="https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kentaku/morido.html">https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kentaku/morido.html</a>

## 働き方改革・生産性向上に関する事項

項目	条件	内 容	
17 総合評価落札方式における「ICT施工・3次元化等の活用提案」の適用の有無			
(1)「ICT施工・3次元化等の活用提案」の適用工事	<input checked="" type="radio"/> 対象	<input checked="" type="radio"/> 対象外	1. 対象工事の場合、活用する技術については、「ICT施工・3次元化等の活用提案 工事計画書」に基づき選択すること。 2. ICT施工・3次元化等の活用提案の適用の有無に係わらず、「ICT施工・3次元化等の活用提案 工事計画書」に記載の技術は、施工計画・技術提案等(いわゆる作文)の評価対象外とする。(「簡易型(施工計画型)」、「標準型」、 「高度型」の場合) なお、「ICT施工・3次元化等の活用提案」の対象外工事の場合も、同様の取扱いとする。
(2)実施された技術についての費用計上(設計変更)	<input checked="" type="radio"/> 対象	<input checked="" type="radio"/> 対象外	設計変更の積算手法については、総合評価落札方式の手引きのとおりとする。なお、(1)が対象外の場合は、当該項目も対象外となる。
18 業務効率化			
(1)工事情報共有システムの活用	<input checked="" type="radio"/> 対象	<input checked="" type="radio"/> 対象外	本工事は工事情報共有システムの活用対象工事であり、請負者は工事着手時に別途定める「工事情報共有システム事前協議チェックシート」により、必要事項について監督職員と協議を行うこと。実施にあたっては「土木工事における工事情報共有システムの実施要領」及び「土木工事における工事情報共有システムの活用ガイドライン」に基づき行うこと。
(2)工事書類の簡素化の試行について	<input checked="" type="radio"/> あり	<input type="radio"/> なし	本工事は、工事書類の簡素化を目的とした試行対象工事である。実施にあたっては「宮城県土木部における工事書類簡素化の試行要領」に基づき行うこと。
(3)ウィークリースタッフ等の推進			本工事は、受注者協力のもと、建設業の魅力創出を図ることを目的に「ウィークリースタッフ等の推進」を実施する。 詳細については、宮城県土木部事業管理課のホームページを参照すること。 <a href="http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jigyokanri/weekly.html">http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jigyokanri/weekly.html</a>
19 週休2日工事の適用の有無			
(1)週休2日工事	<input checked="" type="radio"/> 対象	<input checked="" type="radio"/> 実施困難工事	1. 週休2日対象工事の場合は、角田市「週休2日工事」実施要領に基づき、行うことする。 なお、週休2日工事の種別及び区分については、下記(2)、(3)のとおりとする。 2. 改正労働基準法(平成30年6月成立)による罰則付きの時間外労働規制が建設業に適用されたことを踏まえ、週休2日の確保を目指し、「週休2日工事」での発注を原則とする。ただし、応急復旧工事など緊急工事の場合は、例外的に週休2日対象工事としないことも可能とする。その場合は「実施困難工事」として、下欄にその理由を記載する。  実施困難工事 (例) ・応急復旧工事のため早期に工事を完成させる必要があり、週休2日の確保が困難なため
(2)週休2日工事の種別	<input checked="" type="radio"/> 現場閉所型	<input checked="" type="radio"/> 交替制	現場閉所型:巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場事務所での事務作業を含めて、1日を通して現場や現場事務所を閉所する。 交替制:現場閉所を行なうことが困難な工事について、技術者及び技能労働者が交替しながら休日確保の取組を行う。
(3)週休2日工事の区分			週休2日工事の区分は「完全週休2日」と「月単位の週休2日」に区分する。 当初発注においては「完全週休2日」を指定、積算している。 「月単位の週休2日」は受注者の希望型とし、工事着手前に受注者間で協議の上、実施の可否を決定する。なお、協議により「月単位の週休2日」を実施することとし、「月単位の週休2日」を達成した場合は、精算変更時に「月単位の週休2日」の補正係数に変更する。 「完全週休2日」:対象期間の全ての週において、2日間以上の休日を取得したと認められる状態。 「月単位の週休2日」:対象期間の全ての月において、4週8休以上の休日を取得したと認められる状態。
20 女性活躍推進モデル工事の適用の有無			
(1)女性活躍推進モデル工事	<input checked="" type="radio"/> 対象	<input checked="" type="radio"/> 対象外	実施に当たっては、宮城県土木部「女性活躍推進モデル工事」実施要領に基づき行うものとする。 実施要領は、宮城県ホームページ( <a href="https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jigyokanri/">https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jigyokanri/</a> )で確認のこと。
21 下請承認事務簡素化モデル工事の適用の有無			
(1)下請承認事務簡素化モデル工事	<input checked="" type="radio"/> 対象	<input checked="" type="radio"/> 対象外	実施に当たっては、発注者から工事打合せ簿により、「下請承認事務簡素化モデル工事」である旨を別途指示するものとする。

## 東日本大震災に伴う特例制度

項目	条件	内容	実施方法	備考
22 被災地以外からの労働者確保に要する間接費の設計変更の運用				
(1)労働者確保に関する積算方法の試行工事	<input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない	<p>1 本工事は、「共通仮設費(率分)のうち當繕費」及び「現場管理費のうち労務管理費」の下記に示す費用(以下「実績変更対象間接費」という。)について、契約締結後、労働者確保に要する方策に変更が生じ、宮城県土木部においては土木工事標準積算基準(宮城県土木部)に基づく金額相当では適正な工事の実施が困難になった場合は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて最終精算変更時点で設計変更する「労働者確保に関する積算方法の工事」である。</p> <p>當繕費:労働者送迎費、宿泊費、借上費 労務管理費:募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用</p> <p>2 本工事の予定価格の算出の基礎とした設計額(宮城県土木部においては、土木工事標準積算基準に基づき算出した額)における実績変更対象間接費の割合は次のとおりである。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 共通仮設費(率分)に占める実績変更対象間接費(労働者送迎費、宿泊費、借上費)の割合: <b>22.04%</b></li> <li>2 現場管理費に占める実績変更対象間接費(募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用)の割合: <b>1.73%</b></li> </ol> <p>3 受注者は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて設計変更を希望する場合は、実績変更対象間接費に係る費用の内訳を記載した「労働者確保に係る実績報告書(様式1)」及び実績変更対象間接費について実際に支払った全ての証明書類(領収書、領収書の出ないものは金額の適切性を証明する金額計算書など。)を監督員に提出し、設計変更の内容について協議するものとする。</p> <p>4 受注者の責めによる工事工程の遅れ等受注者の責めに帰すべき事由による増加費用については、設計変更の対象としない。</p> <p>5 発注者は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて設計変更する場合、受注者が実績変更対象間接費について実際に支払った額のうち証明書類において確認された費用から、宮城県土木部においては土木工事標準積算基準(宮城県土木部)に基づき算出した額における実績変更対象間接費を差し引いた費用を加算して算出する。なお、全ての証明書類の提出がない場合であっても、提出された証明書類をもって設計変更を行うものとする。</p> <p>6 受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合については、法的措置及び入札参加資格制限等の措置を行う場合がある。</p> <p>7 受注者は、実績変更対象間接費にかかる設計変更について疑義が生じた場合は、監督員と協議するものとする。</p>		
(2)労働者宿舎設置に関する積算方法の試行工事	<input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない	本工事は、「労働者宿舎設置に関する試行要領」(以下試行要領)の対象工事である。 労働者宿舎の設置を希望する場合については、「試行要領」に基づき監督職員と事前に協議すること。		
23 遠隔地からの建設資材調達に係る設計変更				
(1)遠隔地からの建設資材調達に係る設計変更	<input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない	<p>下記の建設資材は、通常地域内から調達することを想定しているが、安定的な確保を図るために、当該調達地域以外から調達せざるを得ない場合には、事前に監督職員と協議するものとする。また、購入費及び輸送費に要した費用については、証明書類(契約書及び納品書等)を添付するものとする。なお、添付する証明書類(契約書及び納品書等)は原本を提示(写しの提出)とし、受注者名、納品者名、使用資材名、規格・形状、使用(納品)日、使用(納品)数量等が記載されている物を監督員に提出し、その費用について設計変更することとする。</p> <p>購入費の対象は、生コンクリート・アスファルト合材・石材等(砂石、碎石、捨石、被覆石等)とする。 輸送費の対象は、仮設材(鋼矢板等)とする。</p>	<p>受注者は、購入費及び輸送費を変更したい場合は、「工事打合せ簿」に次の事項を記載し発注者に提出し協議するものとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 地域内及び基地に、建設資材がないことを証明する資料(打合せメモ等)</li> <li>2 遠隔地から購入及び輸送する建設資材の名称・規格及び製造・生産工場の名称(使用材料の建設資材名及び規格・形状等の証明資料「品質証明」)</li> <li>3 遠隔地から建設資材を購入及び輸送する理由</li> <li>4 製造・生産工場を選定した理由</li> <li>5 見積もり書</li> <li>6 その他、必要と思われる事項</li> </ol>	
24 施工箇所が点在する工事の間接費の積算				
(1)施工箇所が点在する工事積算方法の試行の対象工事	<input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない	本工事は、施工箇所が点在する工事であり、共通仮設費及び現場管理費について標準積算と施工実態に乖離が考えられるため、「○〇地区(施工箇所○〇, ○〇), △△地区(施工箇所○〇, ○〇), □□地区(施工箇所○〇) (以下、対象地区という)ごとに共通仮設費及び現場管理費を算出する「施工箇所が点在する工事積算方法の試行」の対象工事である。	本工事における共通仮設費の金額は、対象地区毎に算出した共通仮設費を合計した金額とする。また、現場管理費の金額も同様に、対象地区毎に算出した現場管理費を合計した金額とする。なお、共通仮設費率及び現場管理費率の補正(大都市、施工地域等)については、対象地区毎に設定する。	
25 その他				
(1)土砂等建設資材を供給元で引取する場合の積算の取扱い	<input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない	・本工事の施工において、調達(購入)する予定の○〇の設計単価は、現場持込価格(単価)としている。 ただし、契約後、施工計画に基づき、○〇の調達条件について異なる場合は、監督職員と協議すること。 ・資材搬入において、標準作業以外の作業(現場外の仮置き等)が生じる場合は、監督職員と協議すること。		
(2)東日本大震災の復旧・復興事業等における積算方法等に関する試行について	<input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない	間接工事費(共通仮設費及び現場管理費)について、工事量の増大による資材やダンプトラック等の不足による作業効率の低下等により現場の実支出が増大し、積算基準による積算とかい離が生じていることが確認されたため、積算基準書等により各工種区分に従って対象額ごとに求めた共通仮設費率及び現場管理費率に、それぞれ以下の補正係数を乗じている。	補正係数 共通仮設費:1.3 現場管理費:1.1	

## 特記事項

1 一般事項			
(1) 工事の周知	工事着手後速やかに、現地に工事予告看板を設置するとともに、近隣住民へ工事案内等を配布するなど工事の周知に努めること。また、工事案内等を配布する際は監督員に提出してから行うこと。		
(2) 第三者の安全確保	一般の用に供する敷地の工事については利用者の安全に配慮すること。また、現場内に第三者が侵入しないよう、施工区域を明確にし、必要な措置を講ずること。		
(3) 苦情・要望等	住民からの苦情・要望があった場合には、速やかに監督職員に報告し、対応等について監督職員の指示を受けること。		
(4) 過積載の防止	ダンプトラック等で資材を運搬する際、過積載防止対策についての計画を施工計画書に記載すること。(運転する車両の主要諸元、ナンバー、過積載防止についての具体的な内容等)		
2 その他			
(1) その他	塗膜分析調査により、PCB等の有害物質を含有していることが判明しているため、本事で発生する研削材およびケレン屑、有害物質が付着した保護具等は現場外に搬出せず、UN規格の密閉容器に保管して、発注者が別途契約する運搬処理業者に引き渡すこと。		
(2) その他	本仕様書および共通仕様書に定めのない事項、あるいは疑義が生じた場合は、書面により監督員と協議すること。		

令和7年度

宝作橋外2橋橋梁補修工事

数量計算書

【実施】

参考資料

角田市

## 数量計算書目次

---

---

1. 数量総括表	.....	3
2. 【宝作橋】数量計算書	.....	8
3. 【花島橋】数量計算書	.....	27
4. 【大森4号橋】数量計算書	.....	33

# 数量總括表

## 数量総括表【宝作橋】

工種・種別・細別	規格	単位	数量	計上	摘要
橋梁保全工事					
舗装工					
路面切削工					
路面切削	区分・深さ:全面切削6cm超12cm以下 段差すりつけ撤去作業:有り	m2	166.2	<b>166</b>	
舗装搬(路面切削)	舗装種別:アスファルト舗	m3	15.4	<b>15</b>	166.2 × 平均厚92.5mm
舗装分	舗装種別:アスファルト舗	m3	15.4	<b>15</b>	
橋面防水工					
橋面防水	防水工種類:塗膜防水	m2	166.2	<b>166</b>	トレン: 33.33m/100m <sup>2</sup> 目地材: 40.55m/100m <sup>2</sup>
床版排水パイプ		箇所	12	<b>12</b>	
	コンクリート削孔 φ50 (コンクリート穿孔機)	孔	1		1箇所当り
	床版排水パイプ設置工	箇所	1		"
	橋梁用床版排水パイプ	本	1		"
	注入材 エポキシ樹脂	kg	0.05		0.5L × 1.2(比重) ÷ 12箇所 "
フレキシブルチューブ	規格: φ20	箇所	12	<b>12</b>	
	床版排水パイプ用フレキシブルチューブ設置工	m	26.8		12箇所当り
	橋梁用床版水抜管	m	26.8		"
	支持金物	個	12		"
舗装打換工					
基層	材料規格:密粒度As13FW(改質II型) 舗装厚:45mm, 平均幅員3.0m超	m2	166.2	<b>166</b>	舗装厚:30~75mm 平均厚:45mm
表層	材料規格:密粒度As13T(改質II型) 舗装厚:40mm, 平均幅員3.0m超	m2	166.2	<b>166</b>	
区画線工					
区画線工					
溶融式区画線	施工区分:溶融式手動, 規格仕様:実線15cm 塗布厚:厚1.0mm, 排水性舗装:無し	m	55.4	<b>55</b>	
橋梁付属物工					
伸縮継手工					
鋼製伸縮継手補修	伸縮装置補修:補修普通2車線	m	12.32	<b>12.3</b>	
	鋼製伸縮装置補修 伸縮量70mm	m	12.32		12.32m当り
	端部立上ジョイント 伸縮量70mm用	個	4		"
	超速硬コンクリート	m3	0.98		"
	鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D16	t	0.074		"
	異形差筋アンカー SD345 D16	本	240		"
	シール材	L	4.2		"
	バックアップ材	L	10.5		"
	二重止水材	個	8		"
	ゴムホース 20A	m	16.0		"
	ゴムホース止め金具 20A用	個	16		"
	スクラップ ヘビ-H1	t	0.726		"
橋梁用高欄工					
橋梁用高欄	材質:鋼製, 高欄形式:組立式	m	57.9	<b>58</b>	
	橋梁用高欄	m	57.9		57.9m当り
	コンクリート削孔 φ24 L160 (電動ハマトリル)	孔	64		"
	コンクリート削孔 φ24 L250 (電動ハマトリル)	孔	64		"
	樹脂カブセル M20用 L=160	本	64		"

## 数量総括表【宝作橋】

工種・種別・細別	規格	単位	数量	計上	摘要
銘板工	樹脂カフセル M20用 L=250	本	64		"
橋名板		枚	4	<b>4</b>	
現場塗装工					
橋梁塗装工					
素地調整	種別:1種ケン	m2	502.8	<b>500</b>	
廃材回収・積込	種別:研削材・塗膜	m2	502.8	<b>500</b>	
廃材保管容器	種別:研削材・塗膜・保護具等	缶	8	<b>8</b>	
洗浄・ブライマー		m2	502.8	<b>500</b>	
下塗		m2	502.8	<b>500</b>	
上塗		m2	502.8	<b>500</b>	
構造物撤去工					
防護柵撤去工					
高欄撤去		m	57.9	<b>58</b>	
	高欄撤去	m	57.9		57.9m当り
	スクラップ ヘビ-H3	t	1.80		"
仮設工					
足場工					
吊足場	種別:地覆補修用足場	m2	41.0	<b>41</b>	
吊足場	種別:タイガ A2	m2	184.3	<b>180</b>	
	吊足場 タイガ A2	m2	1.0		1.0m2当り
	床面シート張防護	m2	1.0		"
	板張防護 タイガ B	m2	1.0		"
	シート張防護 タイガ B	m2	1.0		"
養生シート	種別:プラスチック用	m2	184.3	<b>180</b>	
防護施設工					
環境対策資機材費		式	1	<b>1</b>	
交通管理工					
交通誘導警備員		式	1	<b>1</b>	
共通仮設					
共通仮設費					
運搬費					
建設機械運搬費		台	1	<b>1</b>	
安全費					
安全衛生保護具費		式	1	<b>1</b>	
技術管理費					
鉄筋探査	種別:下向	m2	4.32	<b>4.3</b>	橋面3.0m2+高欄1.32m2
現場環境改善費					
現場環境改善費 (積上計上)	PR看板	式	1	<b>1</b>	

## 数量総括表【花島橋】

工種・種別・細別	規格	単位	数量	計上	摘要
橋梁保全工事					
橋梁付属物工					
橋梁用高欄工					
橋梁用高欄	材質:鋼製、高欄形式:組立式	m	58.1	<b>58</b>	
	橋梁用高欄	m	58.1		58.1m当り
	コンクリート削孔 $\phi 24$ L160 (電動ハンマドリル)	孔	68		"
	コンクリート削孔 $\phi 24$ L250 (電動ハンマドリル)	孔	68		"
	樹脂カフセル M20用 L=160	本	68		"
	樹脂カフセル M20用 L=250	本	68		"
ガードレール補修	種別:C種	m	14.8	<b>15</b>	3.7m×4箇所
	ガードレール補修工 ベースプレート式	m	14.8		14.8m当り
	支柱 $\phi 114.3 \times 4.5 \times 700$	本	8		"
	袖レール(塗装) C型	枚	4		"
	ブリカット(塗装)	個	4		"
	レール(塗装) C型	枚	8		"
	ボルト・ナット(メッキ) M20×145	本	4		"
	ボルト・ナット(メッキ) M16×35	本	40		"
	ベースプレート 250×250	枚	8		"
	アンカーボルト M22×230	本	32		"
	樹脂カフセル M22用 L=230	本	32		"
銘板工					
橋名板		枚	4	<b>4</b>	
構造物撤去工					
防護柵撤去工					
防護柵撤去 (ガードレール)		m	14.8	<b>15</b>	
	防護柵撤去工 (ガードレール撤去工)	m	14.8		14.8m当り
	スクラップ $\text{H}3$	t	0.22		"
高欄撤去		m	58.1	<b>58</b>	
	高欄撤去	m	58.1		58.1m当り
	スクラップ $\text{H}3$	t	1.74		"
	無収縮モルタル工	m <sup>3</sup>	0.11		"
仮設工					
足場工					
吊足場	種別:地覆補修用足場	m <sup>2</sup>	23.4	<b>23</b>	
交通管理工					
交通誘導警備員		式	1	<b>1</b>	
共通仮設					
共通仮設費					
技術管理費					
鉄筋探査	種別:下向	m <sup>2</sup>	1.82	<b>1.8</b>	高欄1.32m <sup>2</sup> +Gr補修0.5m <sup>2</sup>
現場環境改善費					
現場環境改善費(積上計上)	PR看板	式	1	<b>1</b>	

# 数量総括表【大森4号橋】

工種・種別・細別	規格	単位	数量	計上	摘要
橋梁保全工事					
舗装工					
橋面防水工					
橋面防水	防水工種類:防水保護層薄層表面処理	m <sup>2</sup>	15.4	15	
橋梁付属物工					
排水施設工					
水切り材設置		m	8.8	9	
	水切り材設置工	m	1.0	1.0m当り	
	橋梁用水切り材	m	1.0	"	
橋梁補修工					
断面修復工					
左官工法	修復延べ体積:0.411m <sup>3</sup> 材料:軽量ポリマーセメントモルタル,ケレン防錆処理:有	構造物	1	1	
目地補修工					
目地補修		m	6.3	6	
	シール材	m	6.3	6.3m当り	
	シール材(材料費)	L	1.3	"	
	パックアップ材	L	3.2	"	
構造物撤去工					
運搬処理工					
殻運搬	殻種別:コンクリート殻(無筋)	m <sup>3</sup>	0.41	0.4	
殻処分	殻種別:コンクリート殻(無筋)	m <sup>3</sup>	0.41	0.4	
仮設工					
交通管理工					
交通誘導警備員		式	1	1	
共通仮設					
共通仮設費					
技術管理費					
鉄筋探査	種別:上向	m <sup>2</sup>	0.53	0.5	水切り設置材取付
現場環境改善費					
現場環境改善費(積上計上)	PR看板	式	1	1	

# 【宝作橋】数量計算書

宝作橋 伸縮装置補修工

表 一 宝作橋 伸縮装置補修工 数量総括表

	種 別	単位	数 量			備考
			A1	A2	合計	
伸縮装置本体(車道)	伸縮量70mm	m	6.16	6.16	12.32	鋼製フィンガー形式、誘導板付き
端部立上げジョイント	伸縮量70mm	個	2	2	4	車道端部
裏込材	超速硬コンクリート	m <sup>3</sup>	0.489	0.489	0.978	
鉄筋	D16 SD345	kg	37	37	74	
異形差筋アンカー	D16 SD345	本	120	120	240	
はつり		m <sup>3</sup>	0.489	0.489	0.978	
シーリング材	シリコーン系シーリング材	リツ トル	2.10	2.10	4.20	
プライマー材	コンクリート用	kg	0.006	0.006	0.012	
バックアップ材		リツ トル	5.25	5.25	10.50	
二重止水材	Sタイプ 一般部用	個	2	2	4	クローザー
	Sタイプ 端部用	リ	2	2	4	クローザー
	バックアップ材	リツ トル	46	46	92	
ゴムホース	φ 18	m	8.0	8.0	16.0	
ゴムホース止め金具	20A SUS430	個	8	8	16	
スクラップ重量		kg			725.6	

## 宝作橋 伸縮装置補修工 数量計算

【施工箇所 : A1,A2(N=2箇所)】1箇所当たり数量

### 1. 伸縮装置本体 (車道)

・鋼製フィンガー形式 ( 伸縮量70mmタイプ )  $L = \underline{6.16 \text{ m}}$

2. 端部立上げショイント(車道) ( 伸縮量70mmタイプ )  $N = \underline{2 \text{ 個}}$

### 3. 裏込材

・車道  $V = (0.350 + 0.350) \times 0.110 \times 6.059 = 0.467 \text{ m}^3$

・地覆  $V = (0.120 + 0.120) \times 0.310 \times 0.150 \times 2 = 0.022 \text{ m}^3$

合計  $V = \underline{0.489 \text{ m}^3}$

### 4. 鉄筋

( D16, SD345 )  $W = \underline{37 \text{ kg}}$

### 5. 異形差筋アンカー

( D16 )  $N = \underline{120 \text{ 本}}$

### 6. はつり

・車道  $V = (0.350 + 0.350) \times 0.110 \times 6.059 = 0.467 \text{ m}^3$

・地覆  $V = (0.120 + 0.120) \times 0.310 \times 0.150 \times 2 = 0.022 \text{ m}^3$

合計  $V = \underline{0.489 \text{ m}^3}$

### 7. シーリング材 ( シリコーン系シーリング材 )

施工幅  $W = 0.150 \text{ m}$

施工延長  $L = (0.200 + 0.150) \times 2 \text{ 箇所} = \underline{0.700 \text{ m}}$

施工厚さ  $t = 0.02 \text{ m}$

$V = 0.150 \times 0.700 \times 0.02 \times 1000 = \underline{2.10 \text{ リットル}}$

### 8. プライマー材 ( コンクリート用 )

$W = 0.020 \times 0.700 \times 2 \text{ 面} \times 0.2 \text{ kg/m}^2 = \underline{0.006 \text{ kg}}$

### 9. バックアップ材

施工幅  $W = 0.150 \text{ m}$

施工延長  $L = (0.200 + 0.150) \times 2 \text{ 箇所} = \underline{0.700 \text{ m}}$

施工厚さ  $t = 0.05 \text{ m}$

$V = 0.150 \times 0.700 \times 0.05 \times 1000 = \underline{5.25 \text{ リットル}}$

10.二重止水材

( Sタイプ 一般部用 )  
( Sタイプ 端部排水用)

$$N = \frac{2}{2} \text{ 個}$$

・バックアップ材

$$V = 0.15 \times 6.16 \times 0.05 \times 1000 = 46 \text{ リットル}$$

11.ゴムホース ( φ 18 )

N = 4.0 m × 2 箇所

$$N = \frac{8.0}{8.0} \text{ m}$$

12.ゴムホース止め金具 ( 20A , SUS430 )

N = 4 個 × 2 箇所

$$N = \frac{8}{8} \text{ 個}$$

13.スクラップ重量 ( W = 58.9 kg/m :参考値)

W = 58.9 × 12.32

$$W = \frac{725.6}{725.6} \text{ kg}$$

# 橋面補修工數量集計表

## 橋面補修工

工種・規格	算 式	数 量
1)床版防水工		
(1)防水層	塗膜系 $A = 27.700 \times 6.000 = 166.20$	166.20 m <sup>2</sup>
(2)成形目地材	$t=5mm, w=70mm$ $A = 27.700 \times 2 + 6.000 \times 2 = 67.40$	67.40 m
(3)端部目地材処理	$t=5mm, w=140mm$ $A = 27.700 \times 2 + 6.000 \times 2 = 67.40$	67.40 m
(4)導水パイプ	φ 18mm $L = 27.700 \times 2 = 55.400$ $W = 55.400 \times 0.310 \text{ kg/m} = 17.174$	55.40 m 17.17 kg
(5)導水管	$N = 12$	= 12 組
(6)コア削孔	(50 φ) $N = 12$	= 12 箇所
(7)排水管	フレキシブルチューブ φ 20 $L = 2.5 \times 4 + 2.1 \times 8 = 26.80$	m
(8)支持金具	$N = 12$	= 12 個
(9)鉄筋探査	$A = 0.500 \times 0.500 \times 12 = 3.00$	m <sup>2</sup>

橋面補修工

工種・規格	算 式	数 量
(10)エポキシ樹脂	$(50 \phi)$ $A1 = \pi r^2 = \pi \times \left(\frac{0.050}{2}\right)^2 = 0.00196 \text{ m}^2$ $A2 = \pi r^2 = \pi \times \left(\frac{0.043}{2}\right)^2 = 0.00145 \text{ m}^2$ $A = 0.00196 - 0.00145 = 0.00051 \text{ m}^2$ $\ell = 0.230 \times 0.00051 \times 1000 \times 4 = 0.47 \ell$	
2)舗装工		
(1)既設舗装撤去工	防水層より $t=70 \sim 115 \text{mm}$ (平均厚92.5mm)	
	$A =$	166.20 $\text{m}^2$
(2)殻運搬	$V = 166.20 \times 0.0925 = 15.374$	15.37 $\text{m}^3$
	$W = 166.20 \times 0.0925 \times 2.30 = 35.36$ (普通コンクリートとして算出)	35.36 t
(3)舗装版新設	防水層より 表層アスファルト舗装 $t=40\text{mm}$	
	$A =$	166.20 $\text{m}^2$
	防水層より 基層アスファルト舗装 $t=30 \sim 75 \text{mm}$	
	$A =$	166.20 $\text{m}^2$
(4)区画線	車道外側線(実線) $W=15\text{cm}$	
	$L = 27.700 \times 2 =$	55.40 m

# 再塗裝工數量集計表

### 主桿 再塗裝面積

### 主桁G1~G3

### 橫桿 再塗裝面積

### 対傾構 再塗装面積

## 対傾構

### 下橫構 再塗裝面積

## 再塗裝面積(支承)

### 數量計算

支承防鏽工補修箇所

Fix

$$N = 3 = 3 \text{ 基}$$

Mov

$$N = 3 = 3 \text{ 基}$$

支承防鏽工

Fix

$$A = 0.41 \times 3 = 1.23 \text{ m}^2$$

Mov

$$A = 0.41 \times 3 = 1.23 \text{ m}^2$$

---

$$\text{計} \quad 2.46 \text{ m}^2$$

## 再塗装面積(落橋防止装置)

### 数量計算

(1.) 2-15×300塗装面積

$$S3 = 0.015 \times 0.300 \times 2 \times 2 \times 6 = 0.11 \text{ m}^2$$

(2) 1-25×570塗装面積

$$S3 = 0.025 \times 0.570 \times 2 \times 6 = 0.17 \text{ m}^2$$

(3) M36ボルト塗装面積

2021デザインデータブックより

18.7 (1000本/m<sup>2</sup>)

$$S3 = 14.1 \times 6 / 1000 \times 6 = 0.51 \text{ m}^2$$

(1.) 1-100×300塗装面積

$$S3 = 0.100 \times 0.300 \times 1 \times 6 = 0.18 \text{ m}^2$$

(2) 1-25×520塗装面積

$$S3 = 0.025 \times 0.520 \times 2 \times 6 = 0.16 \text{ m}^2$$

$$\Sigma S = \underline{\underline{1.13 \text{ m}^2}}$$

### 排水管 再塗裝面積

# 防護柵補修工數量集計表

## 防護柵補修工

工種・規格	算 式	数 量																																																																																																																																																																				
1)新設工																																																																																																																																																																						
(1)防護柵長(C種)	材料表より $L =$ = 57.94  <b>材料表</b> FMGn-C-F390 (種別 C) 塗装仕様 <table border="1"> <thead> <tr> <th>符号</th> <th>名 称</th> <th>寸 法</th> <th>材 質</th> <th>単位質量</th> <th>数 量</th> <th>質 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>支柱</td> <td>H900×196×125/210</td> <td>SS400</td> <td>16.10</td> <td>32</td> <td>515.2</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>主要横梁</td> <td>φ114.3×4.5t</td> <td>STK400</td> <td>12.20</td> <td>57.680 m</td> <td>703.7</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>下段横梁</td> <td>φ 76.3×2.8t</td> <td>"</td> <td>5.08</td> <td>115.360 m</td> <td>586.0</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>スリーブ</td> <td>φ101.6×4.5t×300</td> <td>"</td> <td>3.23</td> <td>28</td> <td>90.4</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>"</td> <td>φ 65.0×4.0t×300</td> <td>"</td> <td>1.80</td> <td>56</td> <td>100.8</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>取付ボルト</td> <td>M12×35 (W1, SW1)</td> <td>強度区分 6, 8 以上</td> <td>0.06</td> <td>248</td> <td>14.9</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>アンカーボルト</td> <td>全ねじ I-M20×315 (N1, W1, SW1)</td> <td>"</td> <td>0.74</td> <td>64</td> <td>47.4</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>"</td> <td>全ねじ I-M20×225 (N1, W1, SW1)</td> <td>強度区分 4, 6 以上</td> <td>0.56</td> <td>64</td> <td>35.8</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>キャップ</td> <td>φ114.3×30</td> <td>AC4C</td> <td>0.47</td> <td>4</td> <td>1.9</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>"</td> <td>φ 76.3×30</td> <td>"</td> <td>0.24</td> <td>8</td> <td>1.9</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>補強材</td> <td>φ101.6×5.7t×620</td> <td>STK400</td> <td>8.36</td> <td>4</td> <td>33.4</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>"</td> <td>φ 65.0×4.0t×620</td> <td>"</td> <td>3.73</td> <td>8</td> <td>29.8</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>固定ボルト</td> <td>M12×35 (W1)</td> <td>強度区分 6, 8 以上</td> <td>0.05</td> <td>48</td> <td>2.4</td> </tr> <tr> <td colspan="6" style="text-align: right;">合計</td><td>2163.6 kg</td></tr> <tr> <td colspan="6" style="text-align: center;">防護柵長 57.940 m</td><td></td></tr> <tr> <td colspan="6" style="text-align: center;">[ 使用支柱 : 0% 支柱 32 本 ]</td><td></td></tr> <tr> <td colspan="6" style="text-align: center;">エキストラ数量</td><td></td></tr> <tr> <td colspan="6" style="text-align: center;">・補強端末処理 : 4ヶ所</td><td></td></tr> <tr> <td colspan="6" style="text-align: center;">・橋名板取付金具 : 4 set (橋名板を除く)</td><td></td></tr> <tr> <td colspan="6" style="text-align: center;">特記) 橋梁用ビーム型防護柵は(一社)全国高欄協会にて認定された静荷重試験機により性能確認された製品とする。</td><td></td></tr> <tr> <td>2)撤去工</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>(1)撤去延長</td><td> <math>L = 28.970 \times 2</math> = 57.94</td><td>57.94 m</td></tr> <tr> <td>(2)撤去重量</td><td>           支柱 H900×196×125/210  <math>W = 16.100 \text{ kg/m} \times 30.000 = 483.00</math>            主要横梁 φ 114.3×4.5t  <math>W = 12.200 \text{ kg/m} \times 57.940 \times 1 = 706.87</math>            下段横梁 φ 76.3×2.8t  <math>W = 5.080 \text{ kg/m} \times 57.940 \times 2 = 588.67</math>    <math>\Sigma W = 1.78</math>            1.8 t         </td><td>483.0 kg 706.9 kg 588.7 kg</td></tr> <tr> <td>3)鉄筋探査</td><td><math>A = 0.196 \times 0.210 \times 32 =</math></td><td>1.32 m<sup>2</sup></td></tr> <tr> <td>4)橋名板取付</td><td><math>N =</math></td><td>4 枚</td></tr> <tr> <td>5)コンクリート削孔 φ 24</td><td><math>N = 64 + 64 =</math></td><td>128 孔</td></tr> </tbody> </table>	符号	名 称	寸 法	材 質	単位質量	数 量	質 量	1	支柱	H900×196×125/210	SS400	16.10	32	515.2	2	主要横梁	φ114.3×4.5t	STK400	12.20	57.680 m	703.7	3	下段横梁	φ 76.3×2.8t	"	5.08	115.360 m	586.0	4	スリーブ	φ101.6×4.5t×300	"	3.23	28	90.4	5	"	φ 65.0×4.0t×300	"	1.80	56	100.8	6	取付ボルト	M12×35 (W1, SW1)	強度区分 6, 8 以上	0.06	248	14.9	7	アンカーボルト	全ねじ I-M20×315 (N1, W1, SW1)	"	0.74	64	47.4	8	"	全ねじ I-M20×225 (N1, W1, SW1)	強度区分 4, 6 以上	0.56	64	35.8	9	キャップ	φ114.3×30	AC4C	0.47	4	1.9	10	"	φ 76.3×30	"	0.24	8	1.9	11	補強材	φ101.6×5.7t×620	STK400	8.36	4	33.4	12	"	φ 65.0×4.0t×620	"	3.73	8	29.8	13	固定ボルト	M12×35 (W1)	強度区分 6, 8 以上	0.05	48	2.4	合計						2163.6 kg	防護柵長 57.940 m							[ 使用支柱 : 0% 支柱 32 本 ]							エキストラ数量							・補強端末処理 : 4ヶ所							・橋名板取付金具 : 4 set (橋名板を除く)							特記) 橋梁用ビーム型防護柵は(一社)全国高欄協会にて認定された静荷重試験機により性能確認された製品とする。							2)撤去工			(1)撤去延長	$L = 28.970 \times 2$ = 57.94	57.94 m	(2)撤去重量	支柱 H900×196×125/210 $W = 16.100 \text{ kg/m} \times 30.000 = 483.00$ 主要横梁 φ 114.3×4.5t $W = 12.200 \text{ kg/m} \times 57.940 \times 1 = 706.87$ 下段横梁 φ 76.3×2.8t $W = 5.080 \text{ kg/m} \times 57.940 \times 2 = 588.67$  $\Sigma W = 1.78$ 1.8 t	483.0 kg 706.9 kg 588.7 kg	3)鉄筋探査	$A = 0.196 \times 0.210 \times 32 =$	1.32 m <sup>2</sup>	4)橋名板取付	$N =$	4 枚	5)コンクリート削孔 φ 24	$N = 64 + 64 =$	128 孔
符号	名 称	寸 法	材 質	単位質量	数 量	質 量																																																																																																																																																																
1	支柱	H900×196×125/210	SS400	16.10	32	515.2																																																																																																																																																																
2	主要横梁	φ114.3×4.5t	STK400	12.20	57.680 m	703.7																																																																																																																																																																
3	下段横梁	φ 76.3×2.8t	"	5.08	115.360 m	586.0																																																																																																																																																																
4	スリーブ	φ101.6×4.5t×300	"	3.23	28	90.4																																																																																																																																																																
5	"	φ 65.0×4.0t×300	"	1.80	56	100.8																																																																																																																																																																
6	取付ボルト	M12×35 (W1, SW1)	強度区分 6, 8 以上	0.06	248	14.9																																																																																																																																																																
7	アンカーボルト	全ねじ I-M20×315 (N1, W1, SW1)	"	0.74	64	47.4																																																																																																																																																																
8	"	全ねじ I-M20×225 (N1, W1, SW1)	強度区分 4, 6 以上	0.56	64	35.8																																																																																																																																																																
9	キャップ	φ114.3×30	AC4C	0.47	4	1.9																																																																																																																																																																
10	"	φ 76.3×30	"	0.24	8	1.9																																																																																																																																																																
11	補強材	φ101.6×5.7t×620	STK400	8.36	4	33.4																																																																																																																																																																
12	"	φ 65.0×4.0t×620	"	3.73	8	29.8																																																																																																																																																																
13	固定ボルト	M12×35 (W1)	強度区分 6, 8 以上	0.05	48	2.4																																																																																																																																																																
合計						2163.6 kg																																																																																																																																																																
防護柵長 57.940 m																																																																																																																																																																						
[ 使用支柱 : 0% 支柱 32 本 ]																																																																																																																																																																						
エキストラ数量																																																																																																																																																																						
・補強端末処理 : 4ヶ所																																																																																																																																																																						
・橋名板取付金具 : 4 set (橋名板を除く)																																																																																																																																																																						
特記) 橋梁用ビーム型防護柵は(一社)全国高欄協会にて認定された静荷重試験機により性能確認された製品とする。																																																																																																																																																																						
2)撤去工																																																																																																																																																																						
(1)撤去延長	$L = 28.970 \times 2$ = 57.94	57.94 m																																																																																																																																																																				
(2)撤去重量	支柱 H900×196×125/210 $W = 16.100 \text{ kg/m} \times 30.000 = 483.00$ 主要横梁 φ 114.3×4.5t $W = 12.200 \text{ kg/m} \times 57.940 \times 1 = 706.87$ 下段横梁 φ 76.3×2.8t $W = 5.080 \text{ kg/m} \times 57.940 \times 2 = 588.67$  $\Sigma W = 1.78$ 1.8 t	483.0 kg 706.9 kg 588.7 kg																																																																																																																																																																				
3)鉄筋探査	$A = 0.196 \times 0.210 \times 32 =$	1.32 m <sup>2</sup>																																																																																																																																																																				
4)橋名板取付	$N =$	4 枚																																																																																																																																																																				
5)コンクリート削孔 φ 24	$N = 64 + 64 =$	128 孔																																																																																																																																																																				

# 仮 設 工 数 量 集 表

## 仮設工

吊足場(TYPE-A+B)

$$A = 25.600 \times 7.200 = 184.3 \text{ m}^2$$

吊足場(TYPE-E)

$$A = 0.800 \times 25.600 \times 2 = 41.0 \text{ m}^2$$

簡易型セキュリティールームW1500×L4500×H2000mm

$$N = 1 = 1 \text{ 基}$$

プラスチック用養生シート

$$A = 25.600 \times 7.200 = 184.3 \text{ m}^2$$

# 【花島橋】数量計算書

## § 5. 防護柵取替え工

### § 5-1. 数量集計表

項目	仕 様	単位	数 量	備 考
撤去工	防護柵	m	58.1	
	防護柵撤去重量	kg	1744	
	ガードレール 撤去重量	支柱	kg	83
		袖ビーム	kg	26
		ビーム	kg	110
		合 計	kg	219
	ガス切断長	m	18.9	
	支柱跡充填量	m <sup>3</sup>	0.11	無収縮モルタル
設置工	防護柵	設置延長	m	58.1 種別 : C種
		コンクリート削孔	孔	136 $\phi 24$
		樹脂カフセル	本	68 M20用 L=160
		樹脂カフセル	本	68 M20用 L=250
	ガードレール	設置延長	m	14.8 種別 : C種
		支柱	本	8
		袖ビーム	枚	4
		ブラケット	個	4
		ビーム	枚	8
		取付ボルト	M20×145	本 4 亜鉛メッキ品
			M16×35	本 40 亜鉛メッキ品
		ベースプレート	個	8 PL-16×250×250
		アンカーボルト	本	32 M22×230 (1W、1N、SD345、D22) 溶融メッキ仕様
		コンクリートアンカー削孔	ヶ所	32 26 $\phi$ ×230
		樹脂アンカー	本	32 ケミカルアンカーR-22SN
	鉄筋探査	下向	m <sup>2</sup>	1.817

## § 5-2. 数量明細

### 1. 撤去工

#### (1). 防護柵

$$L = 29.060 \times 2 = 58.120 \text{ m}$$

#### (2). 防護柵撤去重量

$$W = 30 \text{ kg/m} \times 58.120 \text{ m} = 1744 \text{ kg}$$

#### (3). ガードレール部分撤去

##### i) 撤去重量

・支柱  $(\phi 114.3 \times 4.5 \times 700)$  12.2kg/m(デザインデータブックより)

$$N = 2 \times 4 = 8 \text{ 本}$$

$$W = 12.2 \times 0.85 \times 8 = 83 \text{ kg}$$

・袖ビーム  $(2.3 \times 356 \times 661)$  1個(L=661)当たり6.6kg

$$W = 6.6 \times 4 = 26 \text{ kg}$$

・ビーム  $(2.3 \times 350 \times 4330)$  1個(L=4330)当たり32.9kg

$$W = 32.9 \times (16000 - 661 \times 4) / 4000 = 110 \text{ kg}$$

$$\text{計} = 219 \text{ kg}$$

##### ii) ガス切断長

$$L1 = (0.100 \times 4) \times 32 = 12.800 \text{ m}$$

$$L2 = (0.114 \times \pi \times 2 + 0.020 \times 2) \times 8 = 6.050 \text{ m}$$

$$\text{計} = 18.850 \text{ m}$$

##### iii) 支柱跡充填量(無収縮モルタル充填)

$$W1 = 0.100^2 \times 0.100 \times 32 = 0.101 \text{ m}^3$$

$$W2 = (\pi \times 0.0572^2 \times 0.100) \times 8 = 0.008 \text{ m}^3$$

$$\text{計} = 0.109 \text{ m}^3$$

## 2. 設置工

### (1). 防護柵 (種別 : C種)

L = 29.060 × 2	= 58.120 m
・コンクリート削孔 $\phi 24$	
N = 68 × 2	= 136 孔
・樹脂カフセル M20用 L=160	
N =	= 68 孔
・樹脂カフセル M20用 L=250	
N =	= 68 孔

### (2). ガードレール (種別 : C種)

#### ・設置延長

L = 3.700 × 4	= 14.800 m
---------------	------------

#### ・支柱 ( $\phi 114.3 \times 4.5 \times 700$ )

N = 2 × 4	= 8 本
-----------	-------

#### ・袖ビーム (2.3 × 356 × 661)

N = 1 × 4	= 4 枚
-----------	-------

#### ・ブラケット

N = 1 × 4	= 4 個
-----------	-------

#### ・ビーム (2.3 × 350 × 50 × 2320)

N = 2 × 4	= 8 枚
-----------	-------

#### ・取付ボルト (M20 × 145、亜鉛メッキ品)

N = 1 × 4	= 4 本
-----------	-------

#### ・取付ボルト (M16 × 35、亜鉛メッキ品)

N = (4 + 6) × 4	= 40 本
-----------------	--------

#### ・ベースプレート (PL-16 × 250 × 250)

N = 2 × 4	= 8 個
-----------	-------

#### ・アンカーボルト ((M22 × 230 (1W、1N、SD345、D22) 溶融メッキ仕様)

N = 4 × 8	= 32 本
-----------	--------

#### ・コンクリートアンカーボルト

削孔径 (D1)	= 26 mm
アンカーボルト (D2)	= 22 mm
削孔深さ (L1)	= 230 mm
アンカーボルト埋め込み深さ (L2)	= 230 mm

#### 削孔工 26 $\phi$ × 230

N = 4 × 8	= 32 ヶ所
-----------	---------

#### ・樹脂アンカーボルト (ケミカルアンカーボルト R-22SN)

N = 4 × 8	= 32 本
-----------	--------

### (3). 鉄筋探査(下向)

#### ・防護柵ベースプレート □196 × 210 32本

A1 = 0.196 × 0.210 × 32	= 1.317 m <sup>2</sup>
-------------------------	------------------------

#### ・Grベースプレート □250 × 250 8本

A2 = 0.250 × 0.250 × 8	= 0.500 m <sup>2</sup>
------------------------	------------------------

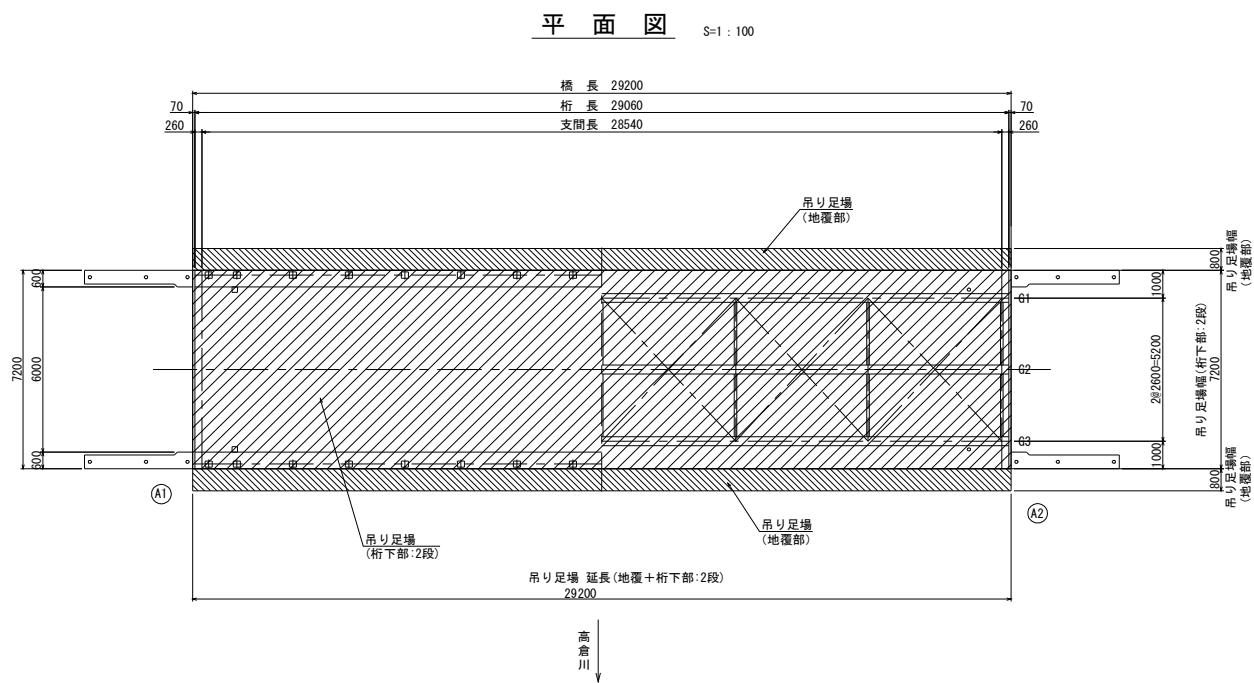
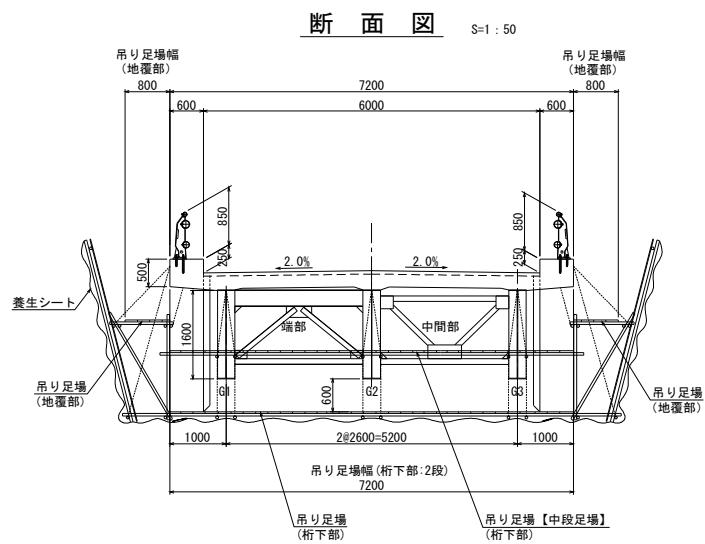
$$\text{合計 } \Sigma A = A1 + A2 = 1.817 \text{ m}^2$$

§ 9. 仮設工

§ 9-1. 数量集計表

項 目	仕 様		単位	数 量	備 考
足場工	吊り足場	上部工用	$m^2$	23	

## § 9-2. 数量明細



## 1. 足場工

## 1). 吊り足場

## ①. 上部工用

$$\begin{array}{rcl} A1 & = & 0.800 \times 29.200 \\ \hline A2 & = & 7.200 \times 29.200 \end{array} \quad \begin{array}{rcl} & = & 23.360 \text{ m}^2 \\ & = & 210.240 \text{ m}^2 \end{array}$$

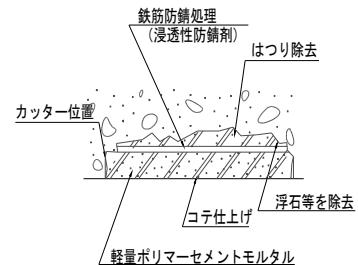
# 【大森4号橋】数量計算書

# 上部工補修工數量集計表

## 断面修復工

はつり深さ  
 主鉄筋 鉄筋D16 @150 7本/m  
 帯鉄筋 鉄筋D13 @150 7本/m  
 (仮定値)  
 鉄筋防鏽剤塗布量(参考値) 0.14

50mm  
 0.35m<sup>2</sup>/m<sup>2</sup> (0.016×3.14×7)  
 0.29m<sup>2</sup>/m<sup>2</sup> (0.013×3.14×7)  
 0.64m<sup>2</sup>/m<sup>2</sup> 1m<sup>2</sup>当り鉄筋面積  
 0.14kg/m<sup>2</sup>  
 0.09kg/m<sup>2</sup> 1m<sup>2</sup>当り塗布量



部材番号	番号	延長1 (m)	延長2 (m)	箇所数	はつり 深さ (m)	はつり 体積 (m3)	カッター工 (m)	鉄筋 防鏽処理 (kg)	断面修復 面積 (m2)	断面修復 体積 (m3)
主桁	1	0.85	3.85	1	0.050	0.164	9.400	0.295	3.273	0.164
	2	0.40	0.30	1	0.050	0.006	1.400	0.011	0.120	0.006
	3	0.40	0.30	1	0.050	0.006	1.400	0.011	0.120	0.006
	4	0.40	0.30	1	0.050	0.006	1.400	0.011	0.120	0.006
	5	0.40	0.20	1	0.050	0.004	1.200	0.007	0.080	0.004
	6	0.55	1.35	1	0.050	0.037	3.800	0.067	0.743	0.037
	7	0.85	1.40	1	0.050	0.060	4.500	0.107	1.190	0.060
	8	0.30	1.60	1	0.050	0.024	3.800	0.043	0.480	0.024
地覆	9	0.30	0.20	1	0.050	0.003	1.000	0.005	0.060	0.003
	10	0.35	0.35	1	0.050	0.006	1.400	0.011	0.123	0.006
	11	0.30	0.20	1	0.050	0.003	1.000	0.005	0.060	0.003
	12	0.30	0.30	1	0.050	0.005	1.200	0.008	0.090	0.005
舗装	13	0.85	2.05	1	0.050	0.087	5.800	0.157	1.743	0.087
計						0.411	37.300	0.738	8.202	0.411

# 水切り設置工数量集計表

## 水切り設置工

工種・規格	算式	数量
1)水切り設置工		
(1)水切り板	L60×50×5×1380～1500(FRP) L = 1.500 × 4 + 1.380 × 2 = 8.76	8.8 m
(2)アンカーボルト	M8×100(ステンレス) N = 3 × 6 = 18 本	
(3)鉄筋探査 (上向)	A = 4.38 × 0.06 × 2 = 0.53 m <sup>2</sup>	

# 橋面防水工数量集計表

橋面補修工

工種・規格	算 式	数 量
1)橋面防水工		
(1)浸透防水型プライマー		
①プライマー	A = 4.980 × 3.100 = 15.44	15.44 m <sup>2</sup>
②珪砂	A = 4.980 × 3.100 = 15.44	15.44 m <sup>2</sup>
(2)防水保護層薄層表面処理	A = 4.980 × 3.100 = 15.44	15.44 m <sup>2</sup>

# 目地補修工數量集計表

## 目地補修工

工種・規格	算 式	数 量
1)目地補修工		
(1)プライマー	$S = 0.010 \times 3.148 \times 2$	= 0.1 m <sup>2</sup>
(2)シール材	$V = 0.020 \times 0.010 \times 3.148 \times 2$	= 0.00126 m <sup>3</sup> 1.3 L
(3)バックアップ材	$V = 0.050 \times 0.010 \times 3.148 \times 2$	= 0.00315 m <sup>3</sup> 3.2 L
(4)既設目地撤去	$L = 3.148 \times 2$	= 6.3 m

令和7年度

宝作橋外2橋橋梁補修工事

設 計 図 面

[ 実 施 ]

角 田 市

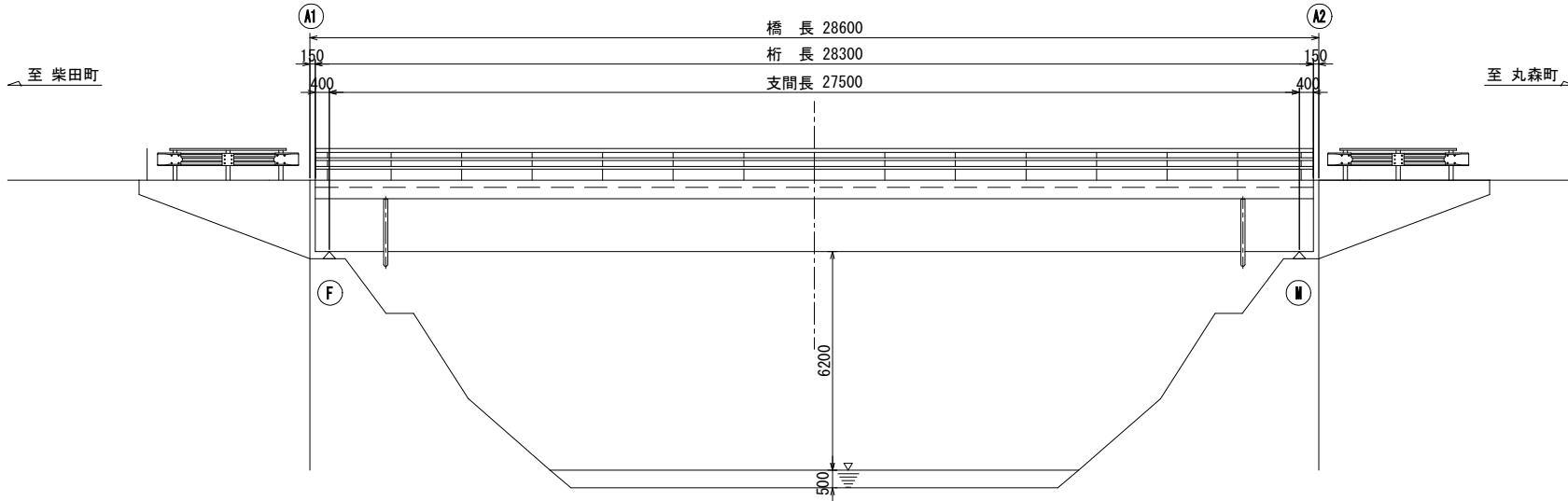
令和7年度 宝作橋外2橋橋梁補修工事 [実施]

図面目録

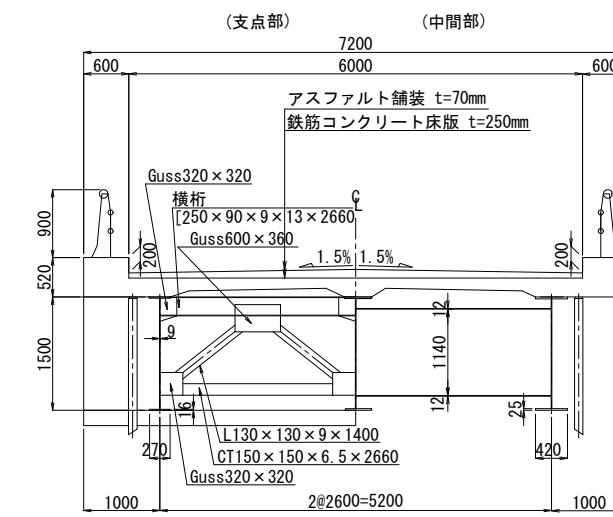
図面番号	図面名	葉数
【宝作橋】		
1	宝作橋 現況一般図	1
2	宝作橋 補修対策工一般図	1
3	宝作橋 伸縮装置補修図【参考図】	1
4	宝作橋 床版防水・再舗装工図	1
5 ~ 7	宝作橋 鋼部材再塗装工図 (その1) ~ (その3)	3
8	宝作橋 防護柵詳細図【参考図】	1
9	宝作橋 施工計画図【参考図】	1
10	宝作橋 交通規制図【参考図】	1
【花島橋】		
11	花島橋 復元一般図	1
12	花島橋 補修一般図	1
13 ~ 14	花島橋 防護柵取替え工図【参考図】 (その1) ~ (その2)	2
15	花島橋 足場工図【参考図】	1
16	花島橋 交通規制図【参考図】	1
【大森4号橋】		
17	大森4号橋 現況一般図	1
18	大森4号橋 補修対策工一般図	1
19	大森4号橋 上部工補修工図	1
20	大森4号橋 水切り設置工図	1
21	大森4号橋 橋面防水工図	1
22	大森4号橋 目地補修工図	1
23	大森4号橋 交通規制図【参考図】	1

# 宝作橋 現況一般図

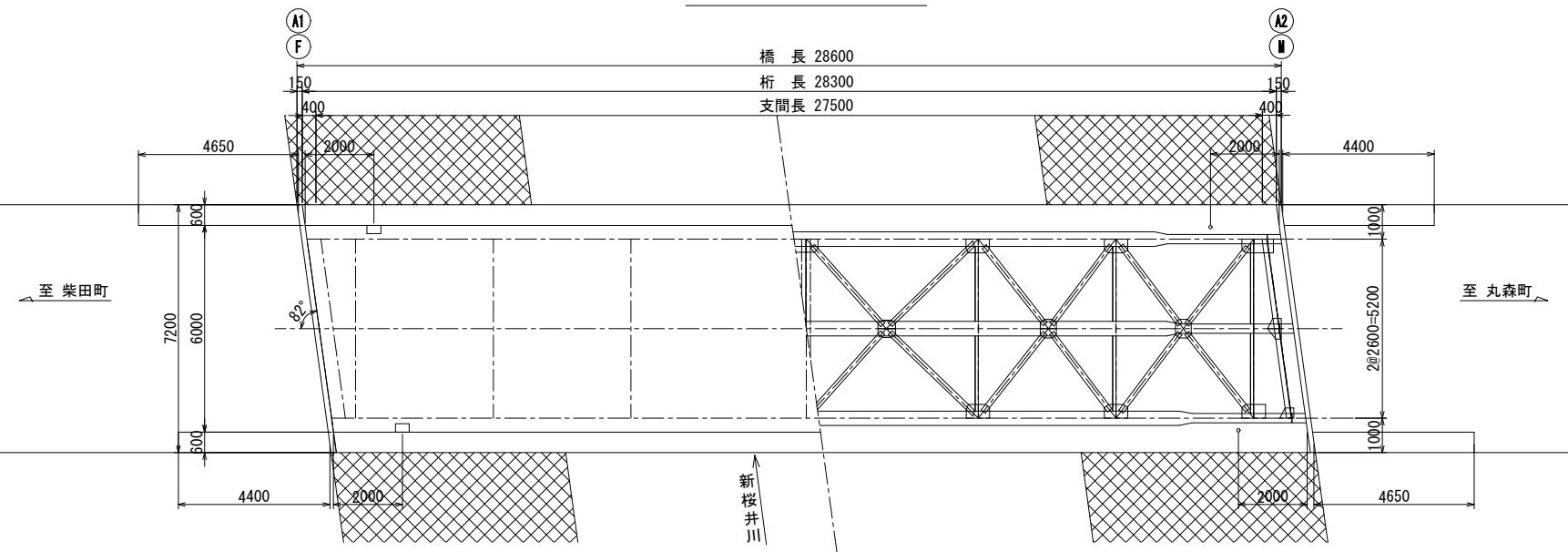
側面図 S=1:100



断面図 S=1:50



平面図 S=1:100



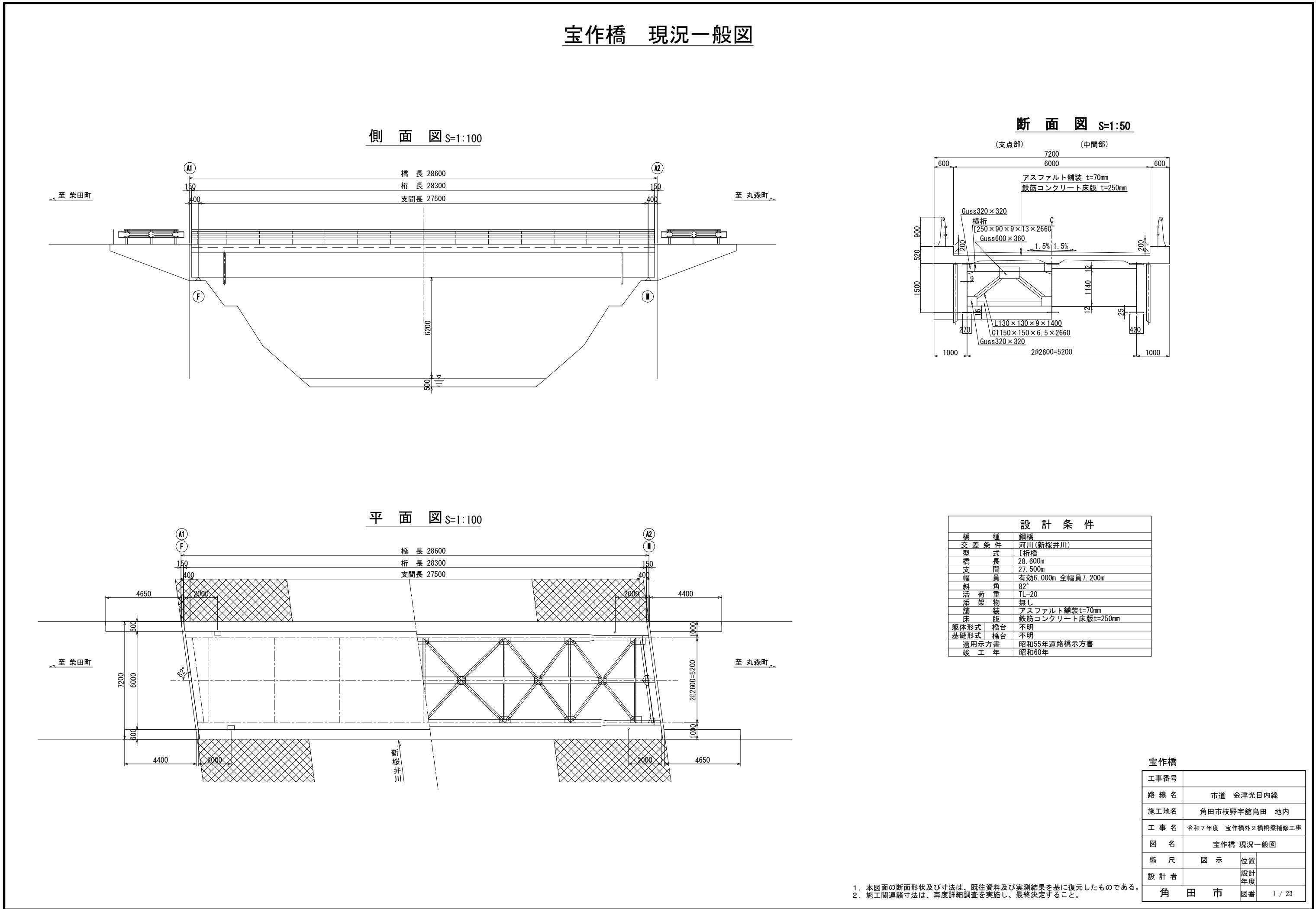
設計条件

橋種	鋼橋
交差条件	河川（新桜井川）
型式	I桁橋
橋長	28.600m
支間	27.500m
幅員	有効6.000m 全幅員7.200m
斜角	82°
活荷重	TL-20
添架物	無し
舗装版	アスファルト舗装 t=70mm 鉄筋コンクリート床版 t=250mm
躯体形式	橋台
基礎形式	橋台
適用示方書	昭和55年道路橋示方書
竣工年	昭和60年

宝作橋

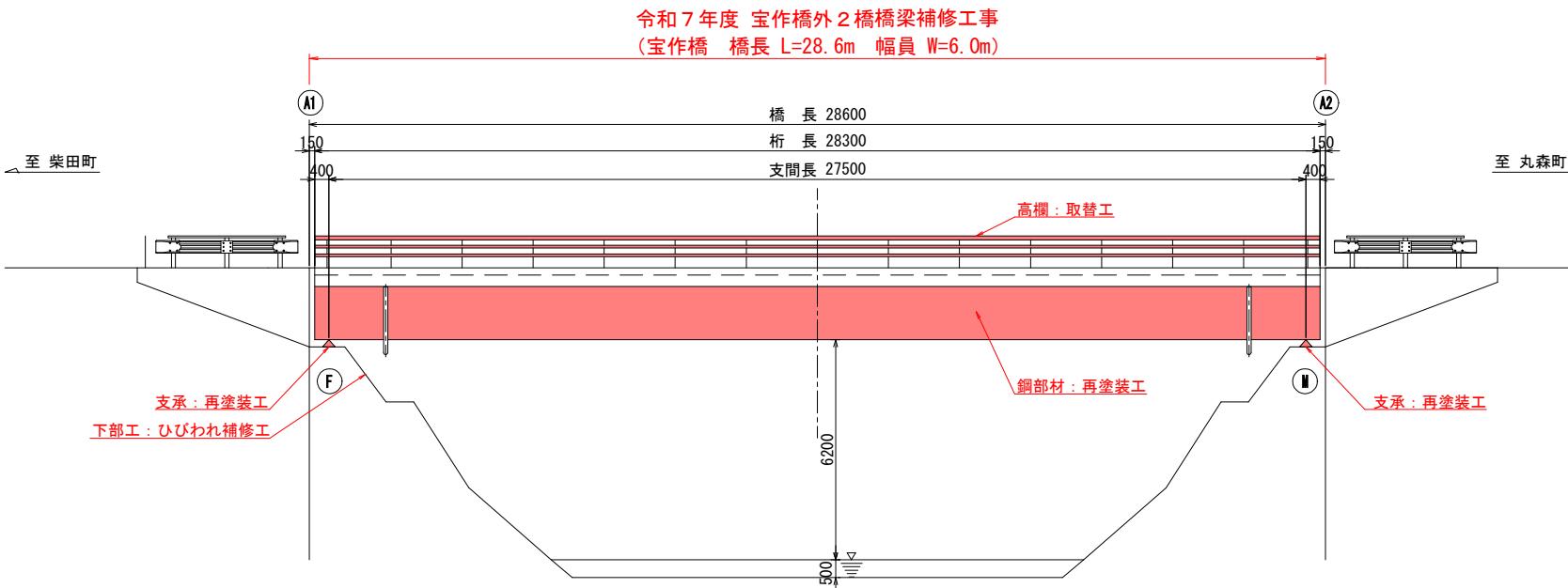
工事番号		
路線名	市道 金津光目内線	
施工地名	角田市枝野字館島田 地内	
工事名	令和7年度 宝作橋外2橋橋梁補修工事	
図名	宝作橋 現況一般図	
縮尺	図示	位置
設計者	設計年度 角田市	
図番	1 / 23	

1. 本図面の断面形状及び寸法は、既往資料及び実測結果を基に復元したものである。  
2. 施工関連諸寸法は、再度詳細調査を実施し、最終決定すること。

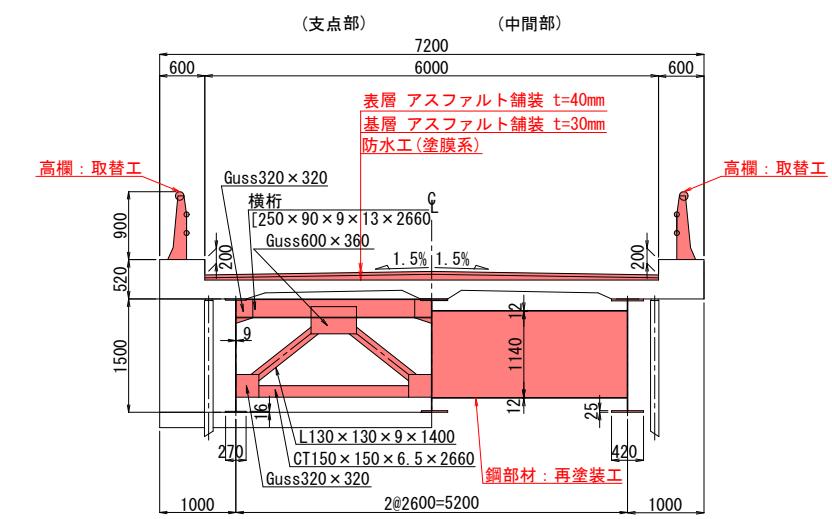


# 宝作橋 補修対策工一般図

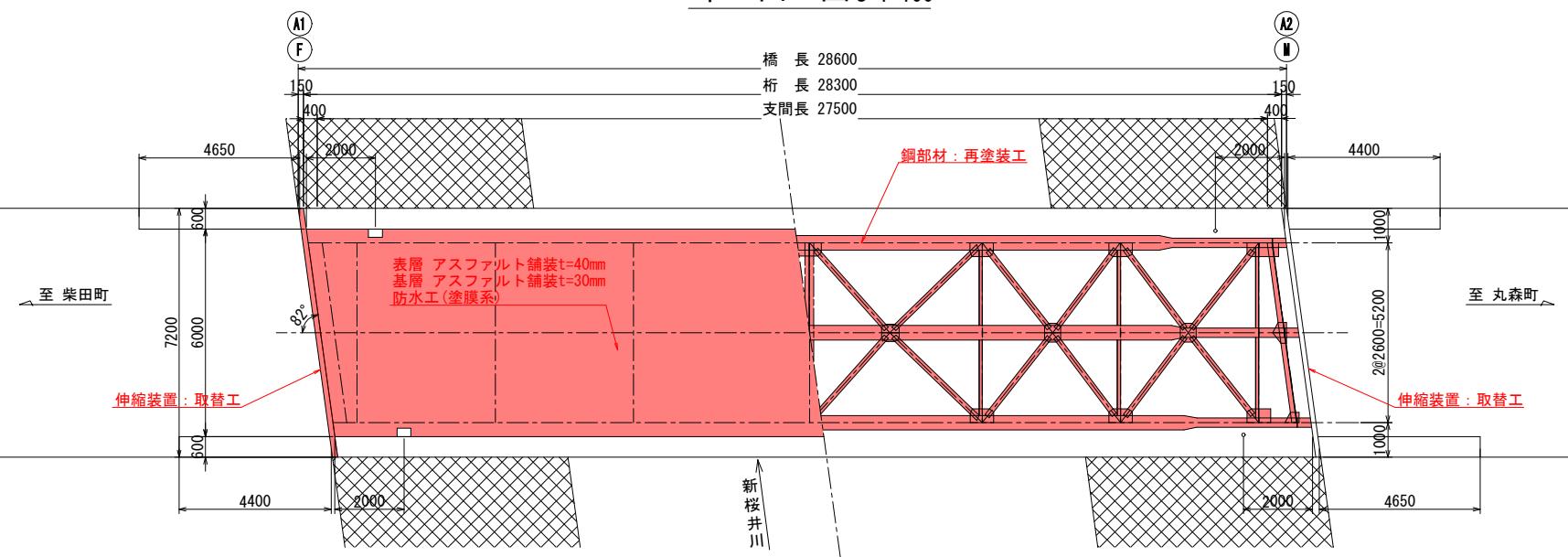
側面図 S=1:100



断面図 S=1:50



平面図 S=1:100



補修・補強項目一覧表

工種	部位	備考
鋼部材塗装工	主桁・横桁・支承	
下部工補修工	A1橋台	
橋面防水・再舗装工	橋面	
伸縮装置取替工	伸縮装置	
高欄取替工	高欄	

宝作橋

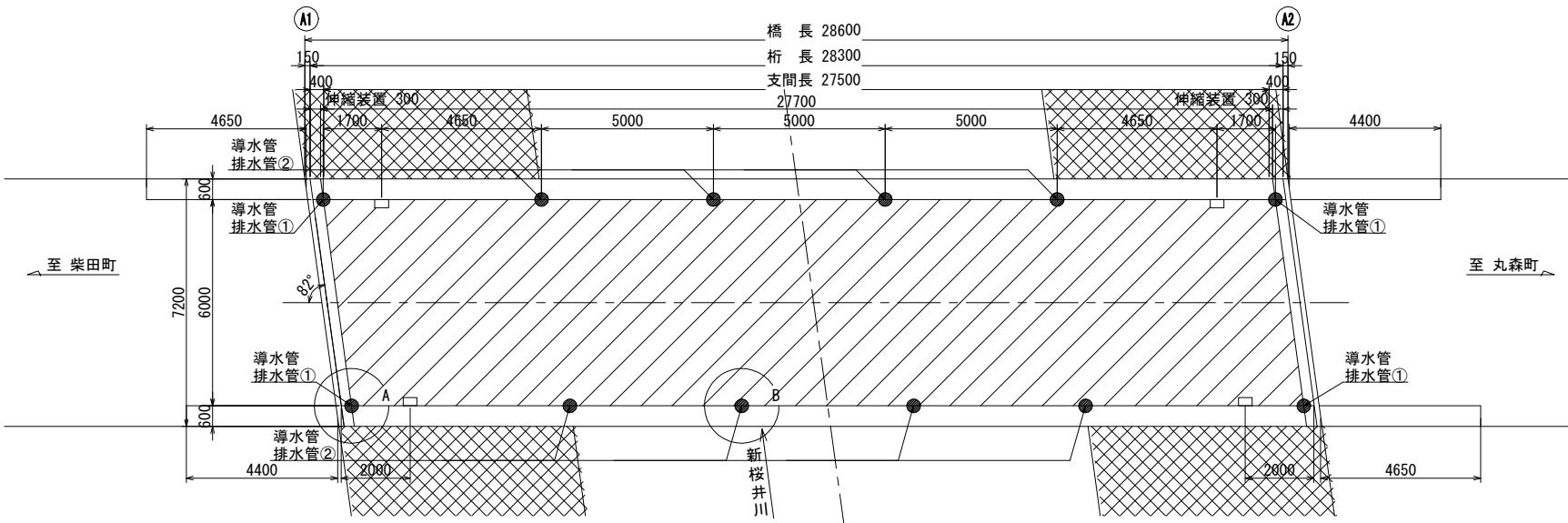
工事番号		
路線名	市道 金津光目内線	
施工地名	角田市枝野字館島田 地内	
工事名	令和7年度 宝作橋外2橋橋梁補修工事	
図名	宝作橋 補修対策工一般図	
縮尺	図示	位置
設計者	設計 年度	
角田市	図番	2 / 23

1. 本図面の断面形状及び寸法は、既往資料及び実測結果を基に復元したものである。  
2. 施工関連諸寸法は、再度詳細調査を実施し、最終決定すること。

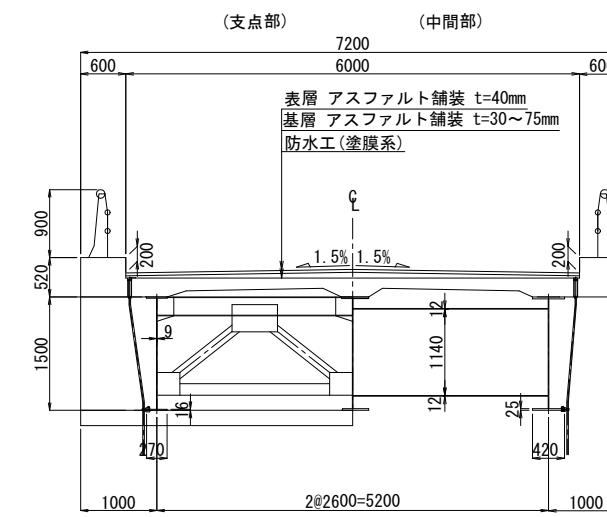


# 宝作橋 床版防水・再舗装工図

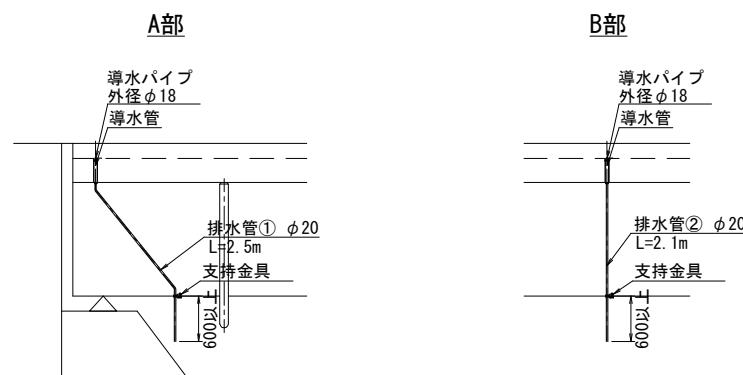
平面図 S=1:100



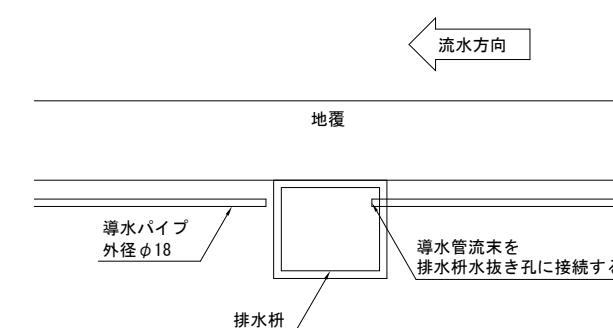
断面図 S=1:50



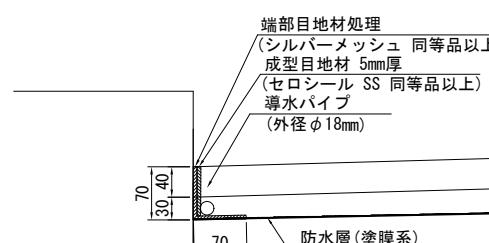
排水管詳細図 S=1:50



排水枠部流末処理詳細図 S=1:10



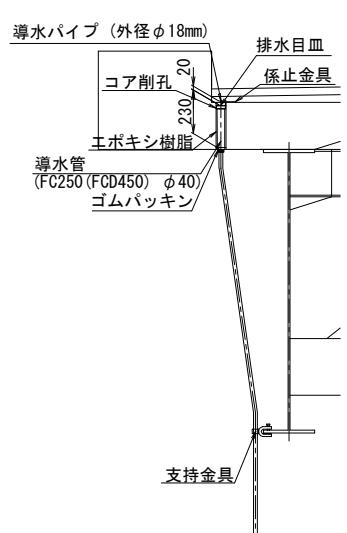
防水層詳細図 S=1:5



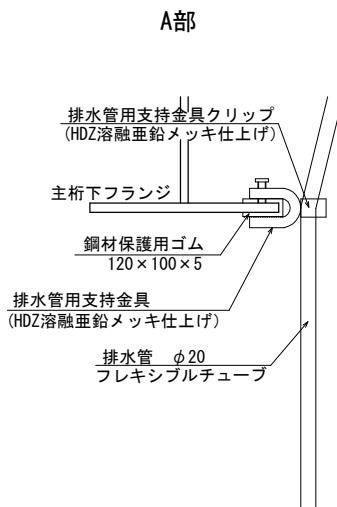
床版防水工数量表

項目	単位	数量	摘要
防水層 塗膜系	m <sup>2</sup>	166.2	
導水管	組	12	
導水管	m	55.4	
成型目地材	m	67.4	
端部目地材	m	67.4	
排水管	m	26.8	
支持金具	箇所	12	
コア削孔	φ50mm	12	
鉄筋探査	m <sup>2</sup>	3.0	
エポキシ樹脂	L	0.5	

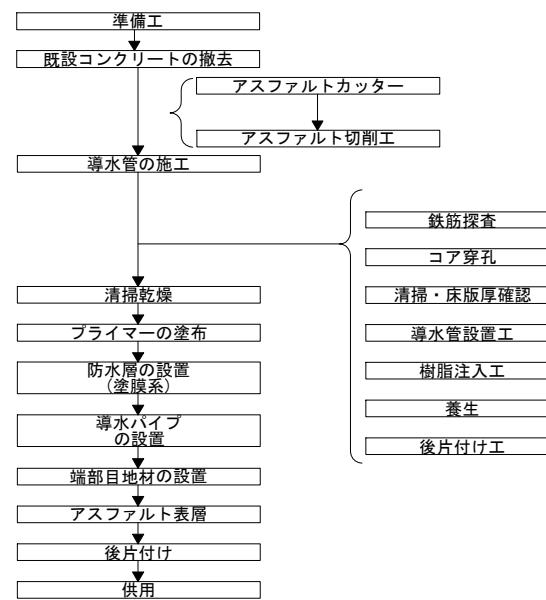
導水管詳細図 S=1:20



排水管用固定金具詳細図 S=1:5



施工順序



舗装工数量表

項目	単位	数量	摘要
舗装版撤去	m <sup>2</sup>	166.2	アスファルト
産廃運搬工	t	35.4	
産廃処理工	m <sup>3</sup>	15.4	
舗装版新設	m <sup>2</sup>	166.2	密粒度As混合物(13T)改質II型
基層工	m <sup>2</sup>	166.2	密粒度As混合物(13FW)改質II型

宝作橋

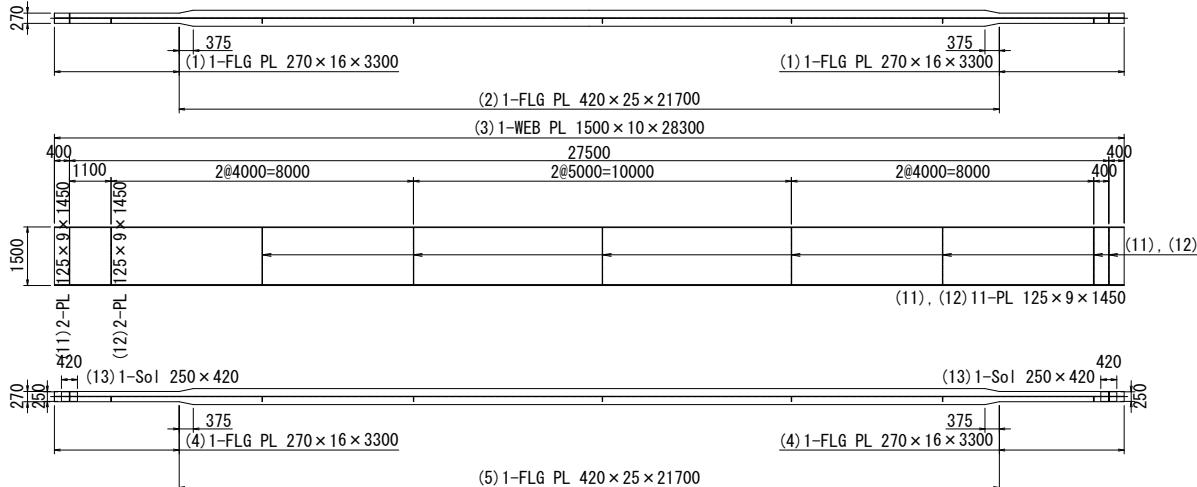
工事番号		
路線名	市道 金津光目内線	
施工地名	角田市枝野字館島田 地内	
工事名	令和7年度 宝作橋外2橋橋梁補修工事	
図名	宝作橋 床版防水・再舗装工図	
縮尺	図示	位置
設計者	設計年度	
角田市	図番	

1. 本図面の断面形状及び寸法は、既往資料及び実測結果を基に復元したものである。  
2. 施工関連諸寸法は、再度詳細調査を実施し、最終決定すること。

# 宝作橋 鋼部材再塗装工図(その1)

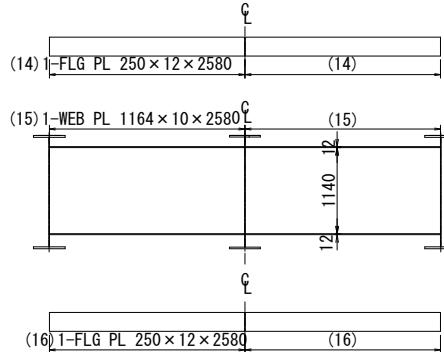
主桁詳細図 S=1:100

G1桁

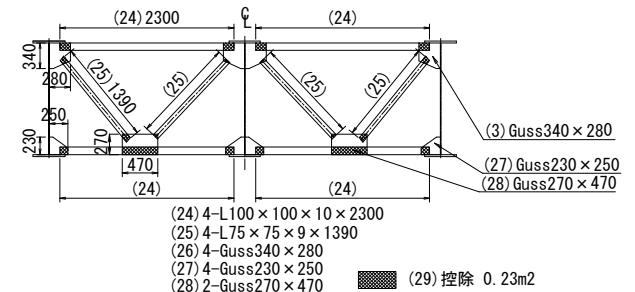


横桁詳細図 S=1:50

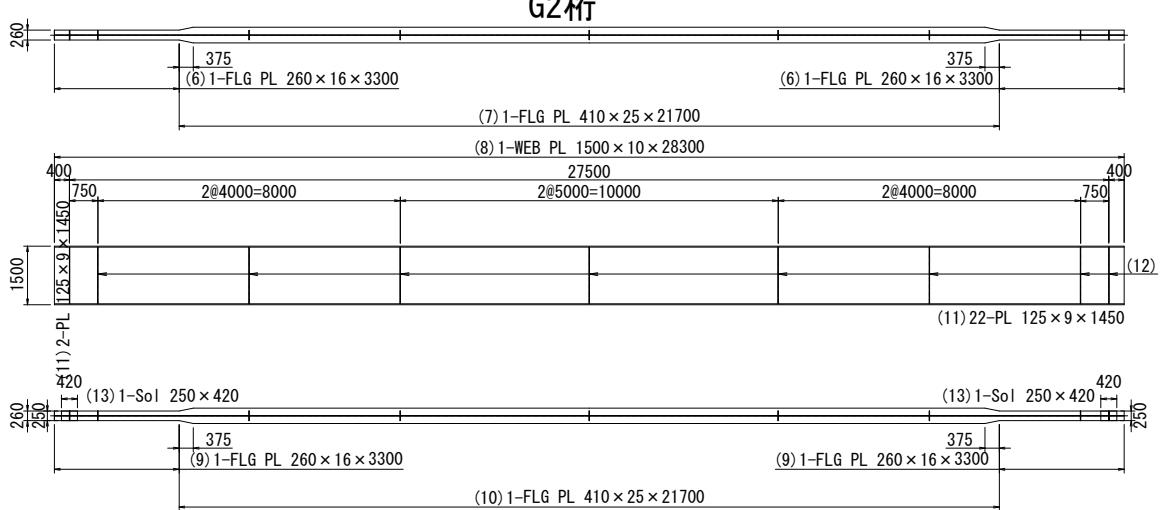
中間部(1箇所)



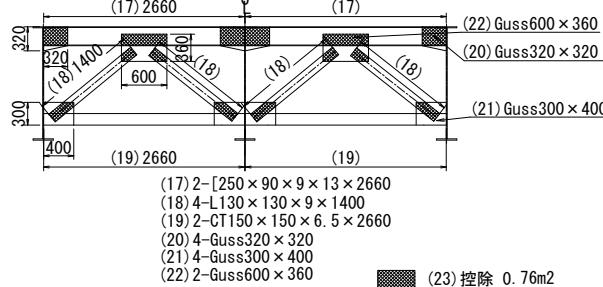
対傾構詳細図 S=1:50  
(6箇所)



G2桁



端部(2箇所)



塗替塗装イメージ

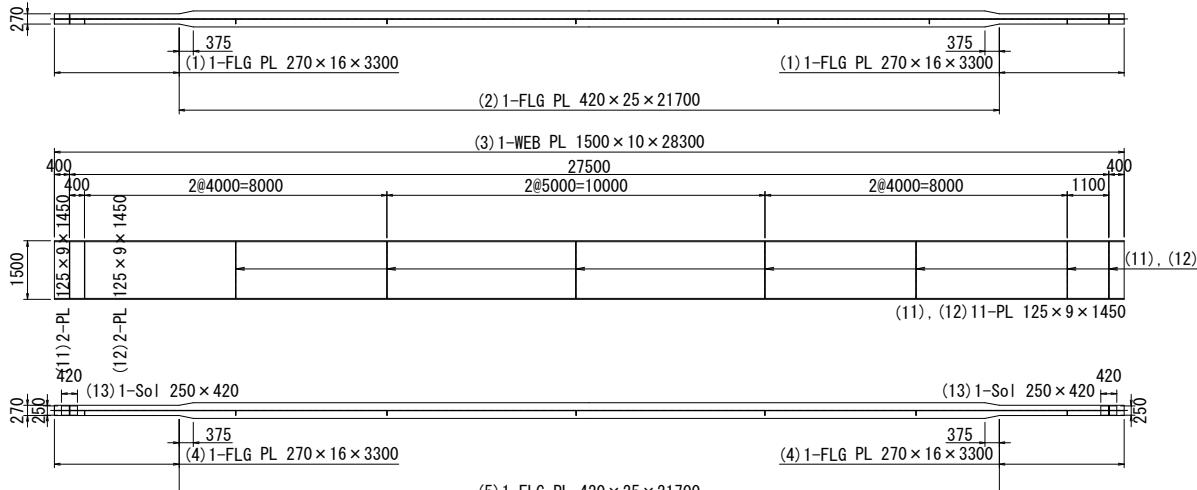
長期耐候性鉄転換型防食塗装システム Deck 同等品以上



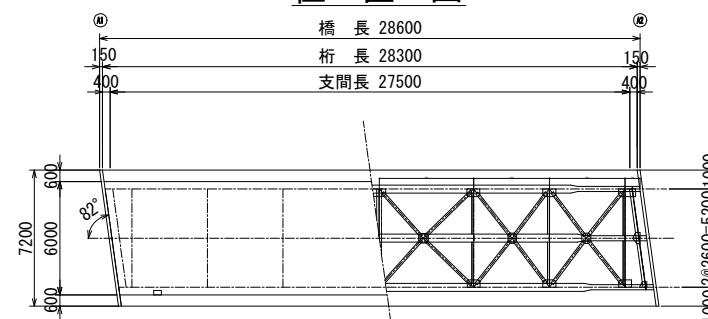
※付着塗膜測定を行い、50mg/m<sup>2</sup>以下であることを確認すること。

※下塗りおよび上塗りの使用量は、刷毛・ローラー施工の場合を示す。

G3桁



位置図



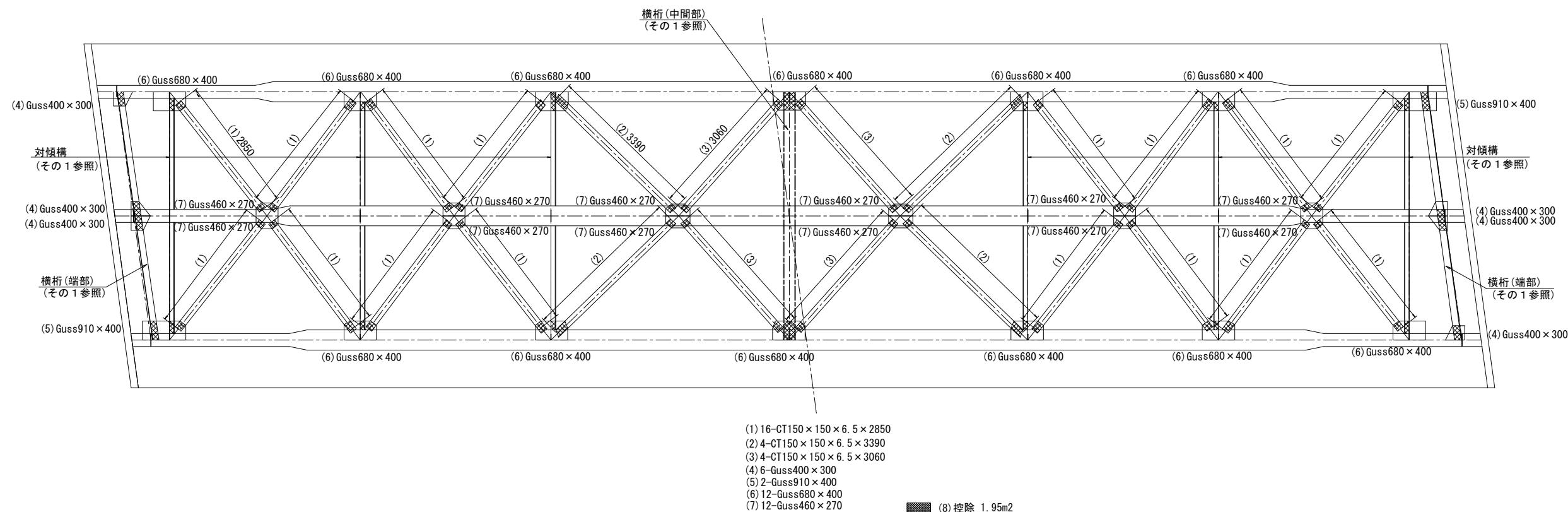
宝作橋

工事番号		
路線名	市道 金津光目内線	
施工地名	角田市枝野字館島田 地内	
工事名	令和7年度 宝作橋外2橋橋梁補修工事	
図名	宝作橋 鋼部材再塗装工図(その1)	
縮尺	図示	位置
設計者	設計 年度 角田市 図番	

1. 本図面の断面形状及び寸法は、既往資料及び実測結果を基に復元したものである。  
 2. 施工関連諸寸法は、再度詳細調査を実施し、最終決定すること。

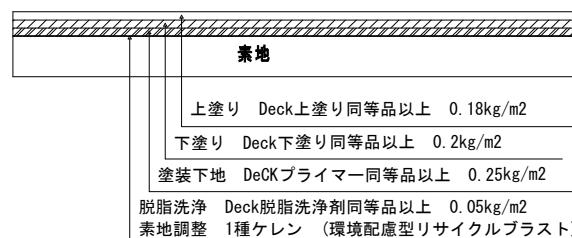
## 宝作橋 鋼部材再塗装工図(その2)

## 下横構詳細図 S=1:50



### 塗替塗装イメージ

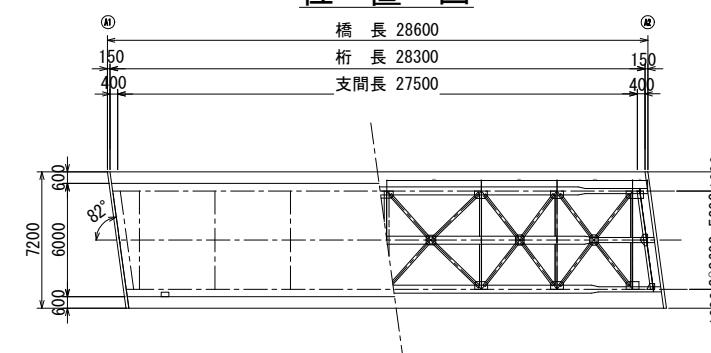
長期耐候性鑄転換型防食塗装システム Deck 同等品以上



※付着塩分測定を行い、50mg/m<sup>2</sup>以下であることを確認すること

※下塗りおよび上塗りの使用量は、刷毛・ローラー施工の場合を示す

### 位 置 図



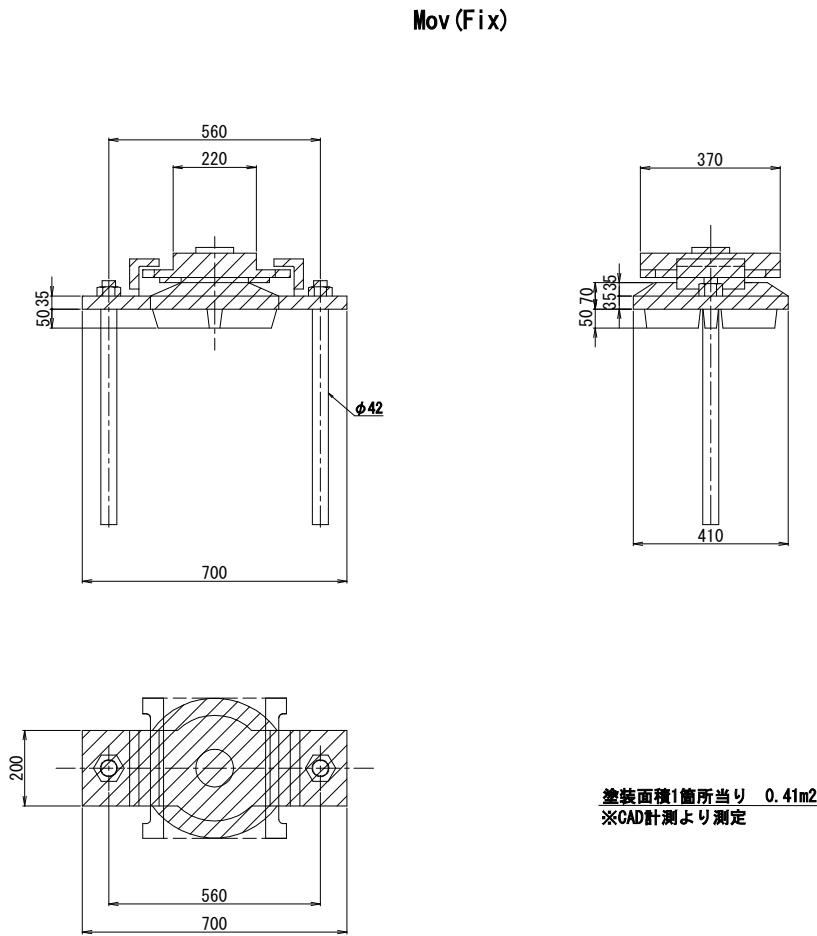
宝作橋

工事番号			
路線名	市道 金津光目内線		
施工地名	角田市枝野字館島田 地内		
工事名	令和7年度 宝作橋外2橋梁梁補修工事		
図名	宝作橋 鋼部材再塗装工図(その2)		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
角田市	図番	6 / 23	

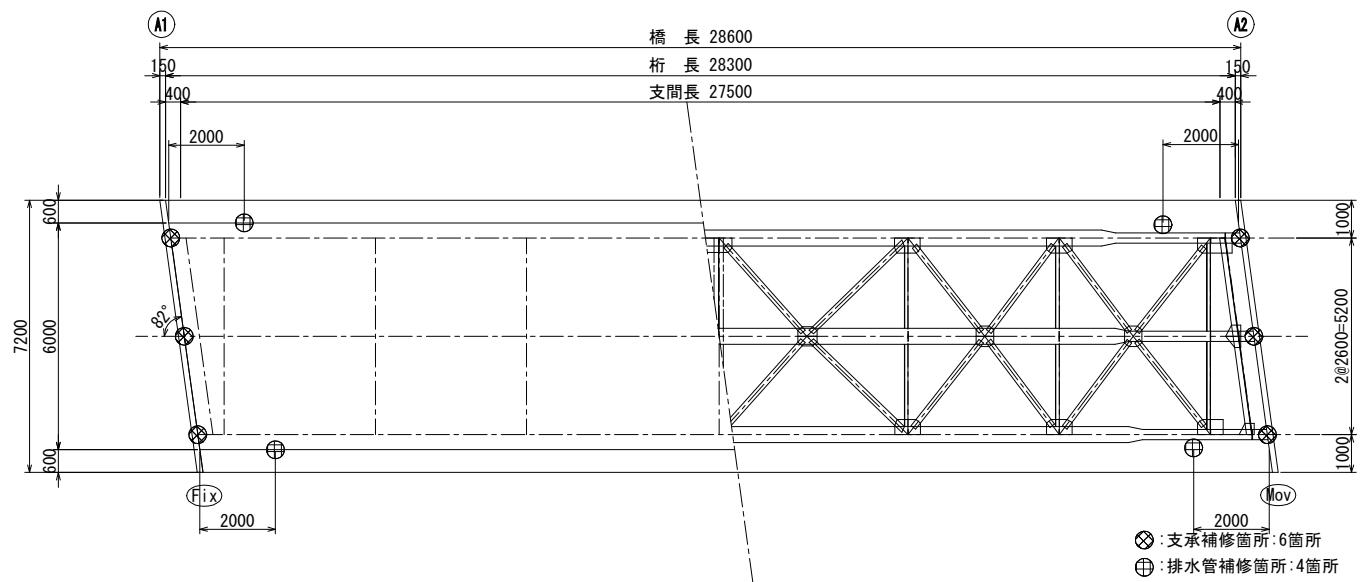
1. 本図面の断面形状及び寸法は、既往資料及び実測結果を基に復元したものである。
2. 施工関連諸寸法は、再度詳細調査を実施し、最終決定すること。

# 宝作橋 鋼部材再塗装工図(その3)

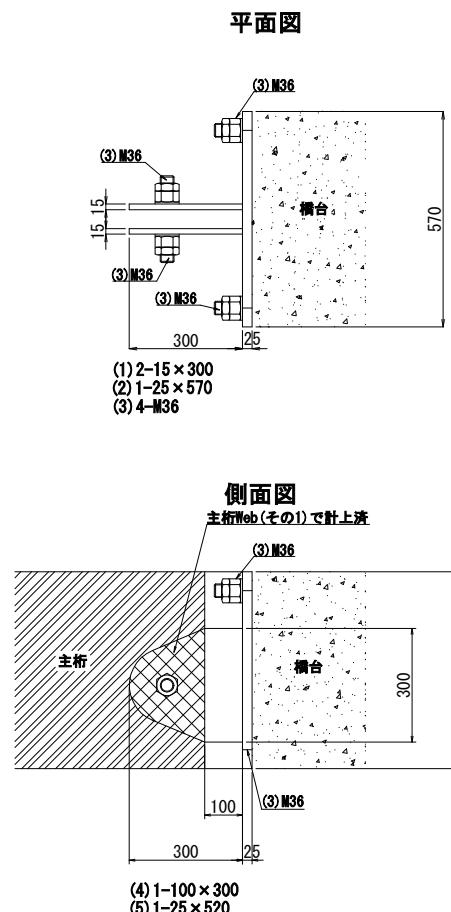
支承詳細図 S=1:10



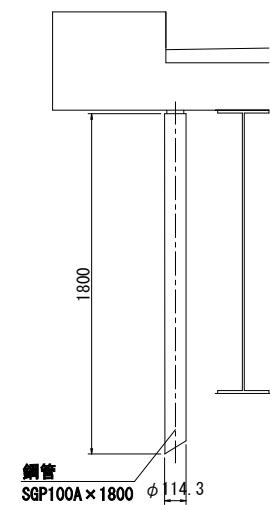
位 置 図



落橋防止装置詳細図 S=1:10

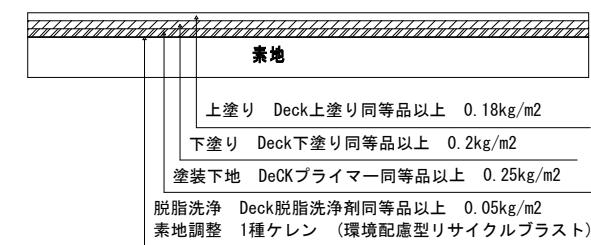


排水管詳細図 S=1:20



塗替塗装イメージ

長期耐候性錆転換型防食塗装システム Deck 同等品以上



※付着塩分測定を行い、50mg/m2以下であることを確認すること。

※下塗りおよび上塗りの使用量は、刷毛・ローラー施工の場合を示す。

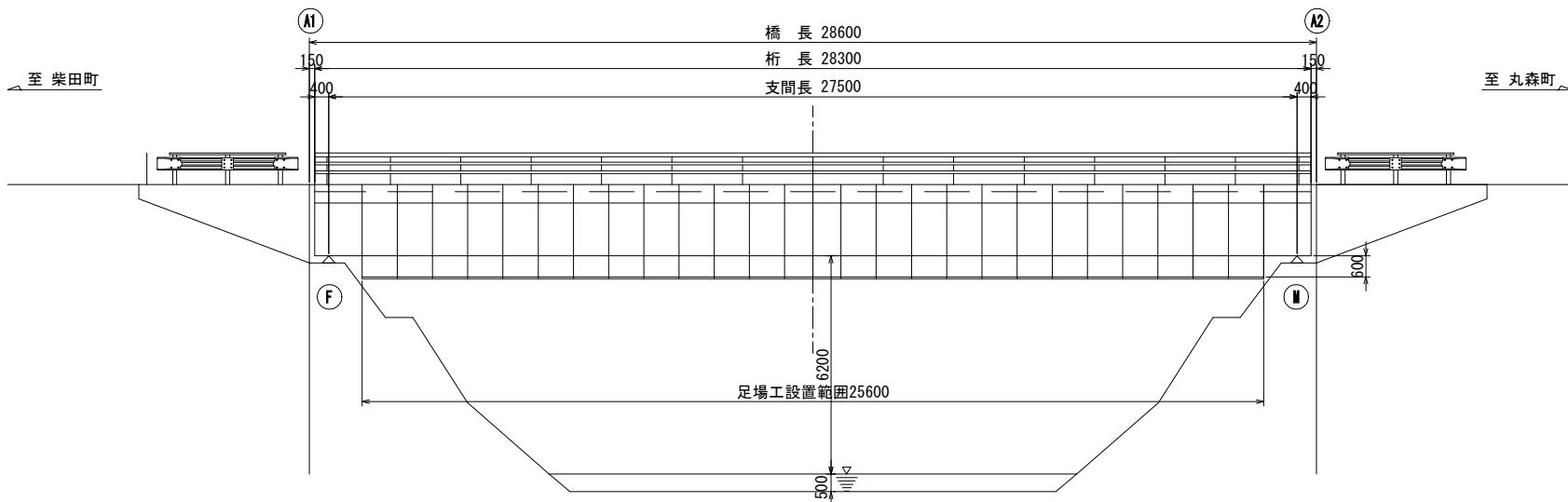
宝作橋

工事番号		
路線名	市道 金津光目内線	
施工地名	角田市枝野字館島田 地内	
工事名	令和7年度 宝作橋外2橋橋梁補修工事	
図名	宝作橋 鋼部材再塗装工図(その3)	
縮尺	図示	位置
設計者		設計年度
角田市	図番	7 / 23

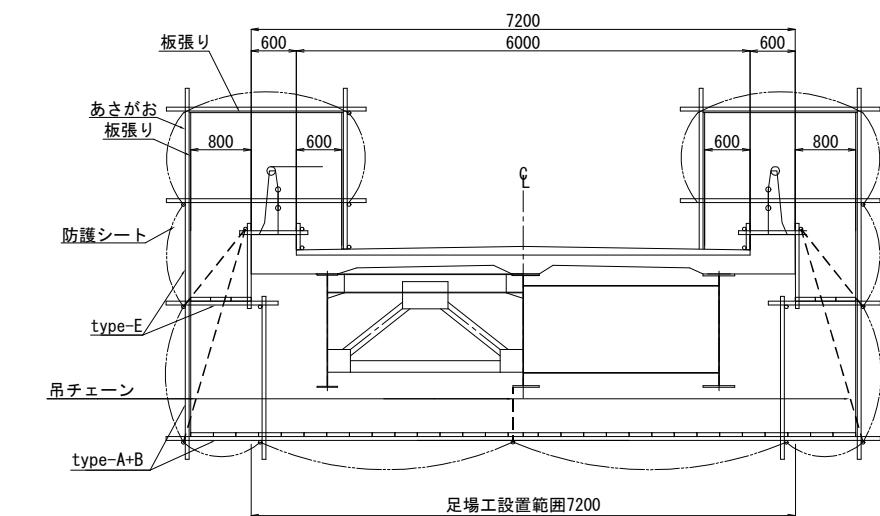


# 宝作橋 施工計画図【参考図】

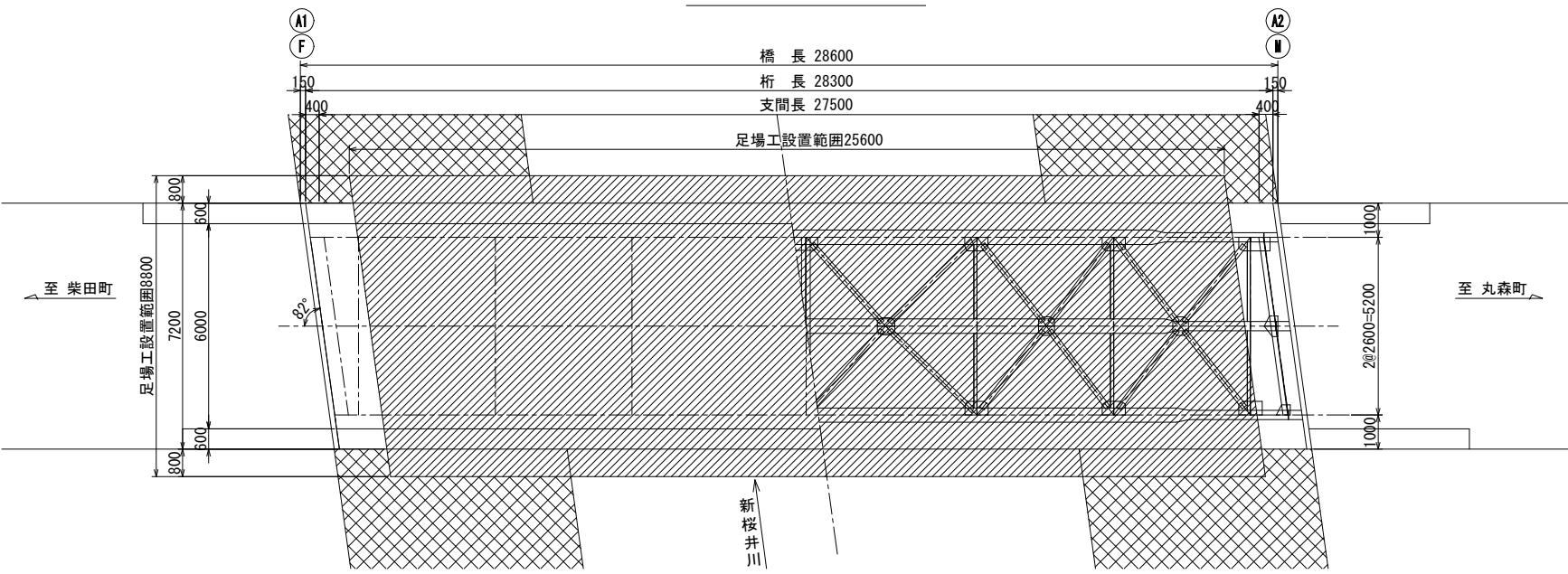
側面図 S=1:100



断面図 S=1:50



平面図 S=1:100



数量表

種別	細別	規格	単位	数	量	備考
足場工						
	吊足場	type-A+B	m <sup>2</sup>	184.3		
		type-E	m <sup>2</sup>	41.0		

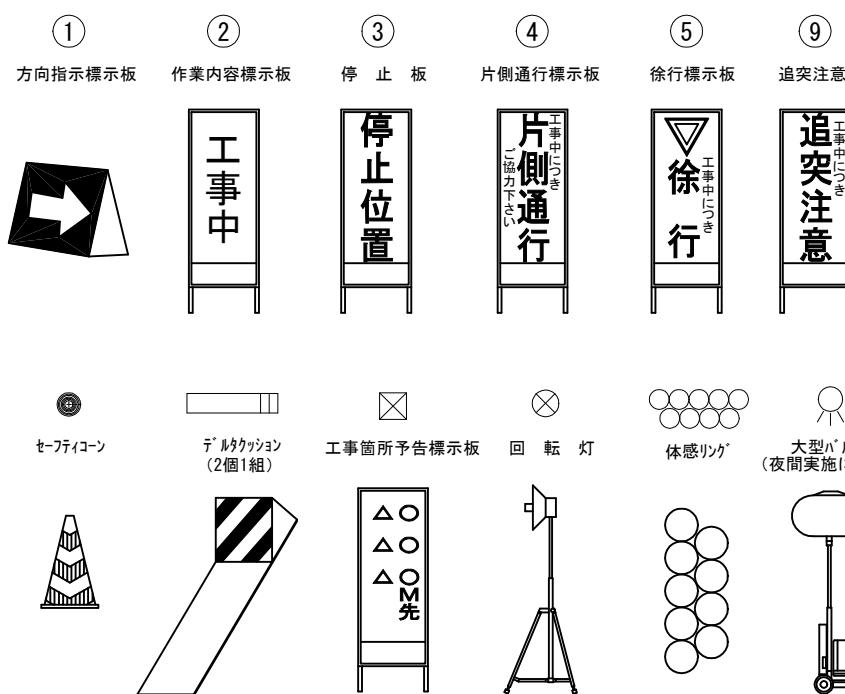
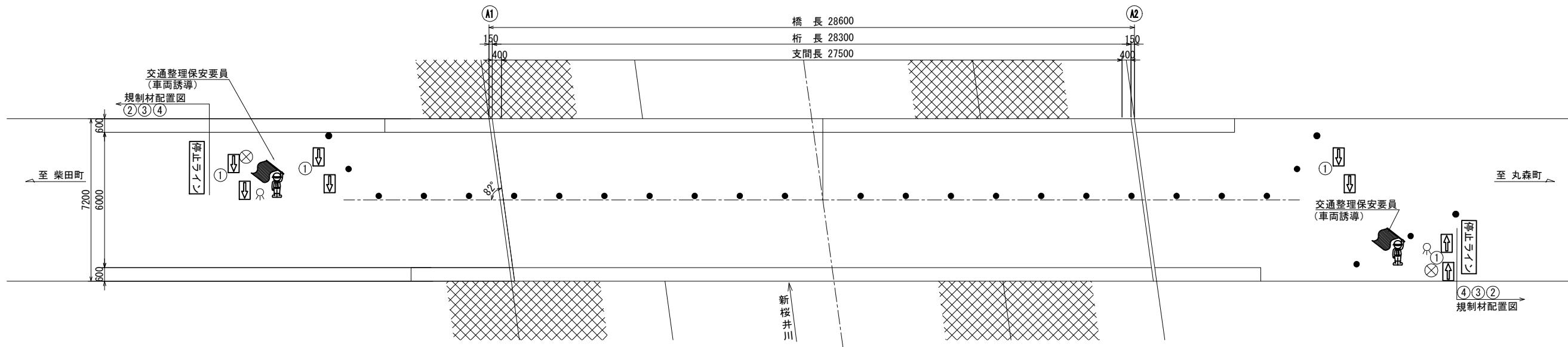
宝作橋

工事番号			
路線名	市道 金津光目内線		
施工地名	角田市枝野字館島田 地内		
工事名	令和7年度 宝作橋外2橋橋梁補修工事		
図名	宝作橋 施工計画図【参考図】		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
角田市	図番	9 / 23	

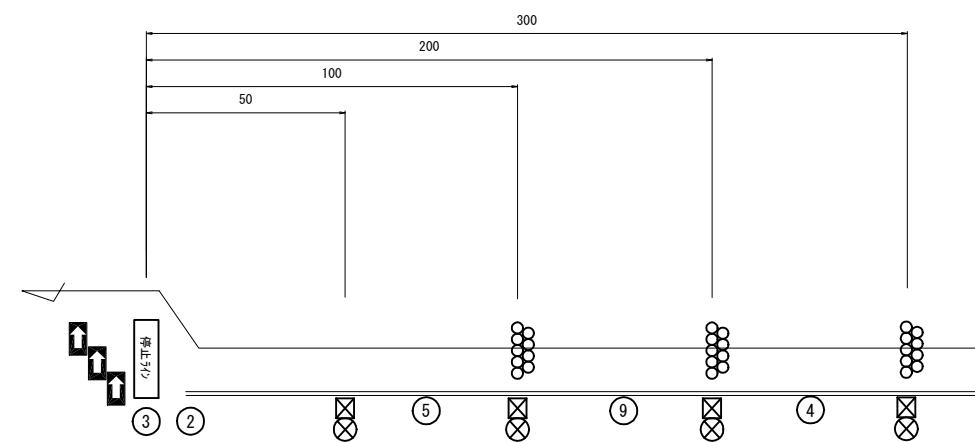
1. 本図面の断面形状及び寸法は、既往資料及び実測結果を基に復元したものである。  
2. 施工関連諸寸法は、再度詳細調査を実施し、最終決定すること。

# 宝作橋 交通規制図【参考図】

平面図 S=1:100



規制材配置図



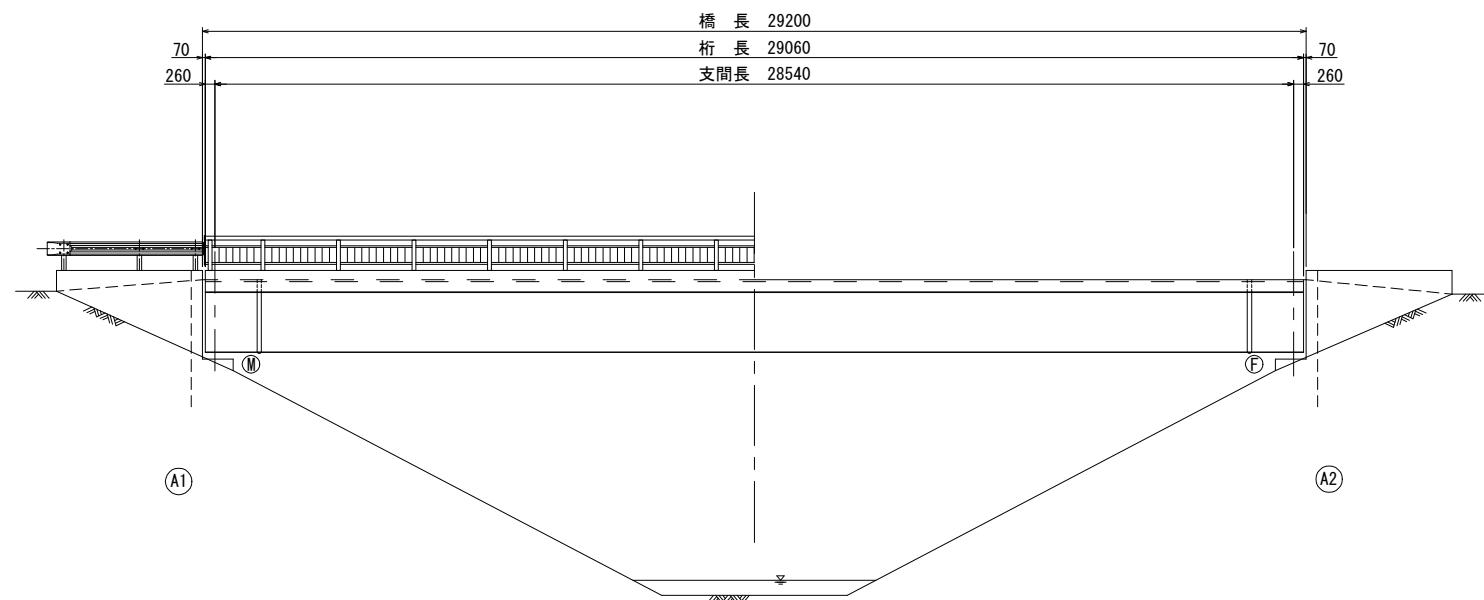
1. 本図面の断面形状及び寸法は、既往資料及び実測結果を基に復元したものである。  
2. 施工関連諸寸法は、再度詳細調査を実施し、最終決定すること。

宝作橋	
工事番号	
路線名	市道 金津光目内線
施工地名	角田市枝野字館島田 地内
工事名	令和7年度 宝作橋外2橋橋梁補修工事
図名	宝作橋 交通規制図【参考図】
縮尺	図示
設計者	設計年度
角田市	図番
	10 / 23

# 花島橋 復元一般図

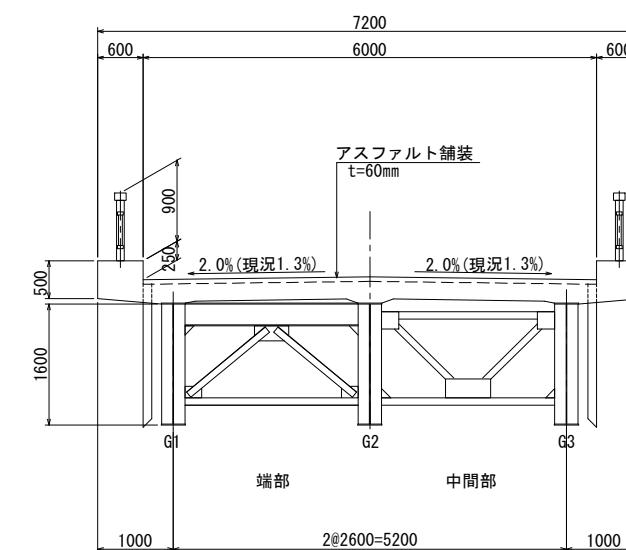
側面図

S=1:100



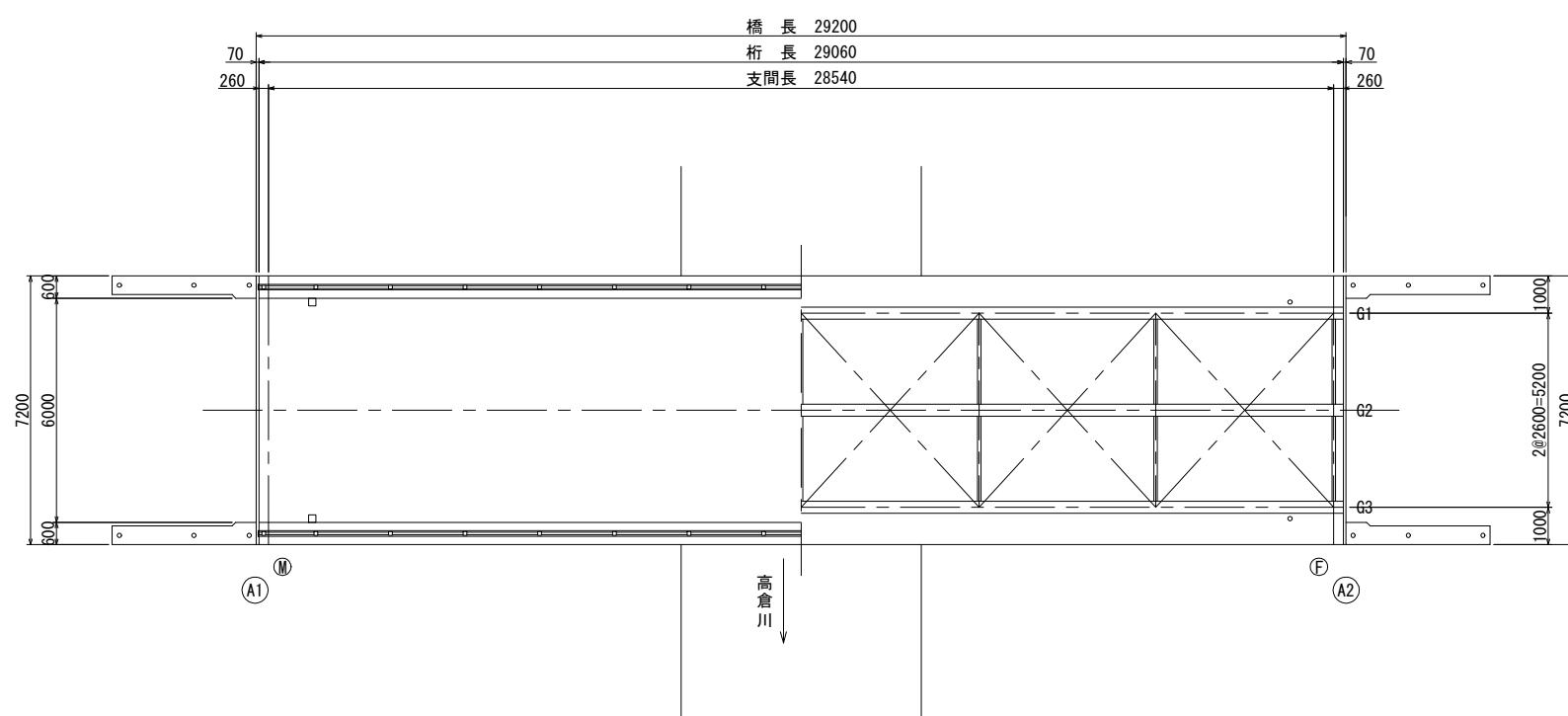
断面図

S=1:50



平面図

S=1:100



## 設計条件

橋長	$L = 29.200\text{m}$
有効幅員	$W = 6.000\text{m}$
橋格	1等橋
形式	鋼I桁橋
平面線形	直線
斜角	$90^\circ 00' 00''$
縦断勾配	不明
横断勾配	2.0% 2.0%
舗装	アスファルト舗装 ( $t=60\text{mm}$ )
竣工	1978年3月 (昭和53年)
橋齢	45年
適用示方書	昭和47年 (1972年) 3月 道路橋示方書 I 共通編

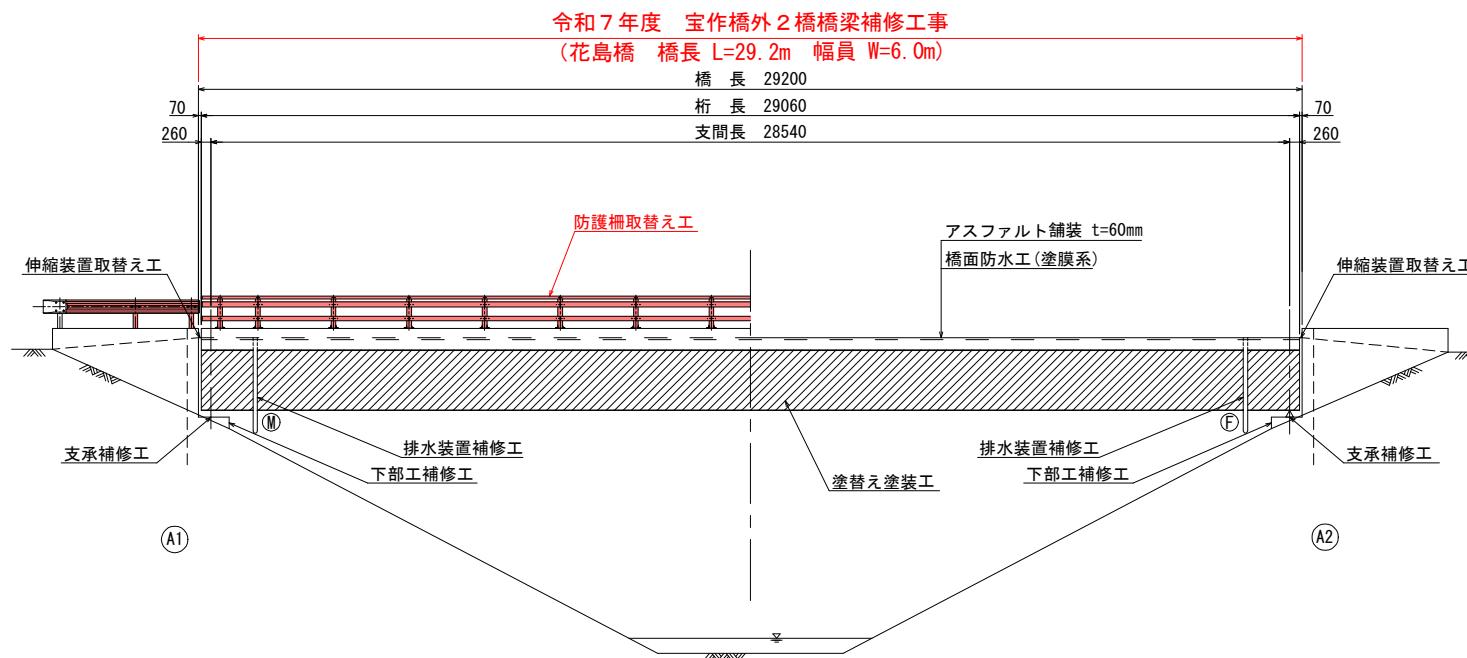
## 花島橋

工事番号		
路線名	市道 横倉岡前線	
施工地名	角田市花島字深山 地内	
工事名	令和7年度 宝作橋外2橋橋梁補修工事	
図名	花島橋 復元一般図	
縮尺	図示	位置
設計者	設計 年度	
角田市	図番	11 / 23

# 花島橋 補修一般図

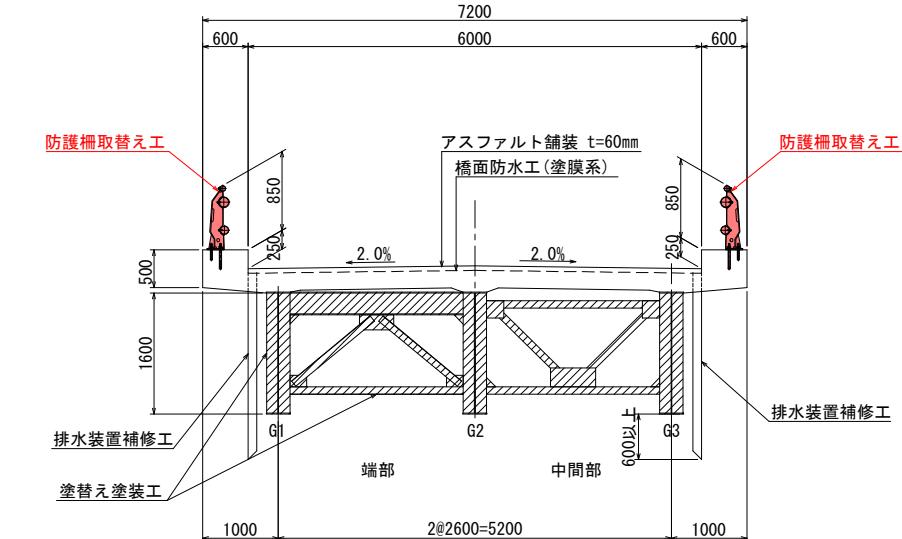
側面図

S=1:100



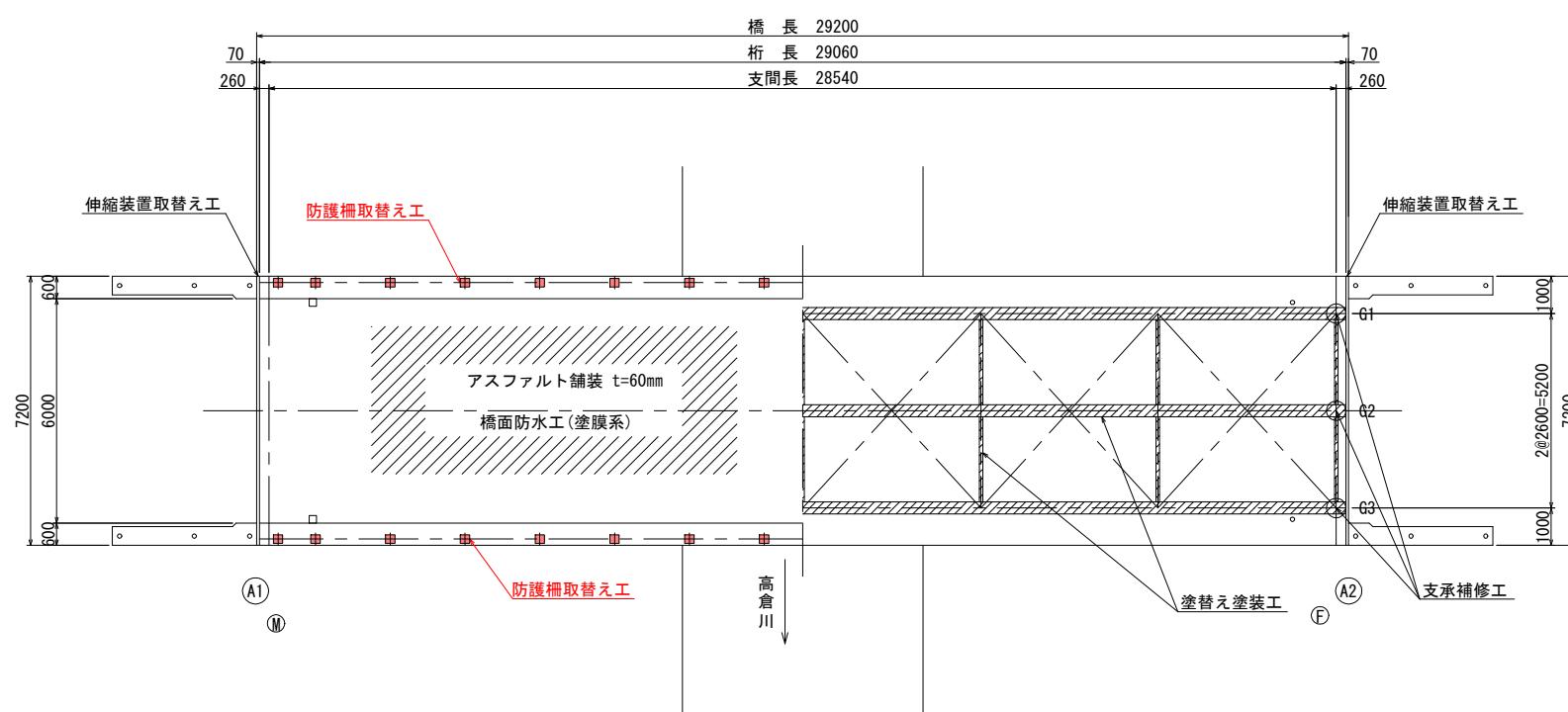
断面図

S=1:50



平面図

S=1:100

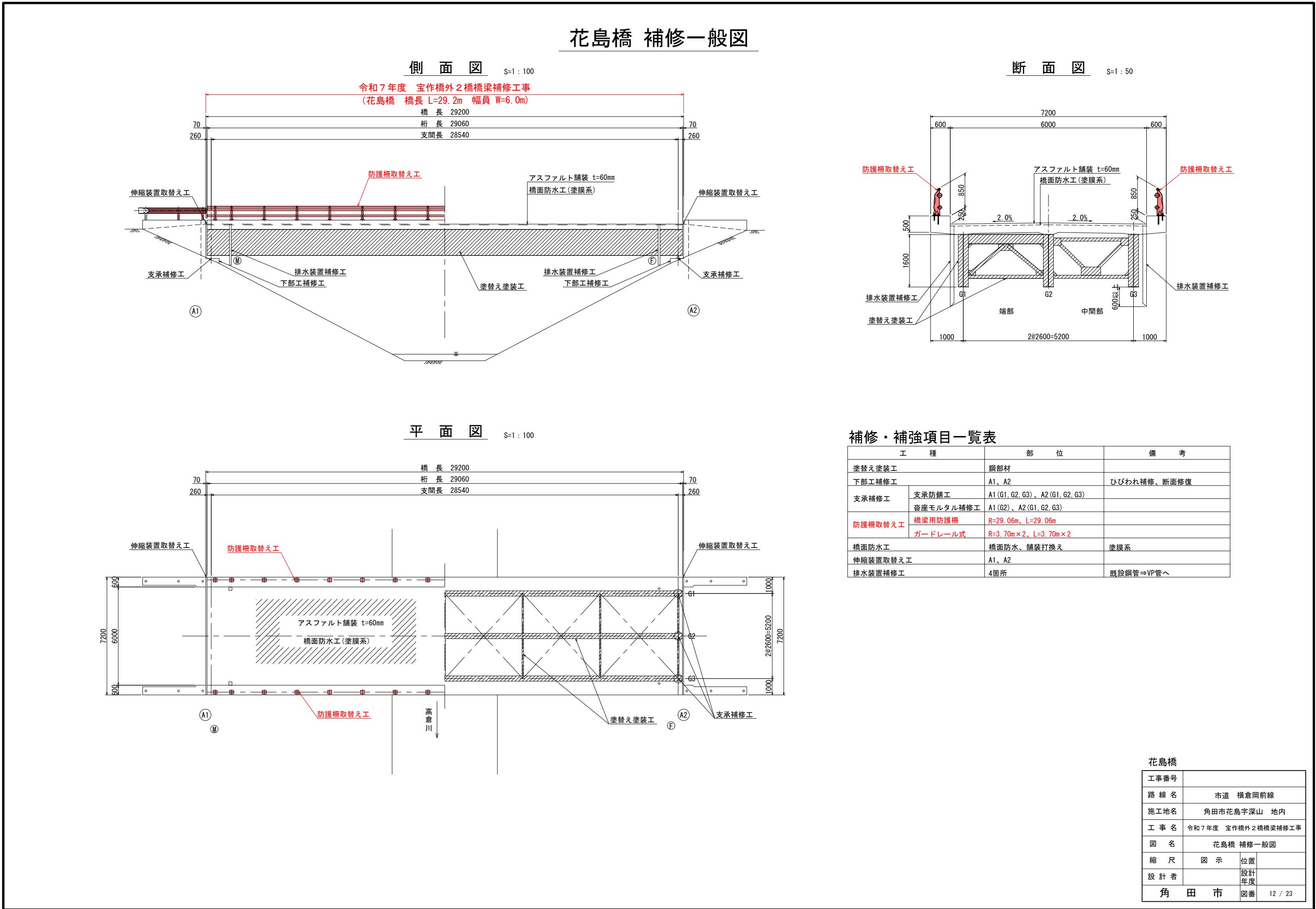


補修・補強項目一覧表

工種	部 位	備 考
塗替え塗装工	鋼部材	
下部工補修工	A1、A2	ひびわれ補修、断面修復
支承補修工	支承防錆工 脊座モルタル補修工	A1 (G1, G2, G3)、A2 (G1, G2, G3)
防護柵取替え工	橋梁用防護柵	R=29.06m、L=29.06m
	ガードレール式	R=3.70m x 2、L=3.70m x 2
橋面防水工	橋面防水、舗装打換え	塗膜系
伸縮装置取替え工	A1、A2	
排水装置補修工	4箇所	既設鋼管⇒VP管へ

花島橋

工事番号		
路線名	市道 横倉岡前線	
施工地名	角田市花島字深山 地内	
工事名	令和7年度 宝作橋外2橋橋梁補修工事	
図名	花島橋 補修一般図	
縮尺	図示	位置
設計者	設計 年度	
角田市	図番	12 / 23



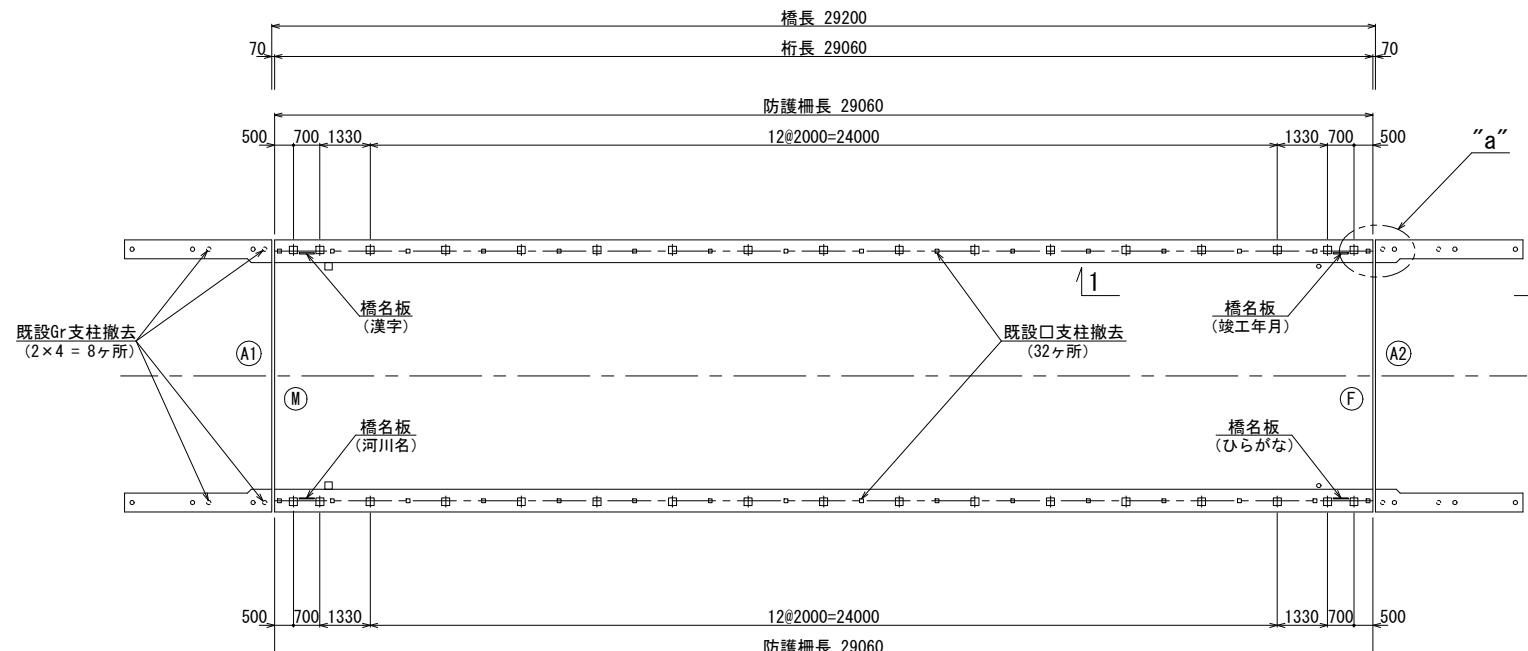
## 花島橋 防護柵取替え工図 (その1) 【参考図】 特記. 本図は製作時、現場検測を行い確認をすること。

特記. 本図は製作時、現場検測を行い確認をすること。

## 支柱割付平面図

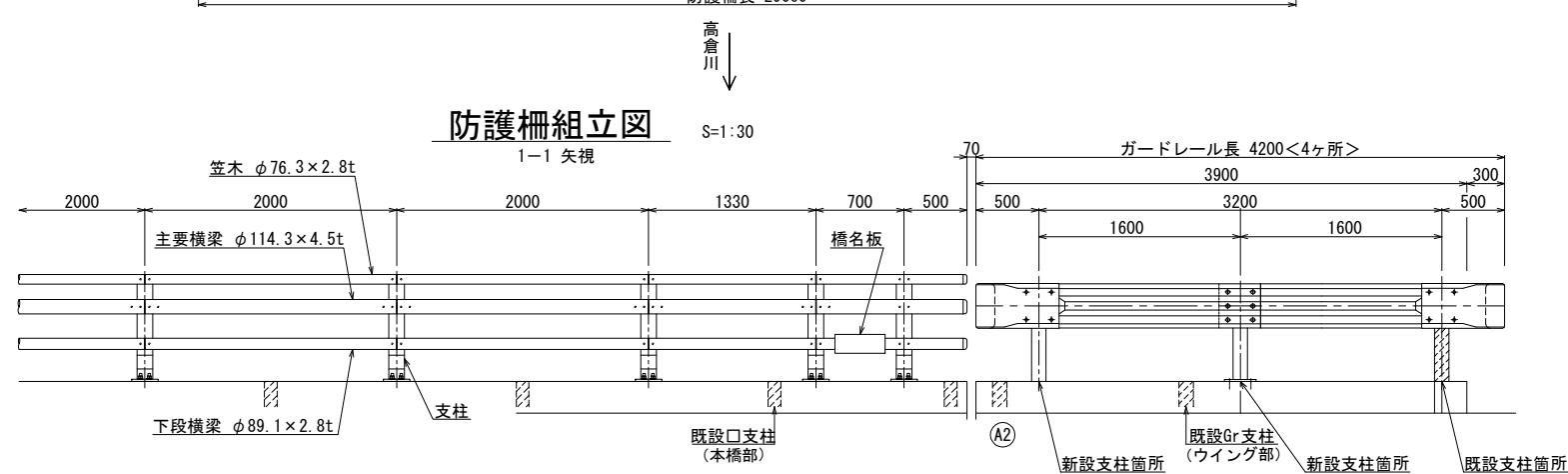
S=1:10

注. 防護柵長は支柱割付基準位置の実長を示す。



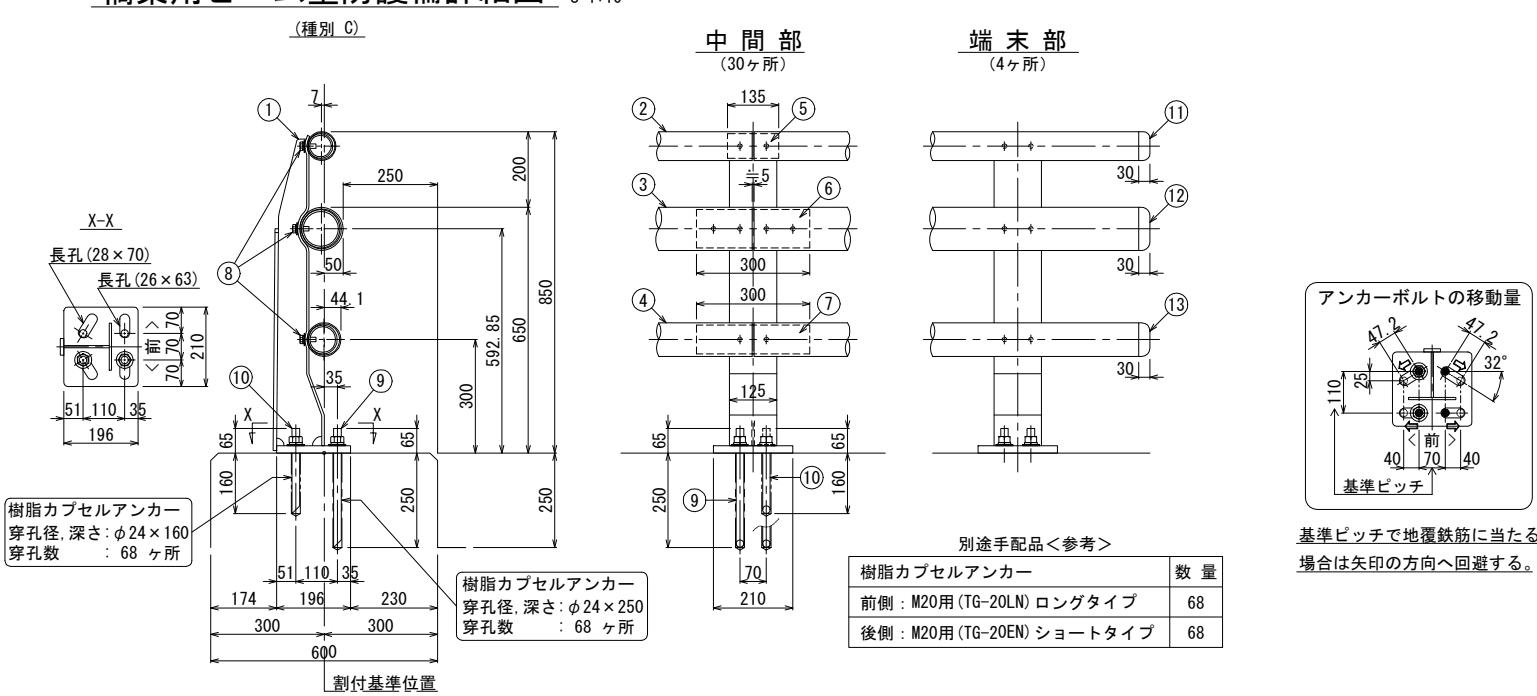
## 防護柵組立図

5



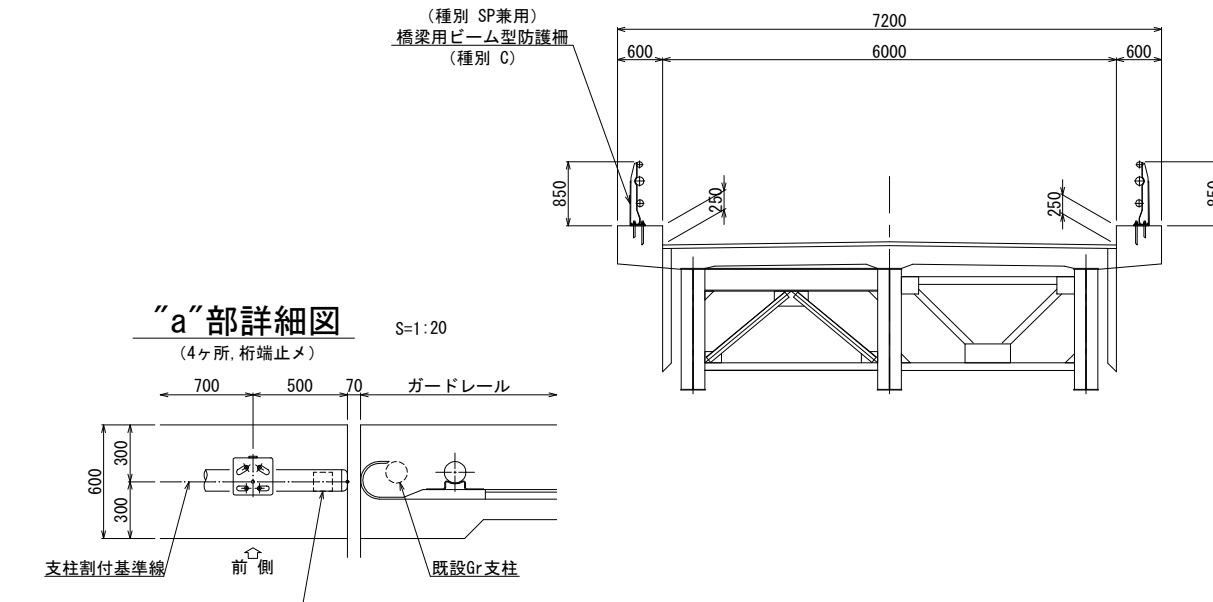
## (歩行者自転車用柵兼用) 橋梁用ビーム型防護柵詳細図

S-1: 1



### 断面図

S=1:50



材料表

(種別 C) 塗装仕様

符号	名 称	寸 法	材 質	単位質量	数 量	質 量	表面処理
1	支柱	H850×196×125/210	SS400	14.67	34	498.8	HDZT49+工場塗装
2	笠木	φ 76.3×2.8t	STK400	5.08	57.850 m	293.9	〃
3	主要横梁	φ114.3×4.5t	〃	12.20	57.850 m	705.8	〃
4	下段横梁	φ 89.1×2.8t	〃	5.96	57.850 m	344.8	〃
5	スリーブ	φ 65.0×4.0t×135	〃	0.81	30	24.3	〃
6	〃	φ101.6×4.5t×300	〃	3.23	30	96.9	〃
7	〃	φ 76.3×4.2t×300	〃	2.23	30	66.9	〃
8	取付ボルト	M12×35 (W1, SW1)	強度区分 6.8 以上	0.06	264	15.8	HDZT49
9	アンカーボルト	全ねじ I-M20×315 (N1, W1, SW1)	〃	0.74	68	50.3	〃
10	〃	全ねじ I-M20×225 (N1, W1, SW1)	強度区分 4.6 以上	0.56	68	38.1	〃
11	キャップ	φ 76.3×30	AC4C	0.24	4	1.0	工場塗装
12	〃	φ114.3×30	〃	0.47	4	1.9	〃
13	〃	φ 89.1×30	〃	0.30	4	1.2	〃
						合計	2139.7 kg

特記) 橋梁用ビル型防護柵は(一社)

特記) 機架用ヒンジ室防護柵は(社)

左

1. 本防護柵の設計仕様は「防護柵の設置基準・同解説」(令和3年3月)による。

\*コンクリート設計基準強度  $\sigma_{ck} = 21 \text{ N/mm}^2$  以上

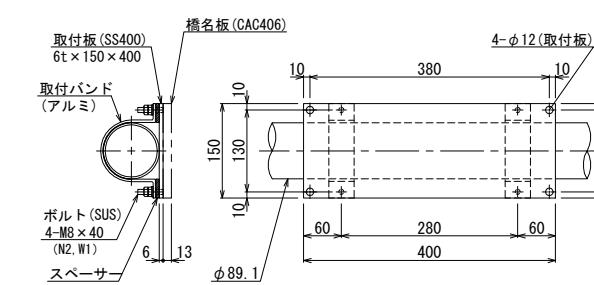
2. アンカーボルトは地覆鉄筋を回避する仕様とする。

3. 樹脂カプセルアンカーは別途手配品とする。

4. 橋名板および取付部品は別途手配品とする。

## 橋名板取付詳細図

寸法:400×150 数量:4set



花島橋

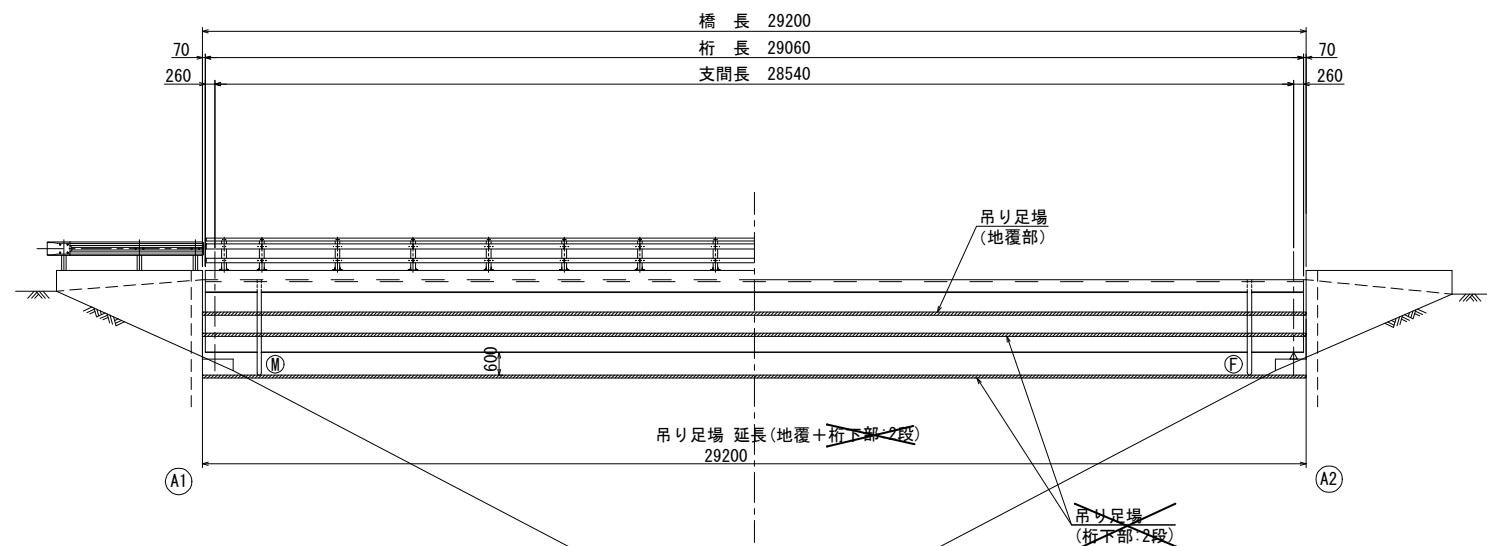
工事番号			
路線名	市道 横倉岡前線		
施工地名	角田市花島字深山 地内		
工事名	令和7年度 宝作橋外2橋橋梁補修工事		
図名	花島橋 防護柵取替え工図 (その1) 【参考図】		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計 年度	
角田市	図番	13 / 23	



## 花島橋 足場工図【参考図】

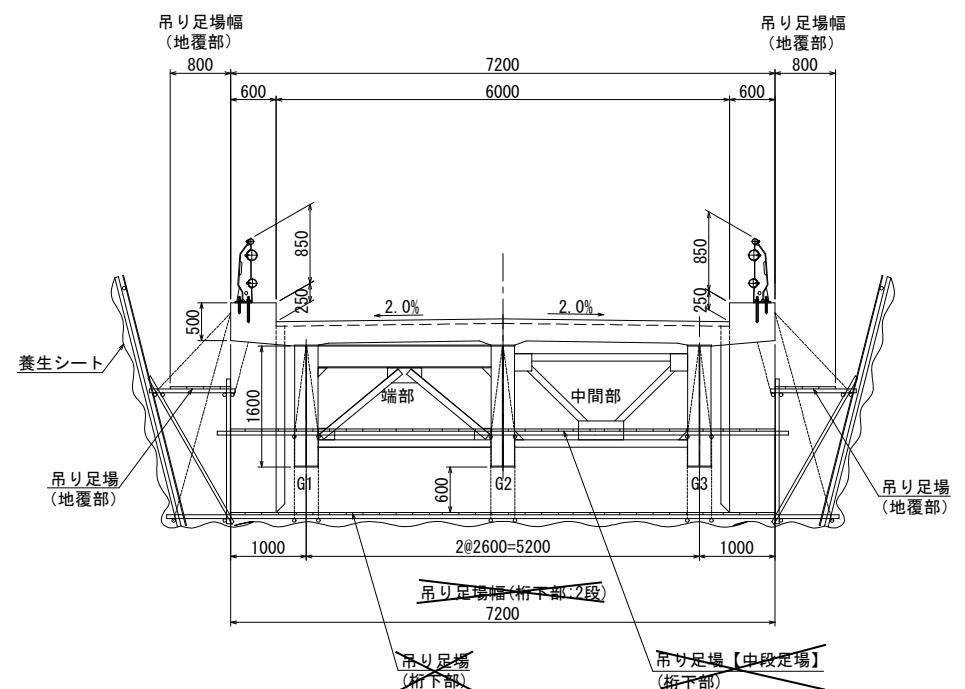
## 側面図

S=1 : 100



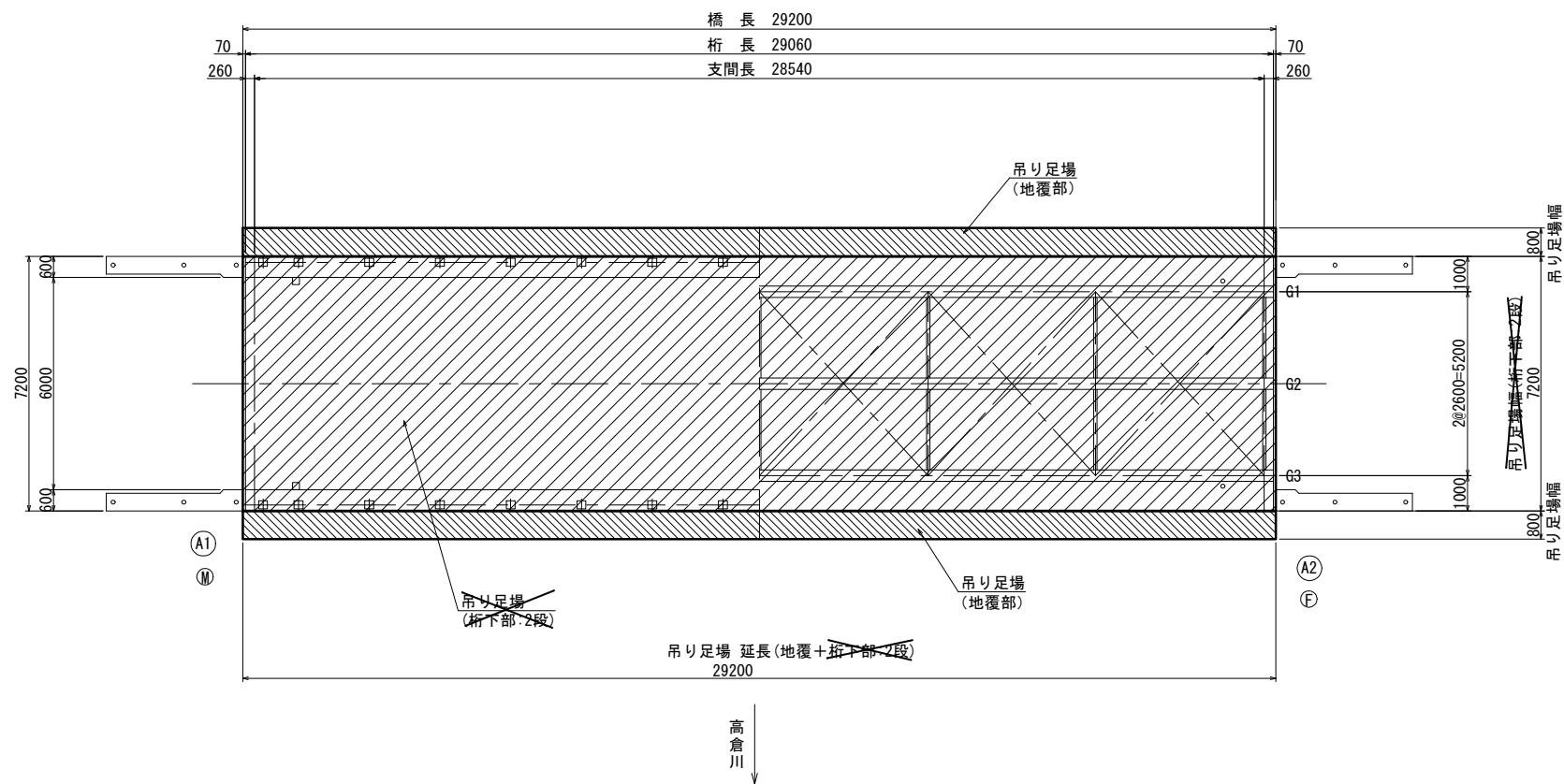
## 断面図

S=1 : 50



## 平面図

S=1 : 100



注記)  
1. 工事着手前に現地計測し関連寸法の確認を行うこと。

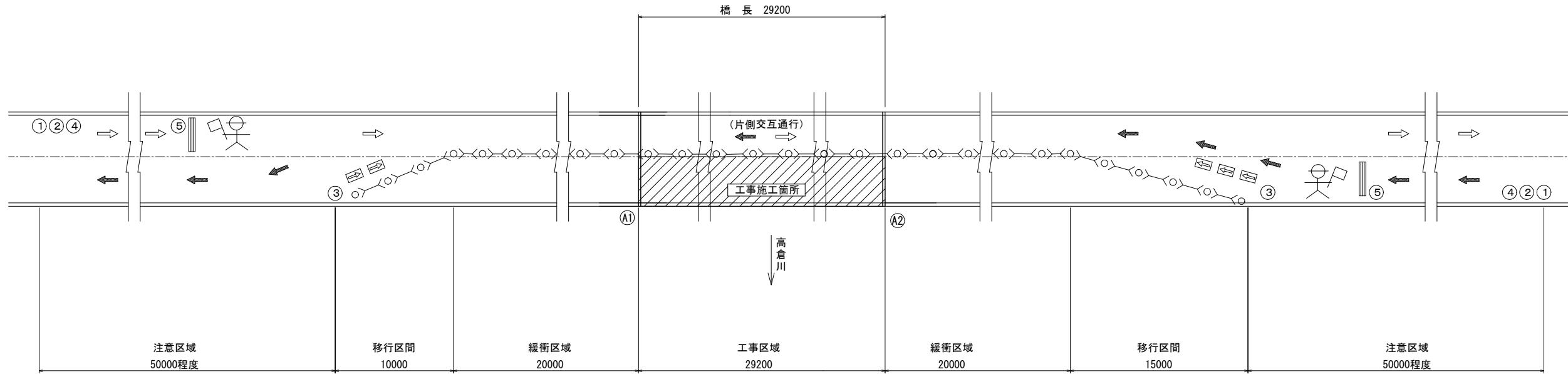
花島橋

工事番号			
路線名	市道 横倉岡前線		
施工地名	角田市花島字深山 地内		
工事名	令和7年度 宝作橋外2橋橋梁補修工事		
図名	花島橋 足場工図【参考図】		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
角田市	図番	15 / 23	

# 花島橋 交通規制図【参考図】

(片側交互通行規制)

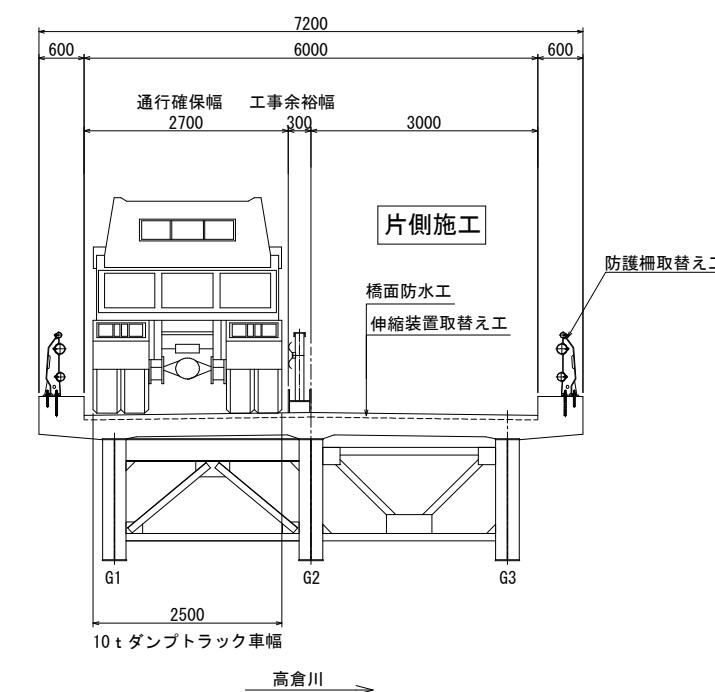
平面図 S=1:200



## 規制道具の記号様式

記号	①	②	③	④
名称	工事予告板	おねがい掲示板	工事掲示板	片側交互通行掲示板
様式				
記号	⑤	➡	○><○	↑
名称	停止マット	矢印	仮防護柵又はコーンバー	交通誘導員
様式				

断面図 S=1:50

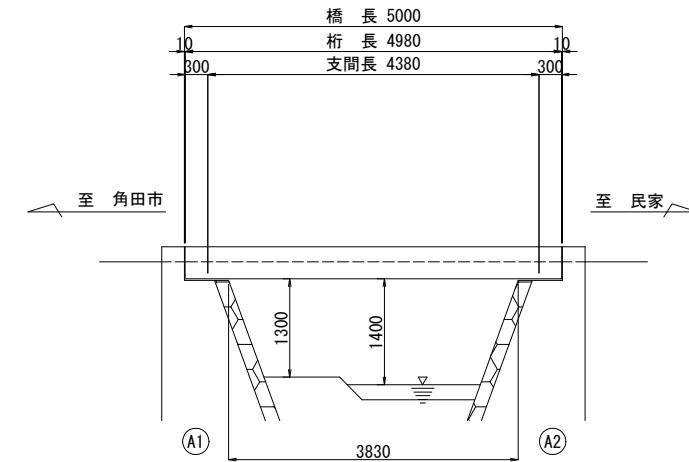


花島橋

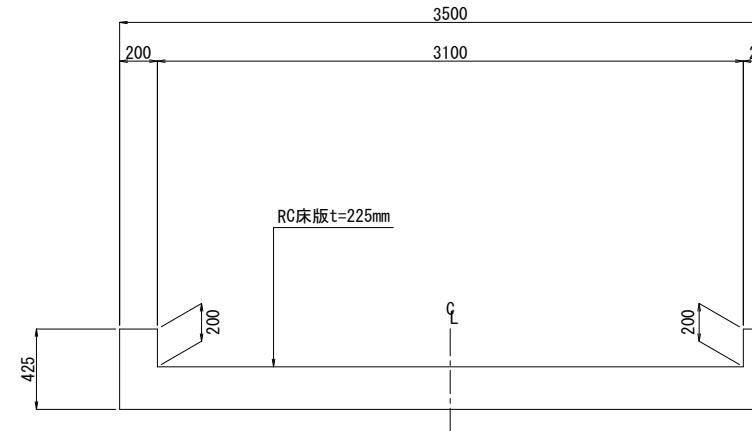
工事番号		
路線名	市道 横倉岡前線	
施工地名	角田市花島字深山 地内	
工事名	令和7年度 宝作橋外2橋橋梁補修工事	
図名	花島橋 交通規制図【参考図】	
縮尺	図示	位置
設計者	設計年度	
角田市	図番	16 / 23

# 大森4号橋 現況一般図

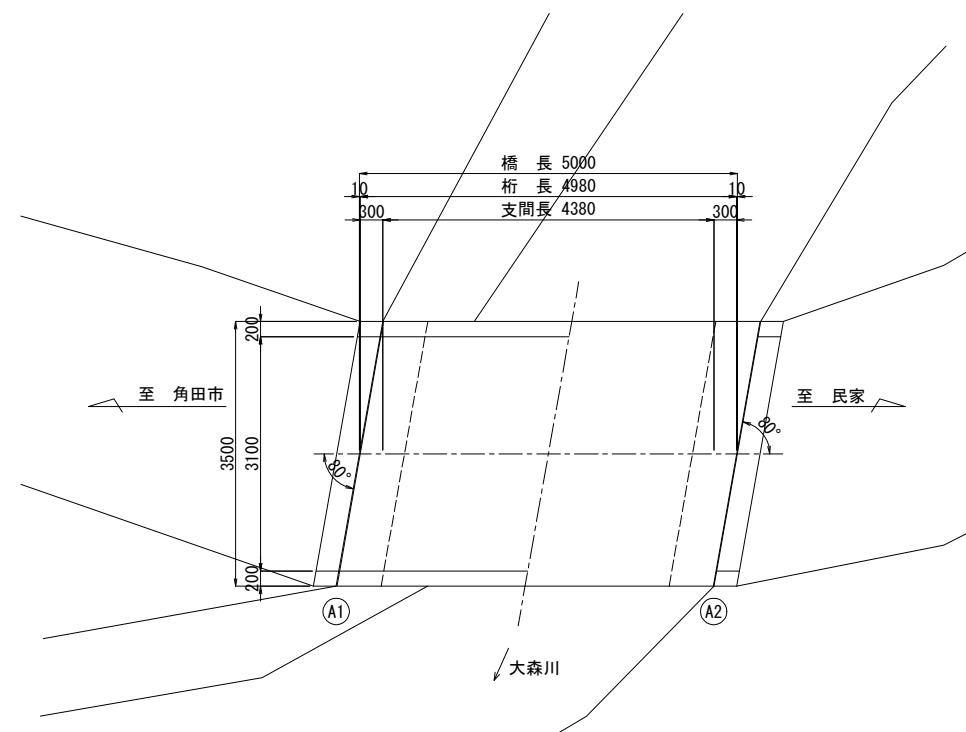
側面図 S=1:50



断面図 S=1:20



平面図 S=1:50



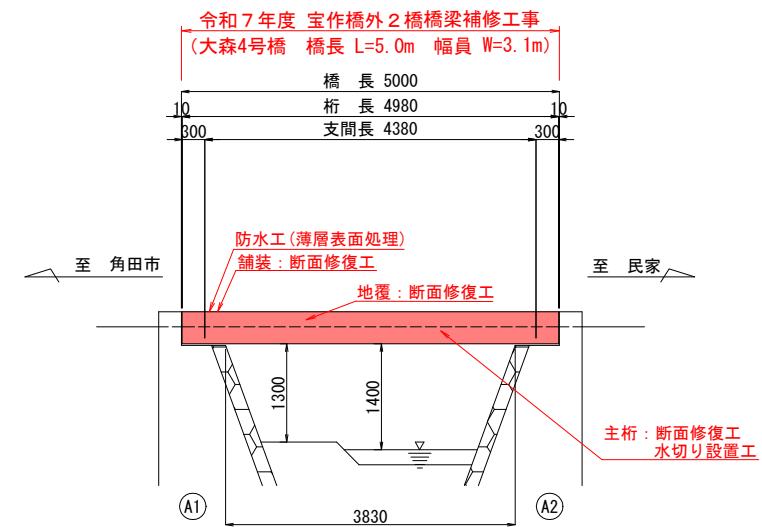
設計条件	
橋種	コンクリート橋
交差条件	河川(大森川)
型式	単純RC床版橋
橋長	5.000m
支間	4.380m
幅員	3.500m(有効3.100m)
斜角	80°
活荷重	不明
添架物	なし
舗装	なし
床版	鉄筋コンクリート床版t=225mm
軸体形式	橋台
基礎形式	不明
適用示方書	不明
竣工年	不明

1. 本図面の断面形状及び寸法は、既往資料及び実測結果を基に復元したものである。  
2. 施工関連諸寸法は、再度詳細調査を実施し、最終決定すること。

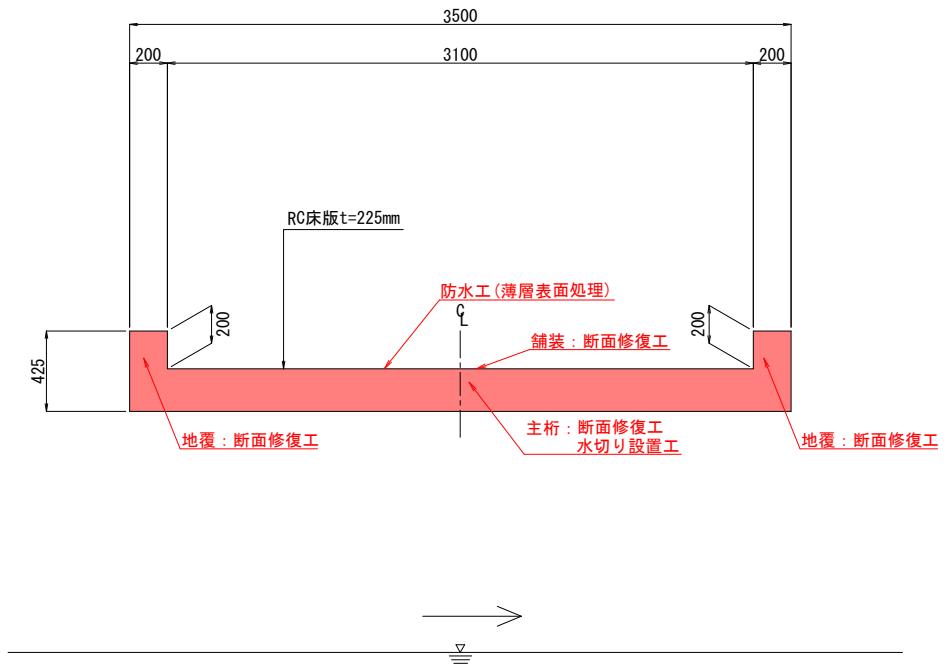
大森4号橋		
工事番号		
路線名	市道 宮橋岩ノ沢線	
施工地名	角田市毛萱 地内	
工事名	令和7年度 宝作橋外2橋橋梁補修工事	
図名	大森4号橋 現況一般図	
縮尺	図示	位置
設計者	設計年度	
角田市	図番 17 / 23	

# 大森4号橋 補修対策工一般図

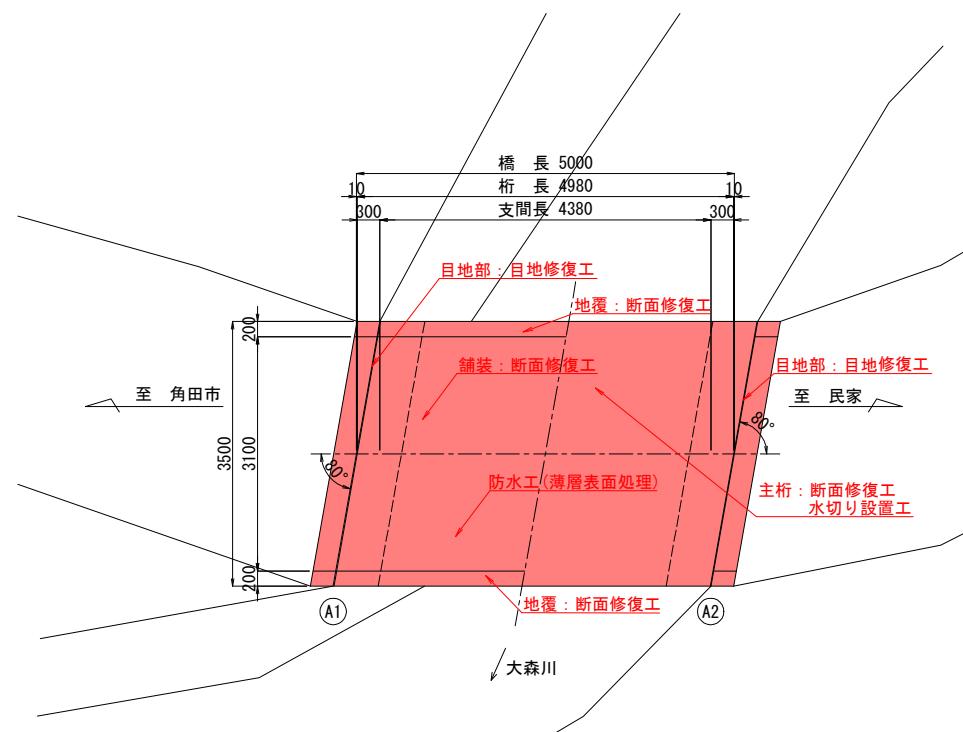
側面図 S=1:50



断面図 S=1:20



平面図 S=1:50



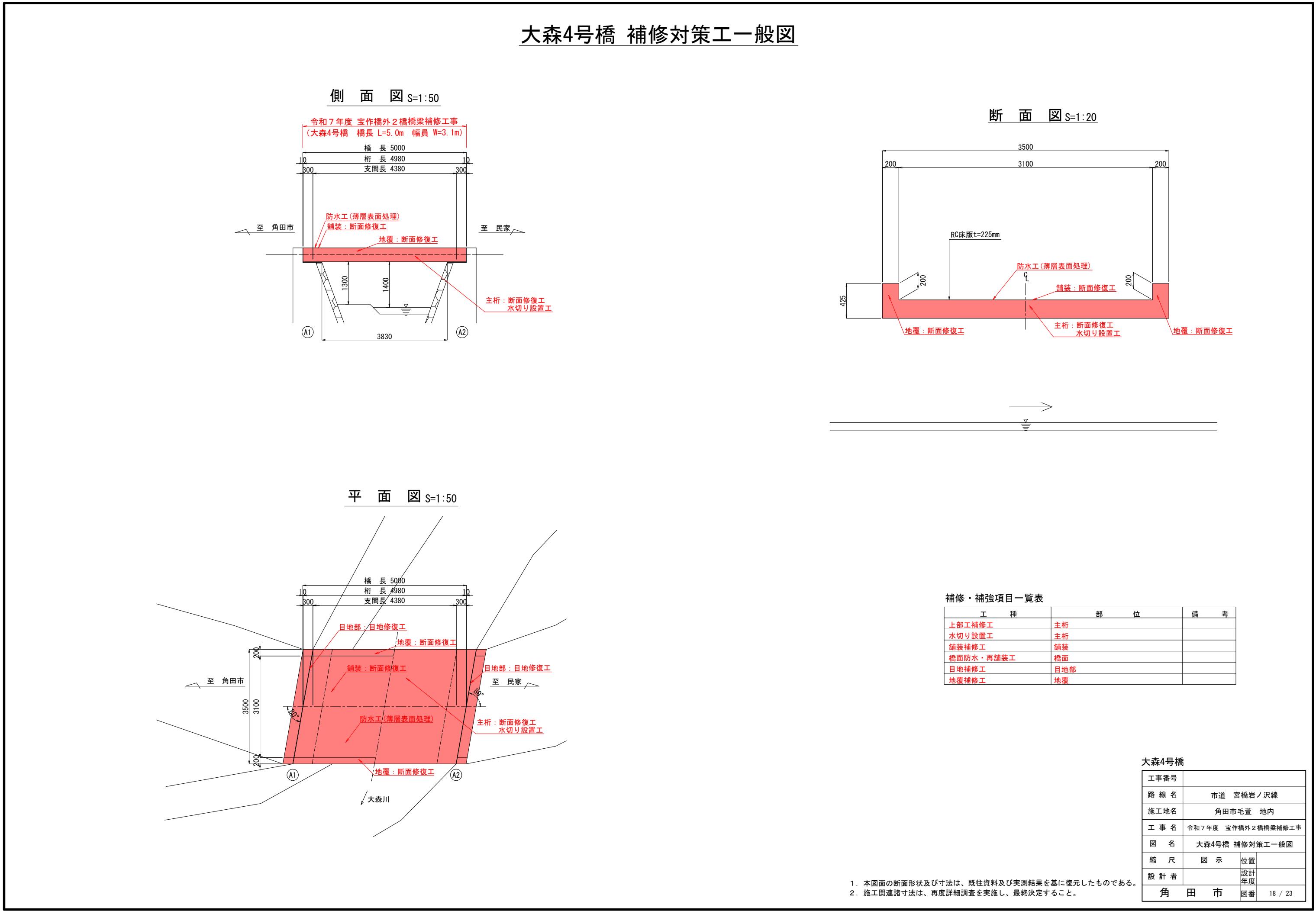
補修・補強項目一覧表

工種	部位	備考
上部工補修工	主桁	
水切り設置工	主桁	
舗装補修工	舗装	
橋面防水・再舗装工	橋面	
目地補修工	目地部	
地覆補修工	地覆	

大森4号橋

工事番号		
路線名	市道 宮橋岩ノ沢線	
施工地名	角田市毛萱 地内	
工事名	令和7年度 宝作橋外2橋橋梁補修工事	
図名	大森4号橋 補修対策工一般図	
縮尺	図示	位置
設計者	設計年度	
角田市	図番 18 / 23	

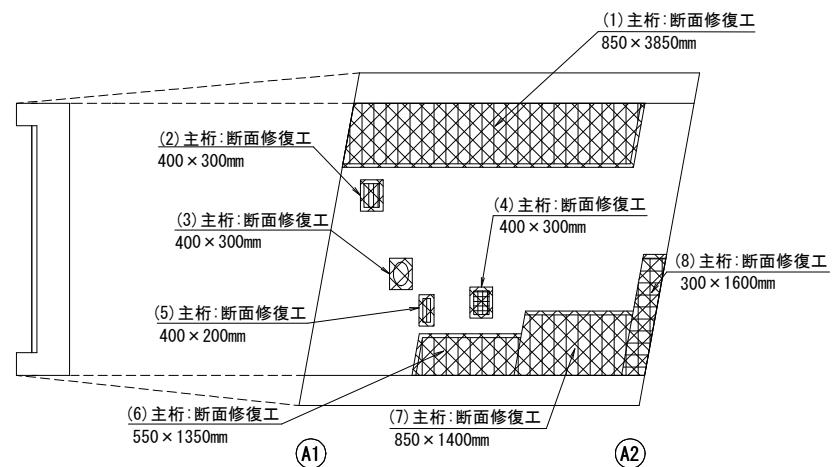
1. 本図面の断面形状及び寸法は、既往資料及び実測結果を基に復元したものである。  
2. 施工関連諸寸法は、再度詳細調査を実施し、最終決定すること。



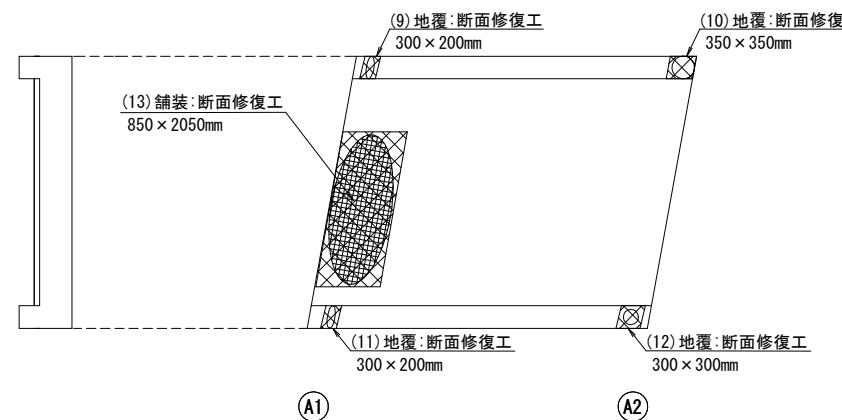
# 大森4号橋 上部工補修工図

## 断面修復工図

桁下面 S=1:50

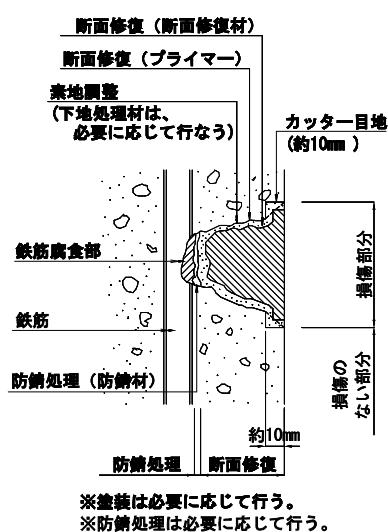


橋面 S=1:50

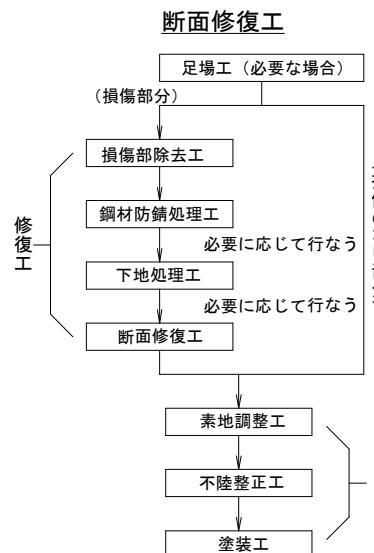


■ 断面修復範囲

断面修復工詳細図(参考図)



施工手順フロー



断面修復工数量表

位 置	単 位	数 量 計 算	数 量	摘 要
主 桁	(1) m <sup>3</sup>	0.85 × 3.85 × 0.05	= 0.164	
	(2) m <sup>3</sup>	0.40 × 0.30 × 0.05	= 0.006	
	(3) m <sup>3</sup>	0.40 × 0.30 × 0.05	= 0.006	
	(4) m <sup>3</sup>	0.40 × 0.30 × 0.05	= 0.006	
	(5) m <sup>3</sup>	0.40 × 0.20 × 0.05	= 0.004	
	(6) m <sup>3</sup>	0.55 × 1.35 × 0.05	= 0.037	
	(7) m <sup>3</sup>	0.85 × 1.40 × 0.05	= 0.060	
地 覆	(8) m <sup>3</sup>	0.30 × 1.60 × 0.05	= 0.024	
	(9) m <sup>3</sup>	0.30 × 0.20 × 0.05	= 0.003	
	(10) m <sup>3</sup>	0.35 × 0.35 × 0.05	= 0.006	
	(11) m <sup>3</sup>	0.30 × 0.20 × 0.05	= 0.003	
舗装	(12) m <sup>3</sup>	0.30 × 0.30 × 0.05	= 0.005	
	(13) m <sup>3</sup>	0.85 × 2.05 × 0.05	= 0.087	
合 計	m <sup>3</sup>		= 0.411	

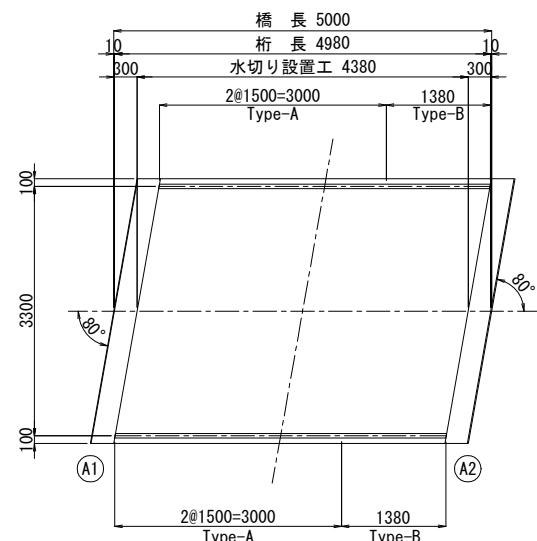
- 本図面の断面形状及び寸法は、既往資料及び実測結果を基に復元したものである。
- 施工関連諸寸法は、再度詳細調査を実施し、最終決定すること。
- 鉄筋の損傷が著しい場合、発注者と協議の上対策を講じること。
- 健全な部分のコンクリートまではつり取らない様、留意すること。

大森4号橋

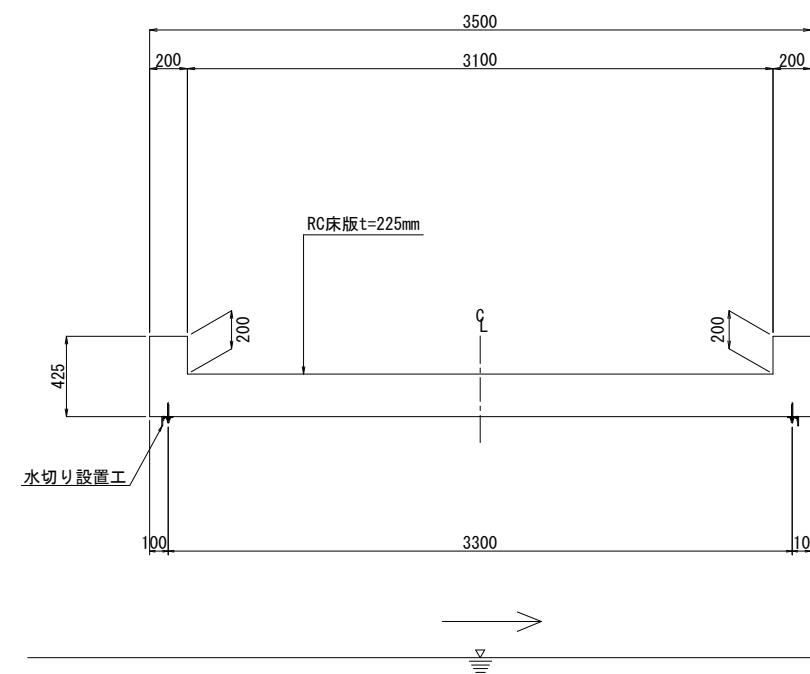
工事番号		
路線名	市道 宮橋岩ノ沢線	
施工地名	角田市毛萱 地内	
工事名	令和7年度 宝作橋外2橋橋梁補修工事	
図名	大森4号橋 上部工補修工図	
縮尺	図示	位置
設計者	設計 年度	
角田市	図番 19 / 23	

# 大森4号橋 水切り設置工図

平面図 S=1:50



断面図 S=1:20

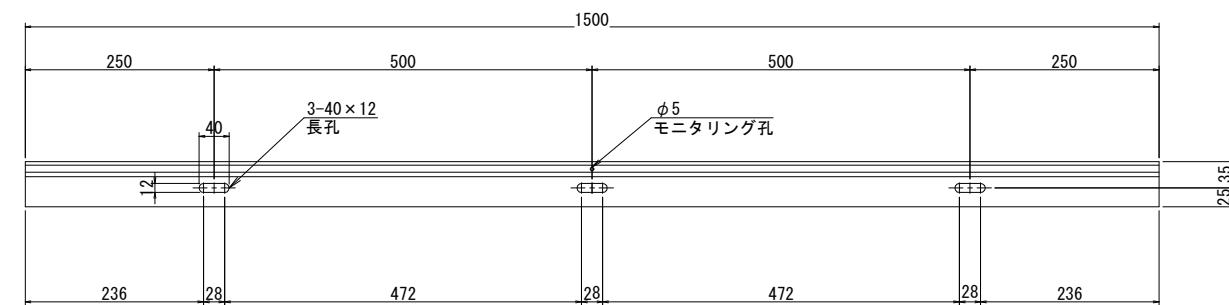


A部詳細図 S=1:5

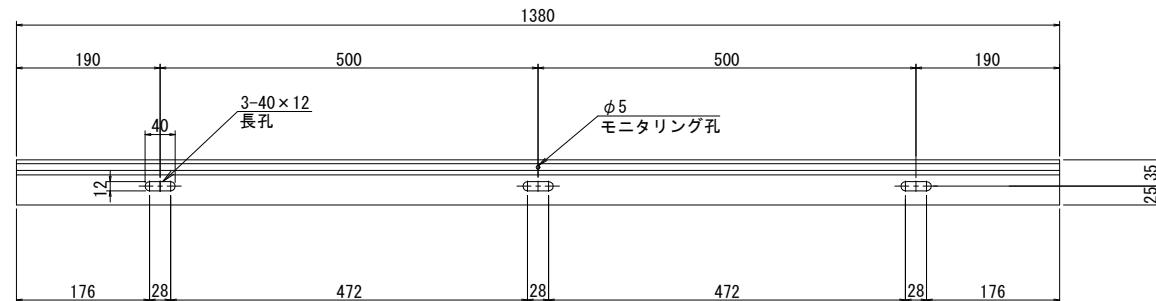


水切り板詳細図 S=1:5

Type-A

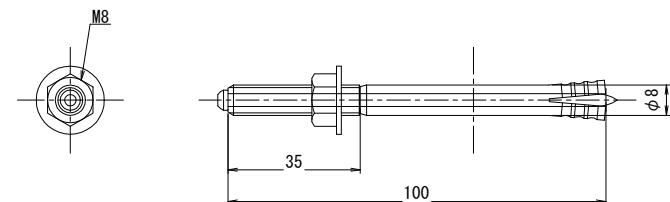


Type-B



部材図 S=1:1

オールアンカー M8×100



数量表

項目	単位	数量	摘要
水切り板	m	8.8	FRP
オールアンカー	本	18	ステンレス

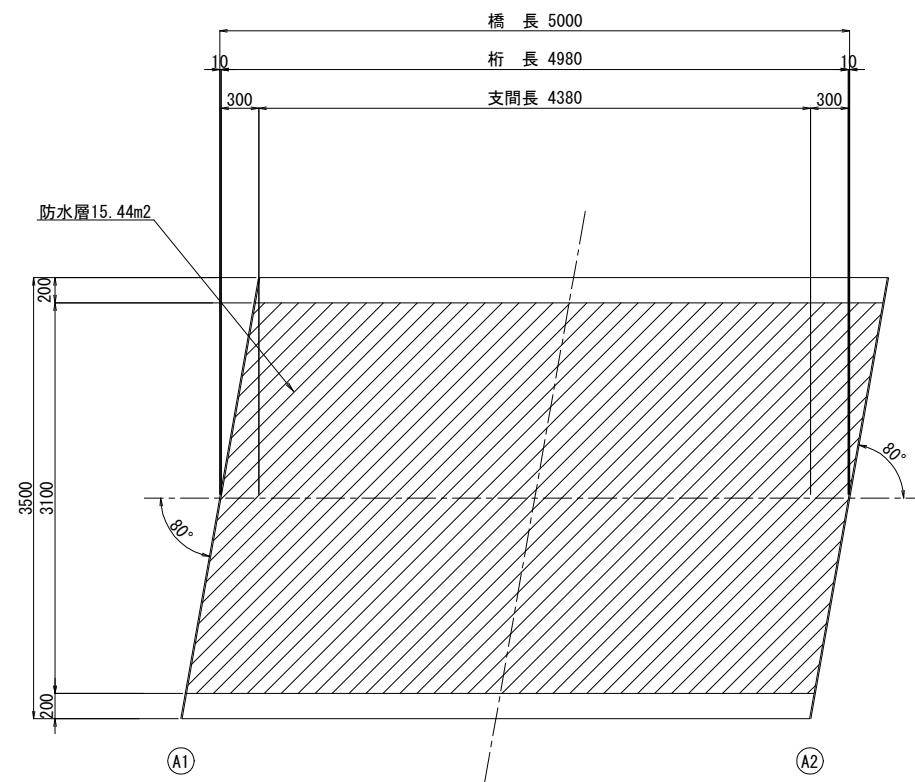
大森4号橋

工事番号		
路線名	市道 宮橋岩ノ沢線	
施工地名	角田市毛萱 地内	
工事名	令和7年度 宝作橋外2橋橋梁補修工事	
図名	大森4号橋 水切り設置工図	
縮尺	図示	位置
設計者	設計年度	
角田市	図番 20 / 23	

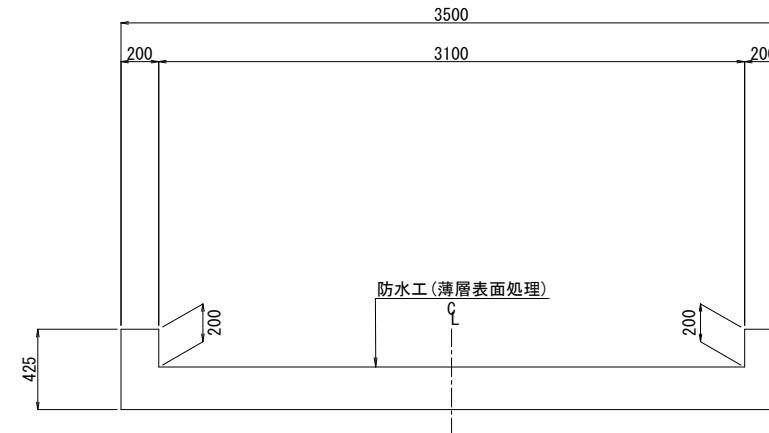
1. 本図面の断面形状及び寸法は、既往資料及び実測結果を基に復元したものである。
2. 施工関連諸寸法は、再度詳細調査を実施し、最終決定すること。
3. 水切り材の端尺部の孔加工および長さ調整は、施工時に現地にて行うこと。
4. 水切り材のシーリング充填溝にシーリング材を充填して施工すること。

# 大森4号橋 橋面防水工図

平面図 S=1:30

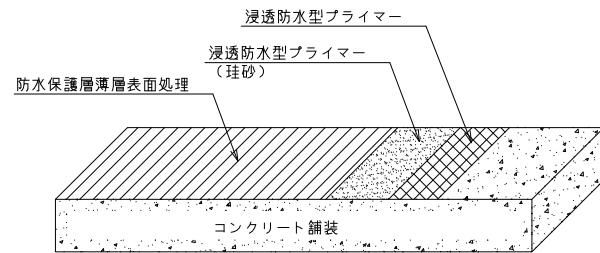


断面図 S=1:20



橋面舗装 補修概要図

コンクリート舗装部の構成断面



施工順序



橋面防水工数量集計

項目	単位	数量	備考
浸透防水型プライマー	m²	15.44	
珪砂	m²	15.44	
防水保護層薄層表面処理	m²	15.44	

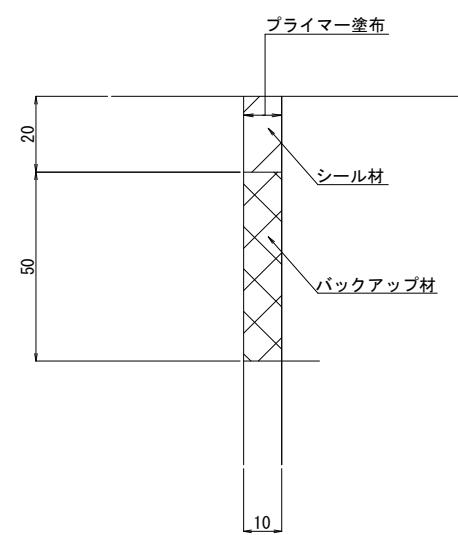
大森4号橋

工事番号					
路線名	市道 宮橋岩ノ沢線				
施工地名	角田市毛萱 地内				
工事名	令和7年度 宝作橋外2橋橋梁補修工事				
図名	大森4号橋 橋面防水工図				
縮尺	図示	位置			
設計者	設計 年度				
角田市	図番 21 / 23				

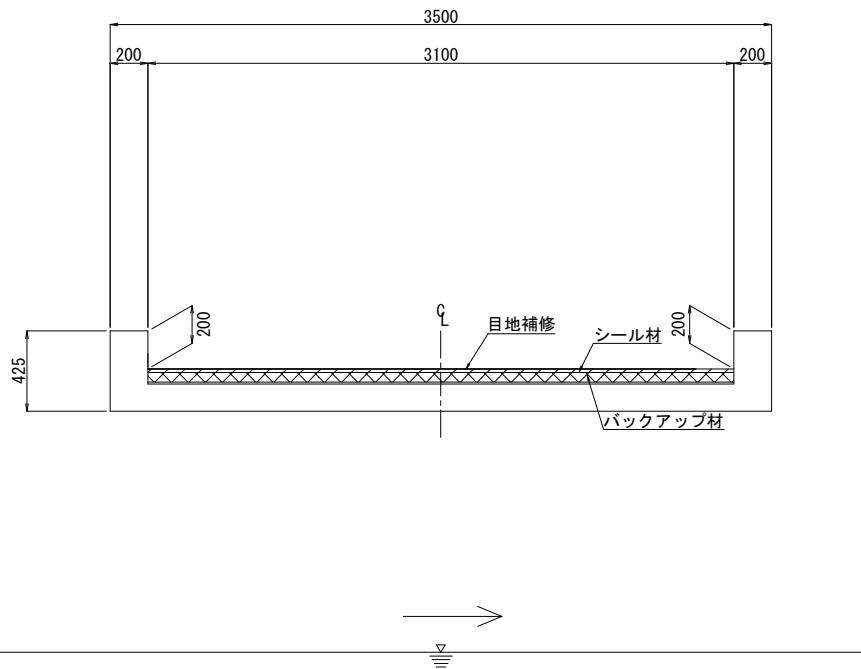
- 本図面の断面形状及び寸法は、既往資料及び実測結果を基に復元したものである。
- 施工関連諸寸法は、再度詳細調査を実施し、最終決定すること。
- 鉄筋の損傷が著しい場合、発注者と協議の上対策を講じること。
- 健全な部分のコンクリートまではつり取らない様、留意すること。

## 大森4号橋 目地補修工図

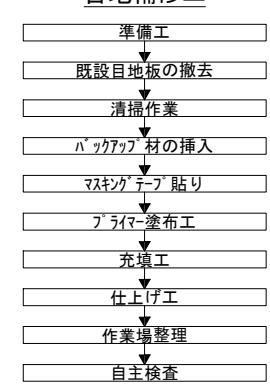
## シール材充填詳細図 S=1:1



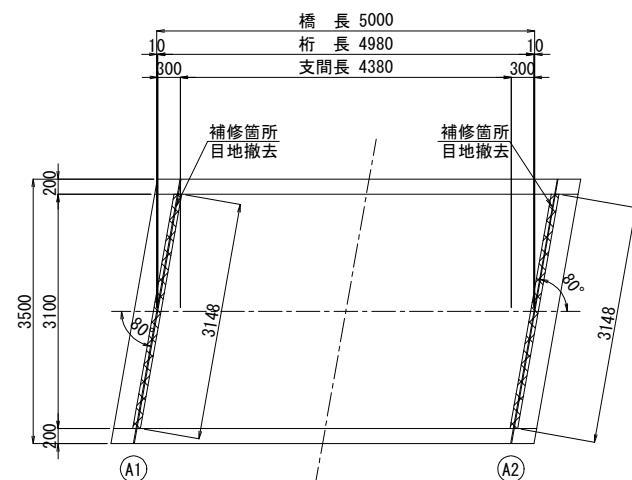
## 断面図 S=1:20



## 施工手順フロー



## 平面図 S=1:50



## 目地補修数量表

新設名称	材質	単位	数量	備考
プライマー		m2	0.1	
シール材	シリコン系シール材	L	1.3	
パックアップ材		L	3.2	
撤去名称				
既設目地材		m	6.3	

1. 本図面の断面形状及び寸法は、既往資料及び実測結果を基に復元したものである。
2. 施工関連諸寸法は、再度詳細調査を実施し、最終決定すること。

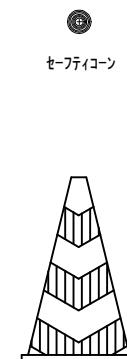
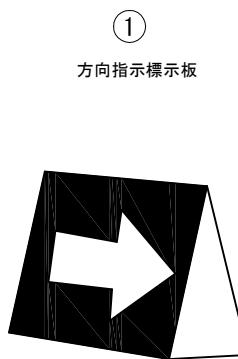
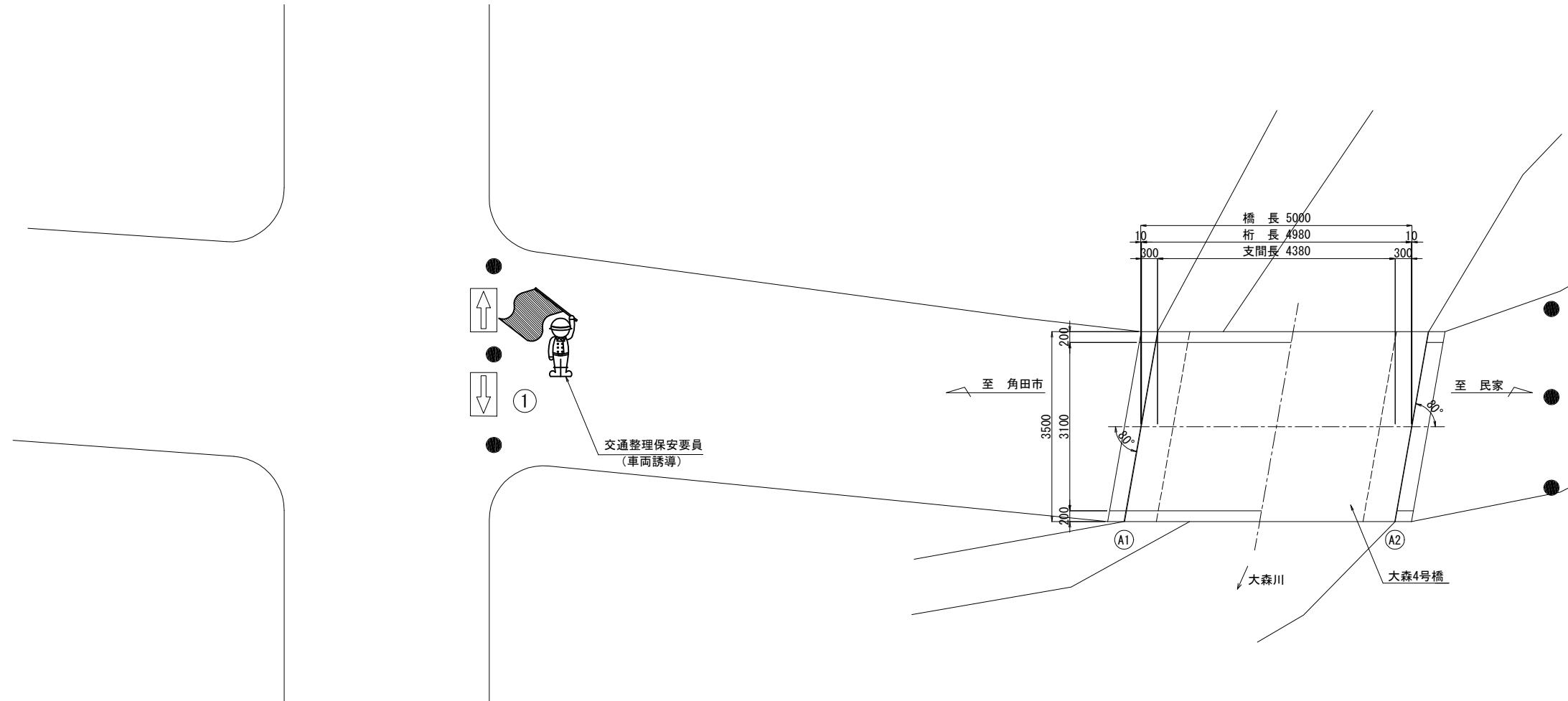
大森4号橋

工事番号			
路線名	市道 宮橋岩ノ沢線		
施工地名	角田市毛萱 地内		
工事名	令和7年度 宝作橋外2橋橋梁補修工事		
図名	大森4号橋 目地補修工図		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計 年度	
角田市	図番	22 / 23	

# 大森4号橋 交通規制図【参考図】

車両通行止め

平面図 S=1:50



大森4号橋	
工事番号	
路線名	市道 宮橋岩ノ沢線
施工地名	角田市毛萱 地内
工事名	令和7年度 宝作橋外2橋橋梁補修工事
図名	大森4号橋 交通規制図【参考図】
縮尺	図示
設計者	設計 年度
角田市	図番 23 / 23

1. 本図面の断面形状及び寸法は、既往資料及び実測結果を基に復元したものである。  
2. 施工関連諸寸法は、再度詳細調査を実施し、最終決定すること。